Panasonic

D-VHSビデオカセットレコーダー

取扱説明書

品番 NV-DHE10

上手に使って上手に節電

保証書別添付

MTP
NTSC

S VHS

Gコード®

このたびはパナソニックD-VHSビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT8854

もくじ

ご使用の前に

各部の名前

準備

再生・録画

ダビング

予約録画

便利な機能

CS・CATV

その他

はじめに

取扱説明書は最後までお読みください。

本機の特長

■D-VHS方式でデジタル録画ができます

デジタルには以下の特長があります。

- 画質の劣化がほとんどない状態で録画できます。
- 長時間録画ができます。
- ハイビジョンクラスの画質で録画できます。
- BSデジタル放送の映像、音声、データなどをそのまま記録できます[*1]。（P108）

D-VHSは、日本ビクター株式会社の商標です。

■MPEG2エンコーダーを内蔵

本機では従来のBS放送や地上波放送もMPEG2形式にエンコードして（P108）デジタル録画することができます。また、すでにS-VHS、VHSカセットに録画されている番組もデジタルでダビングすることができます。

■i.LINK端子を装備

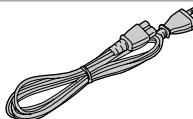
i.LINK機器とi.LINK接続することで、デジタル信号を入出力したり、他のi.LINK機器で本機をコントロールすることができます[*2]。また、高画質のMPEG2圧縮信号をダイレクトに入出力することができます。

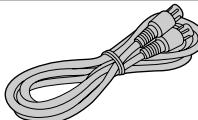
i.LINKはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様、i.はi.LINKに準拠した製品に付けられるロゴです。i.LINK、i.は商標です。

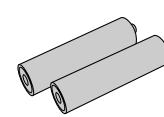
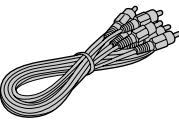
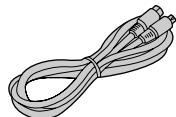
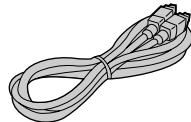
■簡単にBSデジタル放送を楽しめます

BSデジタルチューナーまたはBSデジタルチューナー内蔵テレビとi.LINK接続することで、簡単にBSデジタル放送を録画・予約録画することができます[*3]。また、高画質のMPEG2圧縮信号をダイレクトに入力するため、ハイクラスの画質で録画することができます。

[*1] BSデジタル放送をご覧になるためには、BSデジタルチューナーまたは、BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する必要があります。

[*2] 当社製のBSデジタルチューナーやBSデジタルチューナー内蔵テレビなどとMPEG2-TSフォーマット（P108）でデータのやりとりをする機器を接続したとき
本機に搭載されているi.LINK端子は、DV機器、DVD機器、ハードディスクエディターに付いているDV端子と端子形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりしたり、ダビングすることはできません。

[*3] 当社製BSデジタルチューナーまたはBSデジタルチューナー内蔵テレビとi.LINK接続したとき
詳しくは、BSデジタルチューナーまたはBSデジタルチューナー内蔵テレビの説明書をお読みください。

本書では、BSデジタルチューナーを「チューナー」、BSデジタルチューナー内蔵テレビを「内蔵テレビ」と略して説明しています。

付属品

- 下記の部品が入っていることをご確認ください。
- 部品をなくされたなどの場合、サービスルート扱いでご用意しておりますので、ご注文ください。
- 品番は、2000年7月現在のものです。

電源コード
VJA0536
400円
(P20,21)

75Ω同軸ケーブル
VJA1091
400円
(P20,21)

リモコン
VEQ2432
5000円
(P14,18)

単3形電池2本
(リモコン用)
R6P(P18)

映像・音声コード
VJA0788
600円
(P20,21)

S映像コード
VJA0658
700円
(P20,21)

i.LINKケーブル
K1HA04DB0002
2400円
(P20,21)

安全上のご注意 必ずお守りください

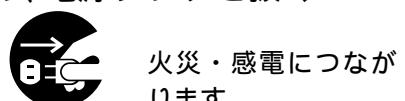
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)**

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

「安全上のご注意」（P５～７）に記載のビデオのイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のビデオとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠ 警告

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

●販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときやキャビネットが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

●販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●プラグは時々点検してください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。

●プラグは時々点検してください。

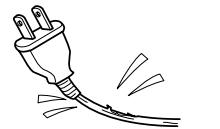
内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

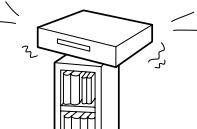
禁止

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

指定(交流１００ボルト)以外の電源電圧では使わないまた、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

禁止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

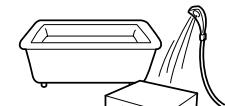
電源コードやプラグを破損させない

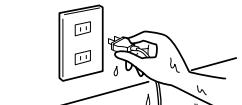
禁止

ステープルなどで壁などに固定すると、コードが破損し、火災・感電につながります。

●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁止

落下すると、けがや製品の故障につながります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

●水が入ったときは、販売店にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電につながります。

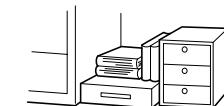
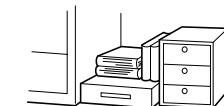
●必ず、乾いた手で抜き差ししてください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグにふれない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

⚠注意

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災のおそれがあります。

(テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください)

風通しの悪いところ、狭いところに置かない

禁止

高温になると発熱し、火災・感電のおそれがあります。

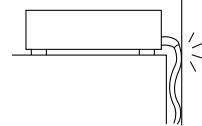
●次のようなところに置かないでください。
- ・押し入れ、本箱など、風通しの悪いところ。
- ・じゅうたんやふとんの上。

●また、後面の内部冷却用ファンをふさがないでください。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところに置かない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると、火災・感電のおそれがあります。

●1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。
(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です)

●費用についても、そのときお確かめください。

⚠注意

電源コードが無理に曲げられるような設置をしない

禁止

電源コードが破損し、火災・感電・故障のおそれがあります。

●後面は、壁から10cm以上離してください。

コード類を接続したまま移動させない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電・故障のおそれがあります。

●必ず、接続を外してから移動させてください。

電源コードを持って抜かない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

●必ず、電源プラグを持ってください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

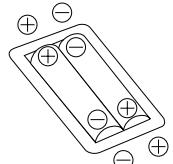
禁止

倒れたり落下などをして、けがをするおそれがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要です

アンテナが倒れると、けがや感電するおそれがあります。

●販売店にご相談ください。

カセット入れ口に指をはさまれないように注意する

指に注意

けがをするおそれがあります。

●乳幼児にご注意ください。

電池は、⊕ ⊖を確かめ、正しく入れる

間違えると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

電池の⊕ ⊖部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

新しい電池と古い電池をまぜて使わない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

電池を分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

充電式電池や種類が違う電池を使わない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

液もれしたときは：

●万一、液もれが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

ビデオやカセットは、周囲（温度、湿度、ほこりなど）の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

品質のよいテープを使う

ご使用前には、必ずテープの品質をお確かめください

- 品質の悪いテープ（下記）を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品をよごしたり傷付けたりして、故障の原因ともなります。

品質の悪いテープの例

- ほこりやカビなどでよごれたテープ
- ジュースや水などの液体が付いたテープ
- 波打ったりクシャクシャになったりしているテープ
- セロハンテープでつなぐなど、加工されたテープ
- たるんでいるテープ

品質の悪いテープを使用すると

- ビデオヘッドがよごれ、再生をしたときに、映像が乱れたりテレビ画面全体が青色（ブルーバック）になったりします。このようなときは、ビデオヘッドクリーナーVFK0923FM（別売）またはVFK0923FS（別売）でビデオヘッドをクリーニングしてください。（P96）
  それでも効果のない場合は、販売店にご相談ください。
- ビデオヘッドクリーナーは、説明書をよく読んでからご使用ください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナーは使用しないでください。(故障の原因となります)

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画の場合は、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

- 本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

カセットの扱いかた

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなど、液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使用すると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりする場合があります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、ビデオの故障の原因となります。

新しいカセットを使用するときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使用する

- 新しいものはテープどうしが貼り付いている場合がありますので、ほぐしてから使用することをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

ケースに入れ、立てて保管する

次のようなところに置いたり保管したりしない

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ（推奨温度：15 ℃～25 ℃）
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ（推奨湿度：40 %～60 %)
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 自動車のダッシュボードの中
  急激な温度の変化や、湿度の高いところでの保管・使用は、「つゆつき」の原因となります。(「つゆつき」について・右ページを参照してください)

強い磁気を持ったもの（スピーカーなど）を近付けない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な記録が消えてしまったりすることがあります。

下図の○部分にはとびらを閉じるための磁石があります。この部分に記録済みのカセットや磁気カードなどを近付けないでください

D-VHSカセットの取り扱いについて

D-VHS方式で録画・再生するときは、VHS方式に比べてテープの傷やヘッドのよごれなどによる画面のノイズの度合いが大きくなるため、カセットの取り扱いなどには十分お気を付けください

「つゆつき」について

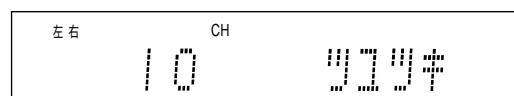
「つゆつき」とは

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
このような現象を「つゆつき」といいます。

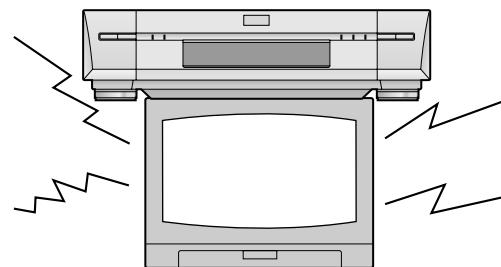
ビデオやカセットに「つゆつき」が起こった状態で使用すると

- テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりする場合があります。また、シリンダーやビデオヘッドなどに傷が付き、ビデオの故障の原因となります。

「つゆつき」が起こりやすいときは

- 梅雨の時期
- ビデオやカセットを寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
- 寒い部屋を急に暖房で暖めたとき
- エアコンの冷風がビデオやカセットに直接当たっているとき
- 湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき

「つゆつき」が起こったら

- 自動的にビデオの電源が入り、ビデオ表示部に「ツユツキ」が点灯します。

- カセットを取り出し、「ツユツキ」の表示が消えるまで（約2時間程度）そのままお待ちください。
  (テープやヘッドの保護のため、再生などのビデオの動作は受け付けなくなります)

ビデオを設置した直後は

- 「つゆつき」が起こりやすい状態です。ビデオが部屋の温度になじむまで（約2時間程度）、電源を入れたままにしておいてください。

ビデオの使用中は

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの（携帯電話など）を近付けない

映像・音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりするおそれがあります。

長期間(約1カ月以上)使わないとき

テープを始端まで巻き戻してからカセットを取り出し、ビデオの電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ビデオが電源コンセントに接続されていると、ビデオの電源を切っても約6ワットの電力を消費しています。
- ビデオの機能を保つため、1カ月に1度くらいは再生などをして、テープを走行させてください。

お手入れのしかた

キャビネットがよごれているとき

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

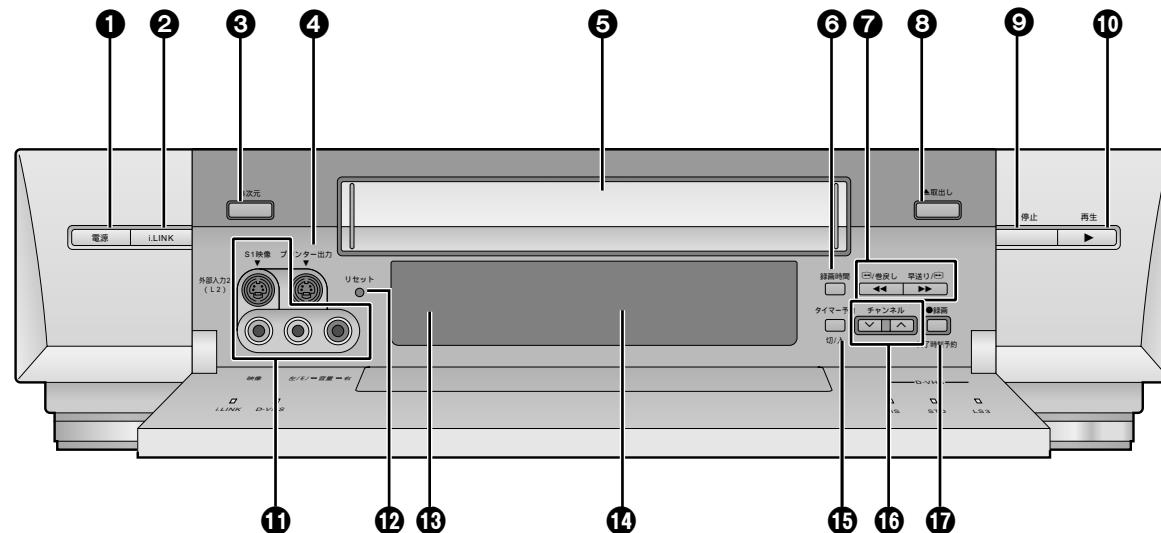
よごれがひどいとき

台所用洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってからよごれをふき取ってください。
そのあと、乾いた布で仕上げてください。

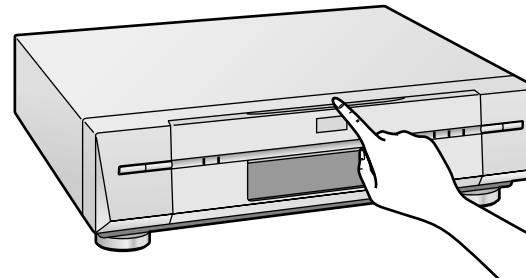
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、この商品価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれています。

- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されます。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- BSデジタル放送などで、録画が禁止されている番組があります。このような番組は録画しようとしても録画できません。

各部の名前

本体(前面)

詳しくは、関係するページをお読みください。

- 本書は、リモコンでの操作を中心に説明していますが、一部を除き、同じ名前のボタンであれば、本体のボタンでも同様の操作ができます。

❶ 電源**ボタン**(P24)

❷ i.LINK**ボタン**(P52)

❸ 3次元**ボタン**(P97)

❹ **プリンター出力(S映像)端子**(P95)

❺ **カセット挿入部**(P38)

❻ 録画時間**ボタン**(P46、48、50、52、61、64、68)

❼ ◂◂/巻戻し◀◀ ▸▸/早送り▶▶**ボタン**(P41、43)

❽ ▲取出し**ボタン**(P38)

❾ 停止■**ボタン**(P41、46、49，50、53)

❿ 再生▶**ボタン**(P41、44)

⓫ **外部入力2(L2)端子**（P57）
他のビデオやビデオカメラなど、外部機器から映像・音声信号を受けるところ

⓬ リセット **（システムリセット）ボタン**（P104）
電源が入っているのに操作できないなど、トラブルが起こったときに、先の細いもので軽く押してください。

⓭ **リモコン受信部**(P18)

⓮ **ビデオ表示部**(P12)

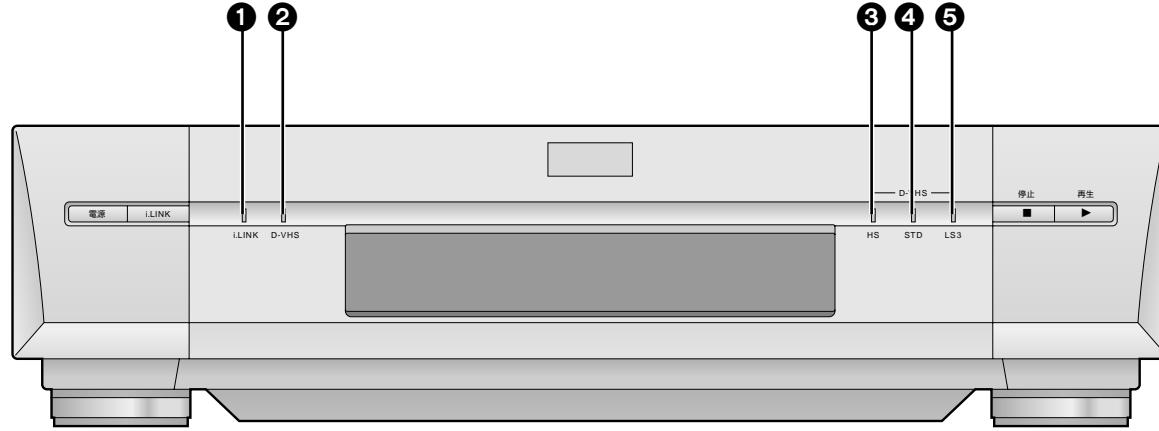
⓯ タイマー予約 切/入**ボタン**(P73)

⓰ **チャンネル**∨ ∧**ボタン**(P46、50)

⓱ ●録画/終了時刻予約**ボタン**
(P46、48、50、52、54)

※本書では、ボタン名を 再生▶ などで示し、「各部の名前」以外のページでは「ボタン」を省略しています。

とびらの開けかた

とびら上部のくぼみに指をかけて、手前に引いてください。

本体(各ランプ)

詳しくは、関係するページをお読みください。

❶ **i.LINKランプ**

- 録画時間で「HS STD」(D-VHS自動)を選んでいるときに点灯
- 地上波や外部入力からの信号をエンコード*1して、i.LINK入出力端子からデータを出力しているときに点灯
- デジタル/アナログ再生をエンコード再生中に、i.LINK入出力端子よりデータを出力しているときに点灯
- i.LINK入出力端子よりMPEG2フォーマットのデータを入力しているときに点灯

❷ **D-VHSランプ**

- 録画時間で「HS」、「STD」、「LS3」を選んだときに点灯
- 「HS」、「STD」または「LS3」で録画された番組を再生しているときに点灯

❸ **D-VHS HSランプ**

- テープ速度が「HS」のときに点灯
- 「HS」で録画された番組を再生しているときに点灯

❹ **D-VHS STDランプ**

- テープ速度が「STD」のときに点灯
- 「STD」で録画された番組を再生しているときに点灯

❺ **D-VHS LS3ランプ**

- テープ速度が「LS3」のときに点灯
- 「LS3」で録画された番組を再生しているときに点灯

*1 本機はMPEG2エンコーダーを内蔵しており、地上波などのアナログ信号をMPEG2のデジタル信号に変換することができます。この変換する作業のことをMPEG2にエンコードする(P108)といいます。

D-VHS自動モードのランプの点灯について

「HS」ランプと「STD」ランプが両方点灯している場合はD-VHS自動録画モードです。i.LINK入出力端子から入力される番組情報によって、最適なテープ速度を自動的に選んで録画します。録画中は選ばれた最適なテープ速度(「HS」か「STD」のどちらか片方のみ)が点灯します。

BSデジタル放送録画時のランプ点灯について

録画時間で「HS STD」(D-VHS自動)を選んでi.LINKランプが点灯している場合は、i.LINKケーブルからのデジタル信号をそのまま録画できます。録画時間で「STD」、「LS3」、「標準」、「3倍」を選んで、i.LINKランプが消灯している場合は、BS再入力(P23)からの信号を録画しますので、データ放送やマルチビュー放送(P108)を再生時に操作することはできません。(P42)

		選んだテープ速度				
		D-VHS自動	STD	LS3	標準	3倍
点灯ランプ	D-VHSランプ	○	○	○	ー	ー
	i.LINKランプ	○	ー	ー	ー	ー
	HSランプ	○	ー	ー	ー	ー
	STDランプ	○	○	ー	ー	ー
	LS3ランプ	ー	ー	○	ー	ー

データ放送やマルチビュー放送を再生時に楽しむためには、テープ速度でD-VHS自動を選び、i.LINKランプが点灯していることを確認してから録画してください。

各部の名前（つづき）

本体(ビデオ表示部)

詳しくは、関係するページをお読みください。

❶ ▭(P38)
カセットが入っているときに点灯

❷ **左 右**(P90)
テレビ放送受信中、再生中の番組の音声を表示

❸ **予約**(P61、65、69)
予約録画の待機中、実行中に点灯

❹ **S-VHS ET**(P49)
S-VHS ET録画中、S-VHS ETされた番組を再生中に点灯

❺ **S VHS**
VHS、D-VHSカセットを入れると消灯

❻ ✂(P55)
CMカット録画時に点灯

❼ **残量**（P83）
テープ残量を表示中に点灯

❽ **テープ速度**（P36、46、48、50、52）

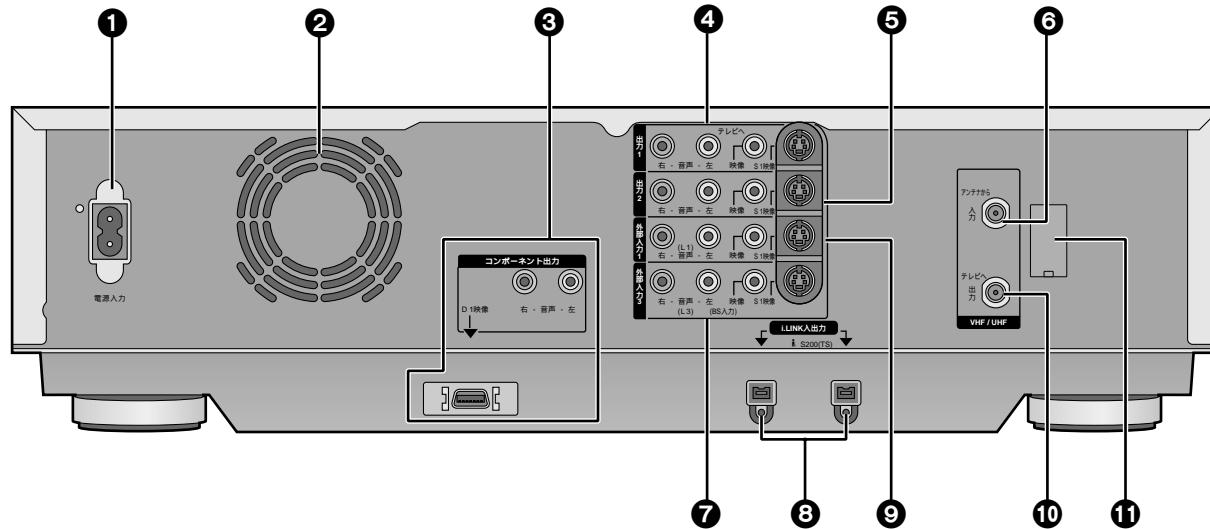
標準　：テープ速度が「標準」の番組の録画/再生時に表示

3倍　：テープ速度が「3倍」の番組の録画/再生時に表示

標準3倍　：ぴったり予約録画（P67）した番組の予約録画時に表示

HS STD：D-VHS自動録画待機時に表示
「HS」ランプと「STD」ランプが両方点灯している場合はD-VHS自動録画モードです。i.LINK入出力端子から入力される番組情報によって、最適なテープ速度を自動的に選んで録画します。録画中は選ばれた最適なテープ速度（「HS」か「STD」のどちらか片方のみ）が点灯します。

HS　：テープ速度が「HS」の番組の録画/再生時に表示

STD　：テープ速度が「STD」の番組の録画/再生時に表示

LS3　：テープ速度が「LS3」の番組の録画/再生時に表示

❾ **各種動作**

▷　：再生中
▯▯　：一時停止中
▯▷　：スロー再生中
▷録画：録画中
▯▯録画：録画の一時停止中
▷▷　：早送り/早送り再生中
◁◁　：巻き戻し/巻き戻し再生中

❿ **C**
CATV放送を受信中に表示

⓫ **BS**
BSデジタル放送の予約録画時に表示
従来のBS放送の予約録画時に表示

⓬ **チャンネル**
テレビ放送受信中、予約録画時に表示

⓭ **メイン表示部**
テープカウンター
現在時刻
テープ残量
各種メッセージ（P106、下記）

表示の一例

ツメオレ　：誤消去防止状態のテープが入っているのに［録画●］を押したときなど

テープナシ　：テープが入ってないのに［録画●］を押したときなど

ヨヤクナシ：　：予約がないのに、予約待機状態にしようとしたとき

ロクガデキマセン　：録画できないテープ速度を選んだときなど

Hello　：電源を入れたとき

Good Bye　：電源を切ったとき

本体(後面)

詳しくは、関係するページをお読みください。

❶ **電源入力ソケット**(P20、21)

❷ **内部冷却用ファン**
電源「入」時はファンが回り続けています。ふさがないでください。

❸ **コンポーネント出力(音声)端子/D1映像出力端子**
(右記)

❹ **出力1(テレビへ)端子**(P20、21)

❺ **出力2端子**(P58)

❻ **VHF/UHF入力(アンテナから)端子**(P20、21)

❼ **外部入力3(L3)(BS入力)端子**(P20、21)

❽ **i.LINK入出力(S200)端子**(P20、21)

❾ **外部入力1(L1)端子**(P98、99)

❿ **VHF/UHF出力(テレビへ)端子**(P20、21)

⓫ **サービス用端子**
この端子は、サービス用端子です。故障診断や修理にサービス会社が使用する端子ですので、ふたを開けないようにしてください。本書イラストでは、この部分を省略しています。

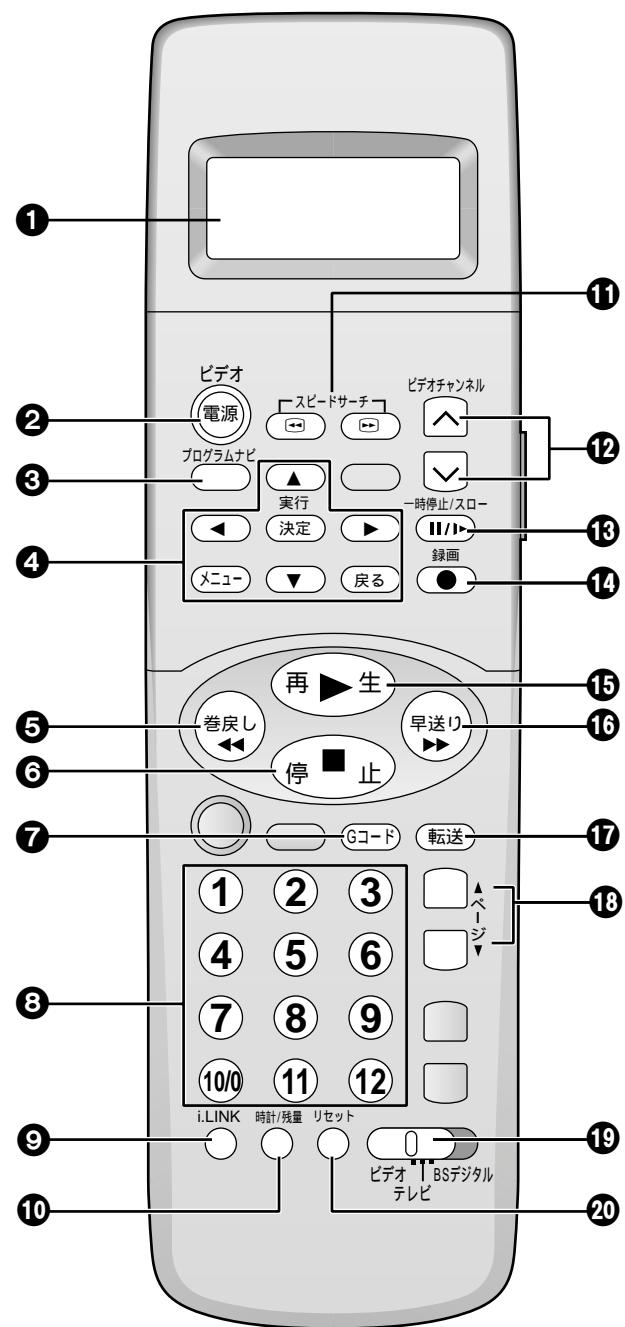
テレビにD1～D5映像入力端子があるとき

- D端子ケーブル（別売）で接続することができます。
- 本機のD端子はD1映像出力のみです。D2～5映像入力端子にも接続できますが、525i（480i）のみの出力となります。
- 詳しくは、テレビの説明書をお読みください。

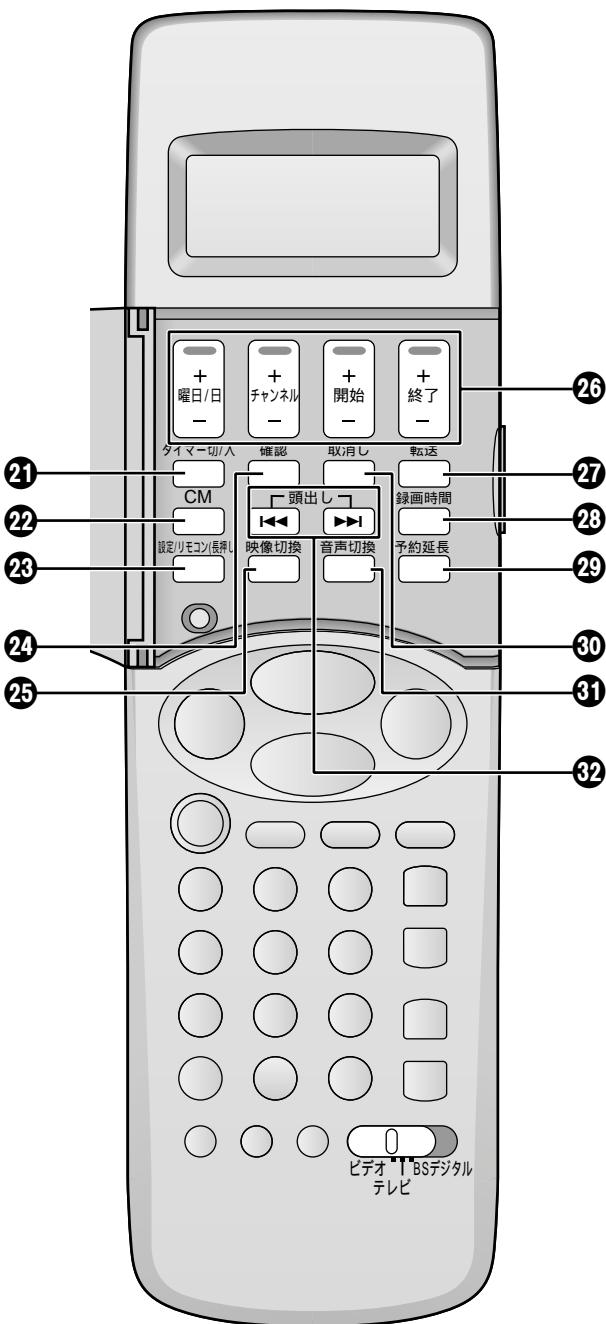
お願い

- **D端子をご使用の場合は、音声は必ず「コンポーネント出力（音声）」端子をご使用ください。**
- **BSデジタル放送をご覧になるときはP20の⓮～⓱が必要です。**

ヒント

- D-VHS（デジタル）再生時に、D端子に接続して映像をご覧になる場合はオンスクリーン表示は出ません。
- D端子をご使用の場合にテープ速度を変えると、映像・音声がとぎれることがあります。

■別売品について
D端子ケーブル：RP-CVDG15（1.5m）
D端子ケーブル　RP-CVDG30（3m）

各部の名前（つづき）

リモコン(ビデオ操作部)

詳しくは、関係するページをお読みください。

■ビデオの操作をするときは、⓳のスイッチを必ず「ビデオ」にしてください。「ビデオ」を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **リモコン表示部**

❷ ビデオ電源 **ボタン**(P24)

❸ プログラムナビ **ボタン**(P75)

❹ **メニュー操作部**(P30、75、82、84、86、92、94)

▲ **ボタン**

▼ **ボタン**

▶ **ボタン**

◀ **ボタン**

決定/実行 **ボタン**

メニュー **ボタン**※

戻る **ボタン**
メニュー操作画面で1つ前の画面に戻るとき

❺ 巻戻し◀◀ **ボタン**(P41、43)

❻ 停止■ **ボタン**(P41、46、49、50、53)

❼ Gコード **ボタン**(P61)

❽ 1～12 **ボタン**(P26、46、48、50、52)

❾ i.LINK **ボタン**(P52、56)

❿ 時計/残量 **ボタン**(P83)

⓫ **スピードサーチ** ◀◀ ▶▶ **ボタン**(P81)

⓬ **ビデオチャンネル** ∧ ∨ **ボタン**(P46、50)

⓭ 一時停止/スロー❚❚/❙▶ **ボタン**
(P43、46、49、50、53)

⓮ 録画● **ボタン**(P46、48、50、52)

⓯ 再生▶ **ボタン**(P41、44)

⓰ 早送り▶▶ **ボタン**(P41、43)

⓱ 転送 **ボタン**(P26)

⓲ ▲ページ▼ **ボタン**(P76、77)

⓳ ビデオ/テレビ/BSデジタル **スイッチ**

⓴ リセット **ボタン**(P83)

※ ビデオ/テレビ/BSデジタル を「テレビ」にしているときに メニュー を押すとテレビ側のメニューが表示されます。
ビデオのメニューを操作するためには、
必ず ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にしておいてください。
テレビのメニュー画面を消すには、
ビデオ/テレビ/BSデジタル を「テレビ」にしているときに、
再度 メニュー を押してください。

㉑ タイマー 切/入 **ボタン**(P73)

㉒ CM **ボタン**(P45、55、66)

㉓ 設定/リモコン(長押し) **ボタン**(P19、26、94)

㉔ 確認 **ボタン**(P72)

㉕ 映像切換 **ボタン**

将来CSデジタル放送などで1チャンネルあたり複数の映像がある放送が始まったときに、他の映像に切り換えるときなど

㉖ **フリーセット予約操作部**(P64、68)

+曜日/日− **ボタン**

+チャンネル− **ボタン**

+開始− **ボタン**

+終了− **ボタン**

㉗ 転送 **ボタン**(P65、69)

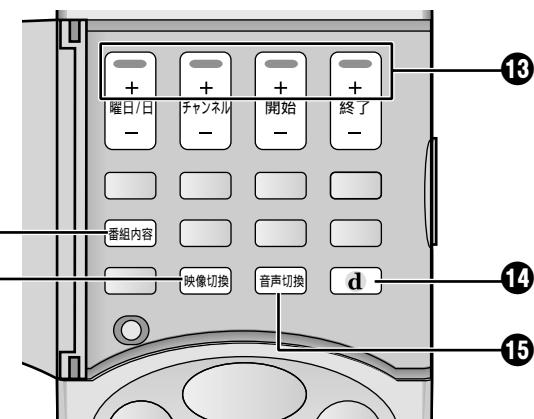
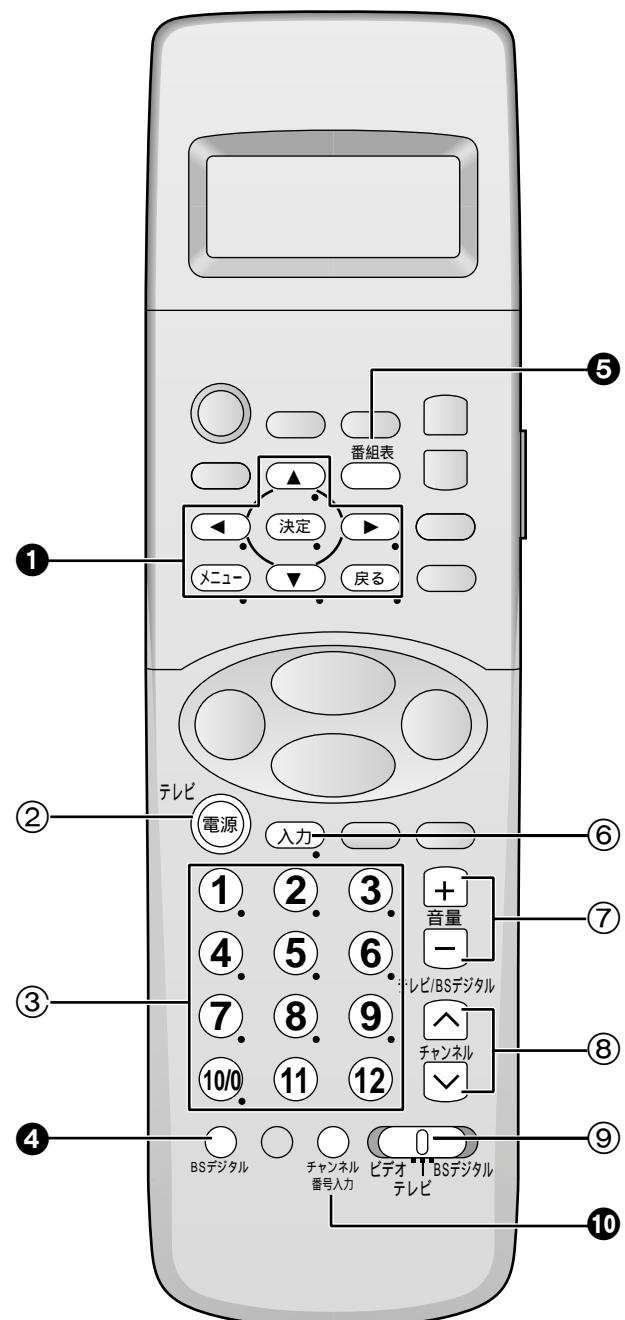
㉘ 録画時間 **ボタン**
(P46、48、50、52、61、64、68)

㉙ 予約延長 **ボタン**(P63)

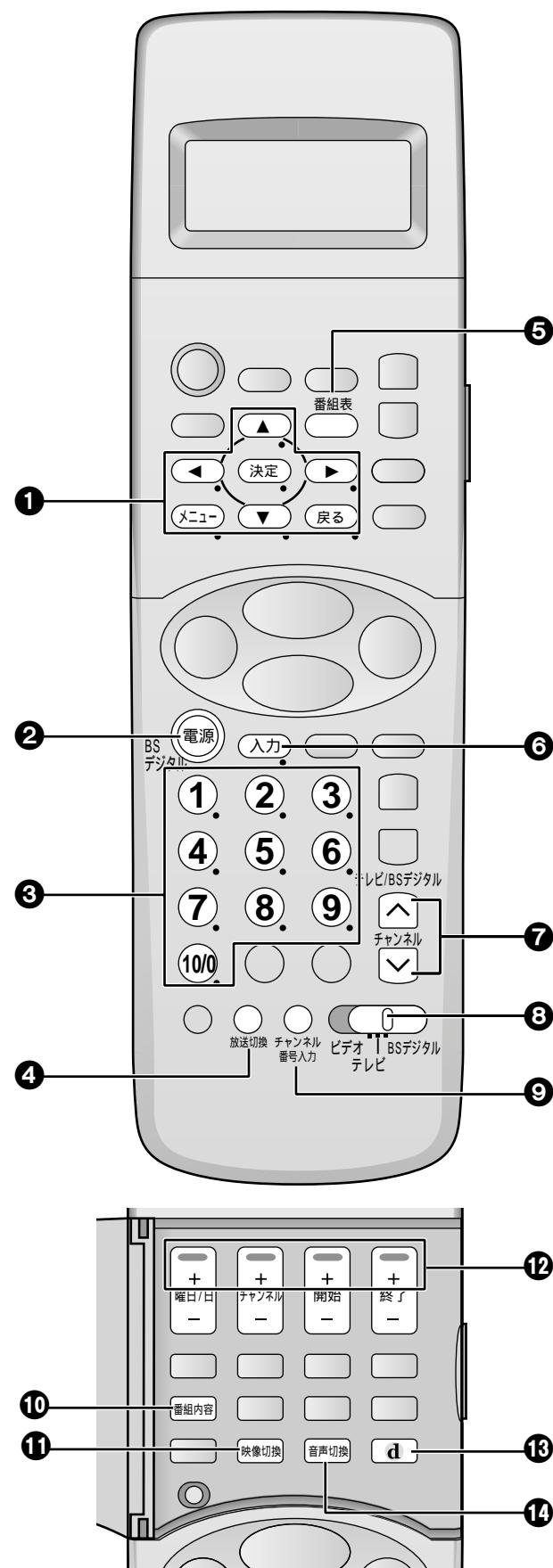
㉚ 取消し **ボタン**(P72、87、88)

㉛ 音声切換 **ボタン**(P90)

㉜ **頭出し** ⏮ ⏭ **ボタン**(P80)

※本書では、ボタン名を 再生▶ などで示し、「各部の名前」以外のページでは「ボタン」を省略しています。

各部の名前(つづき)

リモコン（テレビ操作部）

○の数字が付いたボタンはテレビメーカー・一覧表（P19）にあるテレビと、当社製のBSデジタルチューナー内蔵テレビの操作ができます。
●の数字が付いたボタンは当社製のBSデジタルチューナー内蔵テレビのみ操作することができます。
実際の操作内容についてはテレビの説明書をお読みください。

■**テレビの操作をするときは、⑨のスイッチを必ず「テレビ」にしてください。「テレビ」を選んでいないと、正しく操作できません。**

❶ **メニュー操作部**
BSデジタルチューナー内蔵テレビのメニュー操作をするときなど

② **テレビ電源 ボタン**

③ **1～12 ボタン**
テレビのチャンネルを選ぶとき

❹ **BSデジタル ボタン**
BSデジタル放送のチャンネルを選ぶとき（P48、52）
(BSデジタル に続いて 1 ～ 10/0 を押すと、BSデジタルチューナー内蔵テレビにプリセットされているチャンネルを選べます)

❺ **番組表 ボタン**
BSデジタル放送の番組表を表示させるとき

⑥ **入力 ボタン**(P24)
i.LINK接続機器（本機など）の映像とテレビ放送画面などを切り換えるとき

⑦ **音量 ＋ － ボタン**
テレビの音量を調節するとき

⑧ **テレビチャンネル ∧ ∨ ボタン**
テレビのチャンネルを選ぶとき

⑨ **ビデオ/テレビ/BSデジタル スイッチ**

❿ **チャンネル番号入力 ボタン**（P48、52）
BSデジタルチューナー内蔵テレビのチャンネルを選ぶとき
チャンネル番号入力 に続いて 1 ～ 10/0 を押すと、**BSデジタル放送の**チャンネルを選べます
TH-28D10、TH-32D10、TH-36D10の場合：
BSデジタル放送の103チャンネルを選ぶとき
チャンネル番号入力 → BSデジタル → 1 → BSデジタル → 10/0 → BSデジタル → 3

⓫ **番組内容 ボタン**
BSデジタル放送の出演者などの番組詳細内容を表示させるとき（接続や録画方式によっては表示されない場合があります）

⓬ **映像切換 ボタン**（P42）
マルチビュー放送（P108）などで他の映像に切り換えるときなど（接続や録画方式によっては表示されない場合があります）

⓭ **カラーキー部**（P42）
番組表で日付を切り換えるときや、画面に各色ボタンが使用できる表示があるとき（接続や録画方式によっては使用できない場合があります）

⓮ **d ボタン**（P42）
データ放送時に字幕などのデータ画面を表示させるときなど（接続や録画方式によっては表示されない場合があります）

⓯ **音声切換 ボタン**（P42）
放送の音声を切り換えるときなど

リモコン(BSデジタルチューナー操作部)

本機のリモコンで操作できるのは、当社製のBSデジタルチューナーだけです。
実際の操作内容についてはBSデジタルチューナーの説明書をお読みください。

■BSデジタルチューナーの操作をするときは、❽のスイッチを必ず「BSデジタル」にしてください。「BSデジタル」選んでいないと、正しく操作できません。

❶ **メニュー操作部**
BSデジタルチューナーのメニュー操作をするときなど

❷ **[BSデジタル電源]ボタン**

❸ **[1]〜[10/0]ボタン**
BSデジタルチューナーのチャンネルを選ぶとき

❹ **[放送切換]ボタン**
将来BSデジタル放送とは別の放送が始まったときに、放送を切り換えるときなど

❺ **[番組表]ボタン**
BSデジタル放送の番組表を表示させるとき

❻ **[入力]ボタン**
i.LINK接続機器（本機など）の映像とBSデジタル放送画面の映像を切り換えるとき

❼ **BSデジタルチャンネル[∧][∨]ボタン**
BSデジタルチューナーのチャンネルを選ぶとき

❽ **[ビデオ/テレビ/BSデジタル]スイッチ**

❾ **[チャンネル番号入力]ボタン**
BSデジタルチューナーのチャンネルを選ぶとき
([チャンネル番号入力]に続いて[1]〜[10/0]を押すと、BSデジタル放送のチャンネルを選べます
BSデジタル放送の103チャンネルを選ぶとき
[チャンネル番号入力]→[1]→[10/0]→[3])

❿ **[番組内容]ボタン**
BSデジタル放送の出演者などの番組詳細内容を表示させるとき（接続や録画方式によっては表示されない場合があります）

⓫ **[映像切換]ボタン**（P42）
マルチビュー放送（P108）などで他の映像に切り換えるときなど（接続や録画方式によっては表示されない場合があります）

⓬ **カラーキー部**（P42）
番組表で日付を切り換えるときや、画面に各色ボタンが使用できる表示があるとき（接続や録画方式によっては使用できない場合があります）

⓭ **[d]ボタン**（P42）
データ放送時に字幕などのデータ画面を表示させるときなど（接続や録画方式によっては使用できない場合があります）

⓮ **[音声切換]ボタン**（P42）
BSデジタル放送の音声を切り換えるときなど

設置の手順

次の手順で設置してください。

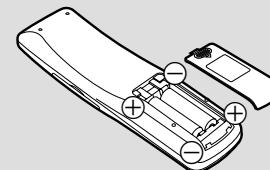
リモコンの準備をする

アンテナ、テレビなどと接続する

受信チャンネルを設定する

●手順を守って以下の2つの方法で設定してください。

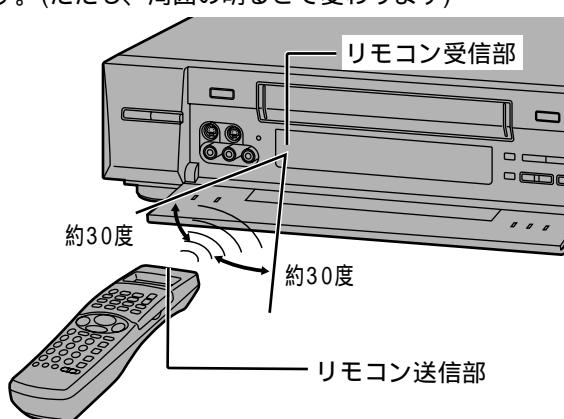
- CSデジタル放送、CATV放送をお楽しみいただく方は、P98、99をご覧ください。
- BSデジタル放送やCSデジタル放送、CATV放送をご覧になるには、それぞれの放送会社との受信契約が必要です。

リモコンに電池を入れる

1 **部分を押さえながら、手前にずらし、裏ぶたをあける**

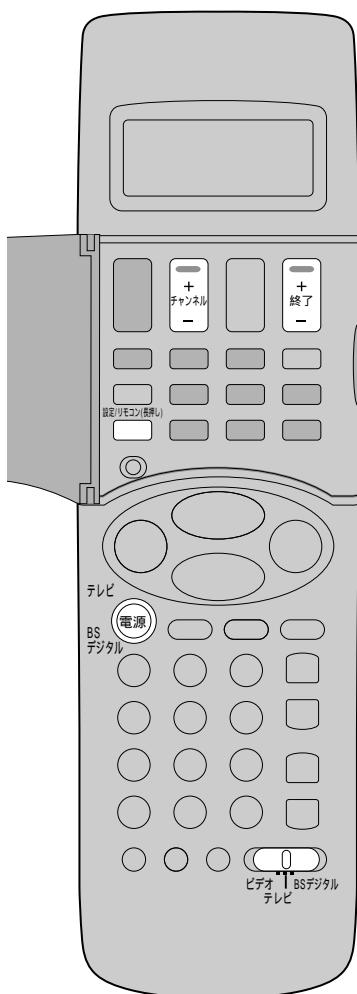
2 **単3形電池2本(付属)を正しく入れる**

3 **裏ぶたを手前からすべらせながら閉じる**

ヒント

- リモコン表示部が薄暗くなってきたら、電池を交換してください。(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
- 電池交換後、ビデオやテレビなどが操作できなくなっているときは、リモコンモード（P94）やテレビメーカー番号/BSデジタルチューナーメーカー番号（右ページ）を合わせ直してください。
- ニッケルカドミウム（Ni-Cd）は充電式電池です。使用しないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ゴミとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1カ月以上使わないときは電池を取り出しておいてください。

操作のしかた

ビデオのリモコン受信部に向け、確実にボタンを押す

- 操作できる範囲は、正面で約7m以内、角度は約60度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)

テレビやBSデジタルチューナーを操作できるようにする
(テレビメーカー設定・BSデジタルチューナーメーカー設定/今すぐ再生)

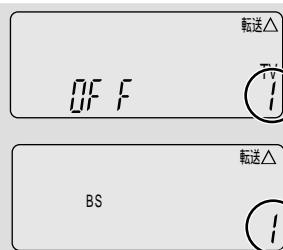
本機のリモコンでテレビやチューナーの操作ができます。下記の操作でメーカー番号を合わせてください。(「テレビメーカー設定・BSデジタルチューナーメーカー設定」)
また、ボタンを押すだけで、テレビの入力を「ビデオ1」に切り換えることができる「今すぐ再生」の設定もできます。(ボタンを押したときに、テレビの入力を「ビデオ1」にする信号も出すようになります)

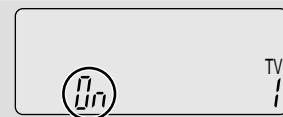
操作できるテレビメーカー・一覧表

番号	メーカー名	番号	メーカー名
1	松下(新①)	11	シャープ①
2	シャープ②	12	三菱①
3	ソニー	13	パイオニア
4	東芝	14	ビクター
5	日立	15	NEC ②
6	NEC ①	16	三洋②
7	三洋①	17	アイワ
8	三菱②	18	フナイ
9	富士通ゼネラル	19	松下(新②)
10	松下(旧)		

操作できるチューナーメーカー・一覧表

番号	メーカー名	番号	メーカー名
1	松下①	3	松下③
2	松下②		

準備 ●テレビ（チューナー）の電源を入れる。

1 **[ビデオ/テレビ/BSデジタル]を「テレビ」にする**
●「BSデジタルチューナーメーカー設定」をされる場合は「BSデジタル」にしてください。

2 **[設定/リモコン(長押し)]を約2秒押し続け「☎」マークを出し、さらに2回押す**
●「TV」表示が出ます。
●「BSデジタルチューナーメーカー設定」をされる場合は「BS」表示が出ます。

3 **[+終了−]でメーカー番号を合わせる**
●テレビ（チューナー）に向けて操作してください。
●メーカー番号が合うと、テレビ（チューナー）の電源が切れます。
●左下の一覧表を参照してください。
●「＋」側を押すごとに大きい番号に移動し、「19」まで来ると、「1」に戻ります。(BSデジタルチューナーメーカー設定をされる場合は「1」～「3」までです)

4 「今すぐ再生」を設定するときのみ、
[+チャンネル−]で「今すぐ再生」を設定する
●「On」にすると、「今すぐ再生」が働きます。
●**一覧表の番号の部分が■のメーカーは設定できません。**

5 **正しく操作できることを確認する**
● [テレビ/BSデジタル電源]でテレビ(チューナー)の電源を入れ、チャンネル切換などをしてみてください。

ヒント
● 複数の番号を持つメーカーは、音量調節などが正しく操作できる方の番号に合わせてください。
● 一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できない場合があります。この場合はテレビ（チューナー）に付属のリモコンで操作してください。
●「今すぐ再生」をご使用になるときは、ビデオからの映像・音声コードを必ずテレビのビデオ入力1端子に接続してください。

アンテナ、テレビなどと接続する

BSデジタルチューナー、テレビと接続する

●接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。

❶ VHF/UHF入力端子へ
❷ VHF/UHF出力端子へ
❸ VHF/UHFアンテナ入力端子へ
❹ i.LINK入出力端子へ
❺ i.LINK端子へ
❻ 出力1(映像・音声)端子へ
❼ ビデオ入力(映像・音声)端子へ
❽ 出力1(S映像)端子へ
❾ ビデオ入力(S映像)端子へ
❿ 外部入力3(映像・音声)端子へ
⓫ 出力1(映像・音声)端子へ
⓬ 外部入力3(S映像)端子へ
⓭ 出力1(S映像)端子へ
⓮ 出力2(映像・音声)端子へ
⓯ ビデオ入力(映像・音声)端子へ
⓰ 出力2(S映像)端子へ
⓱ ビデオ入力(S映像)端子へ
⓲ D映像出力端子へ
⓳ D映像入力端子へ
⓴ 電源入力へ
㉑ ご家庭の電源コンセントへ

ヒント

● BSデジタル放送をアナログ録画するには❿〜⓭を行った後、BS再入力を設定しておいてください。(P23)

■別売品について

映像・音声コード：RP-CVP2G20（2m）
S映像コード：RP-CVSOG20（2m）
D端子ケーブル：RP-CVDG15（1.5m）
D端子ケーブル　RP-CVDG30（3m）

お願い

チューナーとテレビの接続は、チューナーの説明書をお読みください。

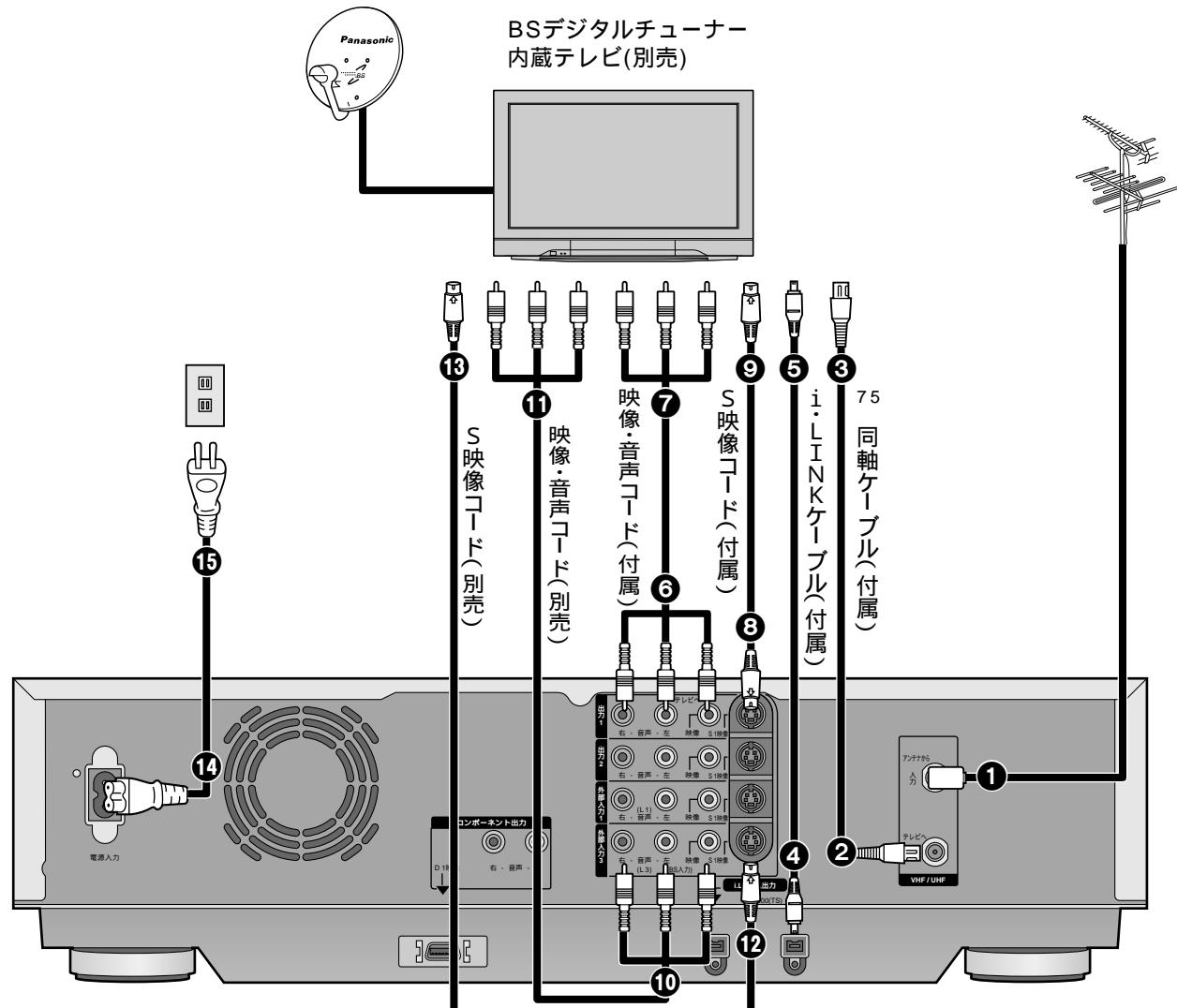
こんなとき

■S映像入力端子付きテレビを使うとき

● 映像コードの代わりにS映像コード（付属）を接続してください。映像端子よりも、より高画質な映像をお楽しみいただけます。

■テレビにビデオ入力（映像・音声）端子がないとき

● 本機と接続することはできません。

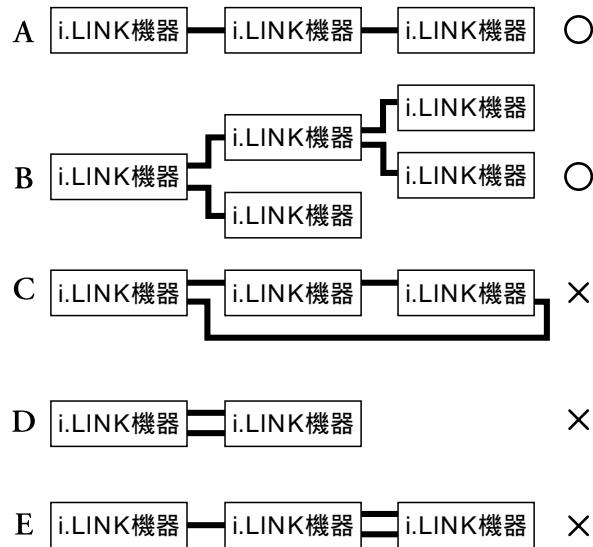
■アンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき

● 別売の部品や加工が必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する

●接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。

❶ VHF/UHF入力端子へ
❷ VHF/UHF出力端子へ
❸ VHF/UHFアンテナ入力端子へ
❹ i.LINK入出力端子へ
❺ i.LINK端子へ
❻ 出力1(映像・音声)端子へ
❼ ビデオ入力1(映像・音声)端子へ
❽ 出力1(S映像)端子へ
❾ ビデオ入力1(S映像)端子へ
❿ 外部入力3(映像・音声)端子へ
⓫ モニター出力(映像・音声)端子へ
⓬ 外部入力3(S映像)端子へ
⓭ モニター出力(S映像)端子へ
⓮ 電源入力へ
⓯ ご家庭の電源コンセントへ

■テレビのモニター出力をビデオの外部入力に接続する場合（上記❿～⓭）

- 当社製内蔵テレビと接続する場合
  ビデオの出力をＴＶのビデオ入力１に接続し、テレビ側のモニター出力設定を「しない」に設定してください。
- 当社製以外のテレビと接続する場合
  発振によるノイズが生じたときは、テレビの入力切換を押し、テレビの入力を切り換えてください。

アンテナ、テレビなどと接続する(つづき)

i.LINKについて

i.LINK(アイリンク)とは、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェースIEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。現在、100 Mbps/200 Mbps/400 Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれS100、S200、S400と表示されています。本機では最大200 Mbpsの転送が可能なため、S200と表示されています。また、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせずに機器を接続していくことができます。ケーブル1本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

i.LINKでの接続について

本機では、i.LINK対応機器を15台まで登録できます。接続した順にi.LINK機器No.を割り当てていきますので、登録したい順番に接続してください。
i.LINK対応機器は、**デイジー・チェーン**（下図**A**)、または**ノード分岐**（下図**B**）で接続してください。

- 接続がループ（下図**C**、**D**、**E**）にならないようにしてください。

- チューナーや一部の機器では、電源が切れているとデータを中継しない場合があります。(下図)
  接続するi.LINK機器の説明書もお読みください。

- 本機のi.LINK入出力端子の最大データ転送速度は200 Mbpsです。最大データ転送速度は、転送速度の異なる機器を接続した場合などは転送速度が遅くなる場合があります。
- 本機は最大転送速度が200 Mbpsのため、S200以上の4ピンi.LINKケーブルをお使いください。
- DV機器は、フォーマットが異なるため、接続してもデータのやりとりなどはできません。
- DV機器に付属のDVケーブルや、DV用のケーブル、また当社製のDVケーブルVW-CD1は、S100対応ケーブルのため使用しないでください。
- i.LINK機器を使用中にi.LINK機器の電源を切ったり、i.LINKケーブルを抜き差しすると、映像や音声がとぎれることがありますので、使用していない機器でも、録画、再生中や予約録画中には、電源を切ったり、i.LINKケーブルを抜き差ししないでください。
- **本機で操作できるi.LINK機器は、当社製i.LINK対応チューナーとチューナー内蔵テレビだけです。**
- チューナー（内蔵テレビ）など接続したi.LINK機器側から映像をご覧になる場合は、本機のオンスクリーン表示は出ません。

お願い

- i.LINK接続したチューナー（内蔵テレビ）やCSデジタルチューナーを使って正しく予約録画を実行するために、i.LINK機器をご使用になった後は、［i.LINK］で、地上波放送のチャンネルを選んでおいてください。（P108）

i.LINK機器の表示について

i.LINK でi.LINK機器を選ぶと、ビデオ表示部に以下のような表示が出ます。

d2 チューナー1

↓

d2 TU-BHD10

d2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i.LINK機器No.
チューナー1 ・・・・・・・・・・ i.LINK機器名（+番号）
TU-BHD100・・・・・・・・・・・・・・ i.LINK機種名
〔i.LINK機器名（+番号）とi.LINK機種名は順番に表示されます〕

■i.LINK機器No.

接続された順に機器No.がつけられ、本機に登録されます。本機では最大15台の機器を登録できます。BS再入力（右記）を設定して録画する場合は、ビデオ表示部は機器No.のままですが、実際は外部入力3(L3)(BS入力)端子から映像・音声を入力しています。

d1〜d15 ：本機に登録されている機器を選んでいます。
d16 ：本機に登録されていない機器からリンク（P108）されています。
d―― ：選んでいる機器はありません。

■i.LINK機器名

選んでいる機器の種類を表示します。

D-VHS ：D-VHSビデオデッキなど
チューナー：BSデジタルチューナー（BSデジタルテレビ、CSデジタルチューナー）など
テレビ ；BSデジタルテレビなど
ソノタ ：その他の機器（DV機器など）

■i.LINK機種名

選んでいる機器のモデル名を表示します。機器によっては表示されない場合があります。

i.LINKメッセージについて

「i.LINKオフ」 ：選んでいる機器が存在しません。i.LINKケーブルが接続されているかお確かめください。

「i.LINKショウチュウデス」：
接続されている機器から本機がリンク（P108）されています。他の機器を選びたい場合は、選んでいる機器でリンクを解除してください。

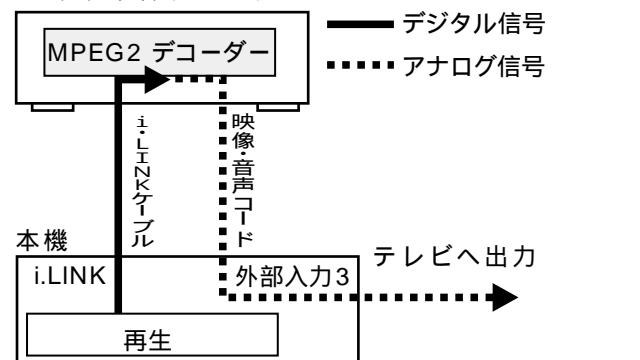
「i.LINKナシ」 ：選んでいる機器が登録されていません。もう一度i.LINKケーブルを正しく接続し直してください。

「i.LINKエラー1」：i.LINKの接続状態に異常があるか、選んでいる機器が異常です。接続がループになっていないか(左ページ)、選んでいる機器が本機に対応しているかお確かめください。

「i.LINKエラー2」：i.LINKを使用している機器が多すぎます(i.LINKのデータ容量オーバー)。使用しない機器の電源を切ってください。

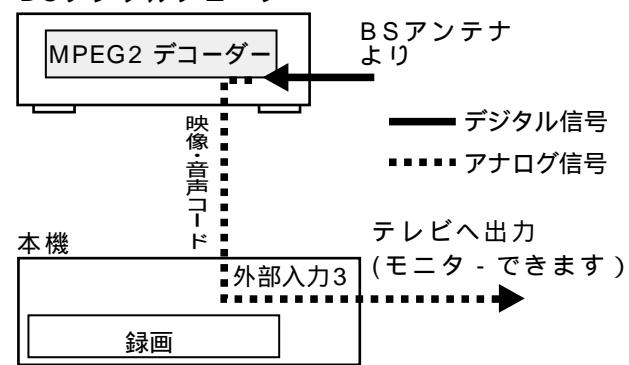
「i.LINKサーチ」 ：接続されている機器の情報を取得しています。しばらくお待ちください。

BS再入力について

BS再入力とは、チューナー（内蔵テレビ）からの映像・音声が、外部入力3(L3)(BS入力)端子と接続した映像・音声コードから入力されることをいいます。

■BS再入力を設定するには以下のことが必要です

❶チューナー（内蔵テレビ）の映像・音声出力を本機の外部入力3(L3)(BS入力)端子と接続する（P20、21）
❷外部BSチューナー設定で、使用するチューナー（内蔵テレビ）を登録する（P88）
❸モード設定の「L3設定」で「BS入力」を選ぶ（P84）

■BS再入力を設定すると

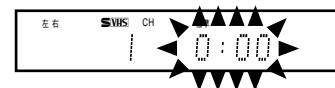
- **テレビの入力切り換えを気にせずに再生を楽しめます**
  D-VHS（デジタル）録画したBSデジタル放送も、BS再入力を利用して本機からテレビに出力できます。

- **BSデジタル放送をアナログ入力でS-VHS、VHS（アナログ）録画、またはD-VHS（エンコード）録画できます**
  HD放送なども長時間録画することができます。ただし、画質は標準のNTSC信号レベルで録画され、データ放送やマルチビュー放送（P108）を楽しむことはできません。

準備

アンテナ、テレビなどと接続する(つづき)

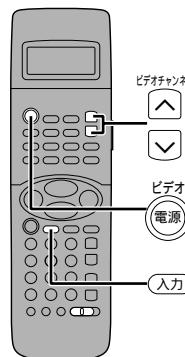
時刻表示を確認する

ビデオを電源コンセントに接続すると、ビデオ表示部に現在時刻が表示されます

- 時刻が合っていることを確認してください。
- 本機は時刻を合わせて工場出荷されており、また出荷時より自動的に時刻を約5年間記憶する「自動バックアップ機能」が働きますので、通常は時刻合わせの操作は必要ありません。

■ただし、以下のときはP92の操作で時刻を合わせ直してください

- 誤差が2分以上あるとき
- 電源を切っているときに、ビデオ表示部に「Panasonic」と表示されるとき
- 電源を入れると、時刻表示が「0:00」で点滅するとき(下図)

■「自動バックアップ機能」について

- 工場出荷時から約5年間自動的に時刻を記憶しています。
- 受信チャンネルの設定や、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する「自動時刻合わせ」機能もあります。(P93)

テレビにビデオの画面を出す

テレビにビデオの画面を出し、正しく接続できたかどうかを確認してください。
テレビでビデオの画面を見るときも、下記の操作を行ってください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「テレビ」にする。

1 **入力 を押し、テレビの入力をビデオを入力している画面に切り換える**
- 例えば、テレビのビデオ入力1端子に接続しているときは「ビデオ1」を選ぶなど、ビデオを接続した入力に切り換えてください。
- ビデオの画面になります。

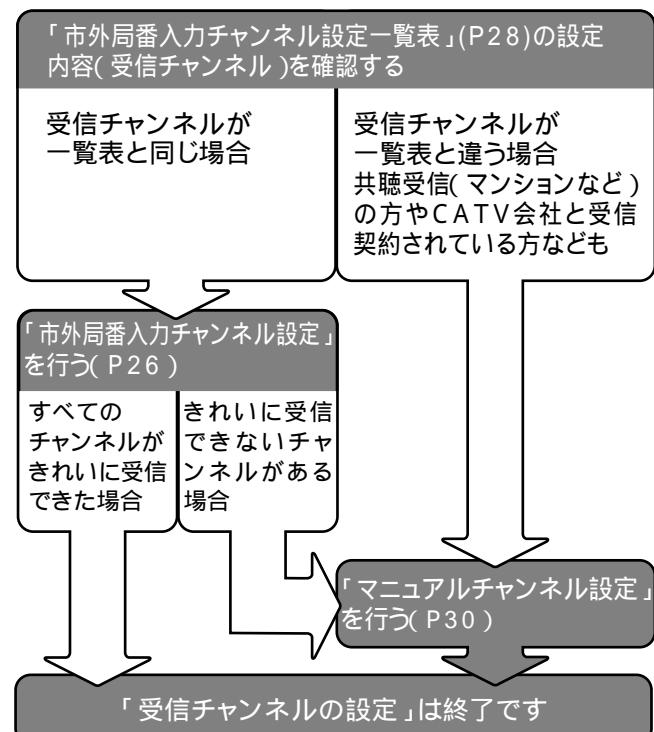
2 **ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする**

3 **ビデオ電源 でビデオの電源を入れる**

4 **ビデオチャンネル ∧ ∨ を押すなどして、ビデオの画面が映っていることを確認する**
- または録画されたテープを再生するなどして確認してください。

受信チャンネル設定手順

本機で受信チャンネルを設定するには下記の2つの方法があります。

■市外局番でチャンネルを合わせる…市外局番入力チャンネル設定(P26)

ご使用になる地域の市外局番を利用して受信チャンネルを設定する方法です。

■手動でチャンネルを合わせる…マニュアルチャンネル設定(P30)

ひとつひとつのチャンネルを確実に設定していく方法です。「市外局番入力チャンネル設定」で正しくチャンネルが受信できなかったときも、この方法でチャンネルを設定します。

設定手順

下の表に従って順番に設定してください

- 受信チャンネルの設定は、VHF/UHFアンテナを正しく接続してから行ってください。
- 最初から設定し直したいときは、一度工場出荷時の設定に戻してから設定し直してください。(P27)

受信チャンネル設定に関する用語

受信チャンネルとは

新聞、雑誌に載っているチャンネルで、放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

チャンネルポジションとは

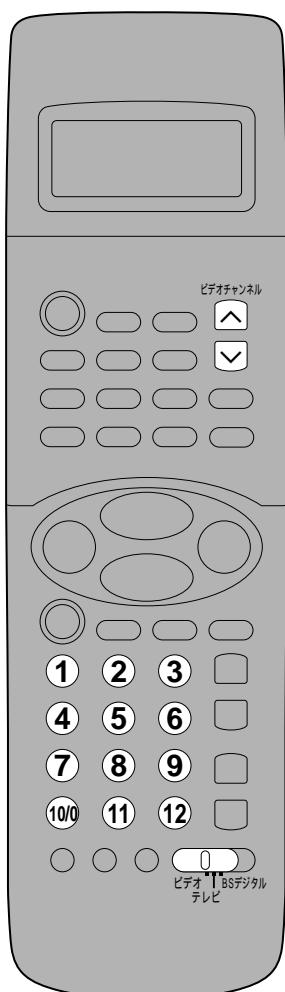
選局の順番を表示するもので、受信するチャンネルを表示します。

表示チャンネルとは

ビデオ表示部やテレビ画面に表示されるチャンネルです。

ガイドチャンネルとは

Gコード予約をするために放送局につけられたチャンネルです。(例：NHK総合 80、NHK教育 90)

拡張チャンネルとは

将来のシステムに対応するもので、現在は使用できません。(市外局番入力チャンネル設定を行うと、自動的に設定されます)

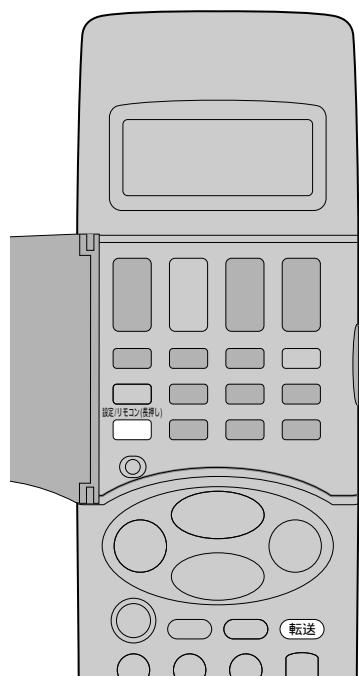
市外局番でチャンネルを合わせる(市外局番入力チャンネル設定)

ご使用になる地域の市外局番を利用して受信チャンネルを設定する方法です。

準備 ● VHF/UHFアンテナが正しく接続されていることを確認する。
● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1
設定/リモコン(長押し) を約2秒押し続け「☎」マークを出す

2 **1～10/0で、一覧表（P28）に記載されている市外局番を入力する**
- **市外局番に変更があった場合でも、一覧表の番号で設定してください。**
- 間違えたときは、リモコンのとびらを閉じ、もう一度開いて手順１からやり直してください。

3 **転送 を押し、ビデオに転送する**
- テレビ画面に市外局番が表示され、ビデオがオートサーチを始めます。
- オートサーチ中に画像が乱れることがありますが、受信には問題ありません。
- 転送 を押す前にとびらを閉じると、入力した市外局番が消えてしまいます。必ずとびらを開けたまま 転送 を押してください。

4 **オートサーチが終わったら、リモコンのふたを閉じる**

5 **ビデオチャンネル ∧ ∨ または 1～12 でチャンネルを切り換えながらすべてのチャンネルがきれいに受信できていることを確認する**
- **1～12 ではP28の一覧表に記載されている1～12の局が選べます。**
- **1～12 で選局するときは必ずリモコンのふたを閉じておいてください。**

ヒント
- i.LINK機器を選んでいるとき（ビデオ表示部に「d1」や「d2」と表示されているとき）は、オートサーチできません。VHF/UHFチャンネルなどを選んでおいてください。

「市外局番入力チャンネル設定」を行うと

ビデオが、下記のような動作を自動的に行います。

❶「市外局番入力チャンネル設定一覧表」（P28）のとおりに受信チャンネルを設定する

❷ オートサーチを行って、それらの放送局が実際に受信できるかどうかを調べる

- VHF/UHF放送（1～62チャンネル）→CATV放送（C13～C63チャンネル）の順番に、約1分間のオートサーチを行います。
- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルはチャンネルポジション13～20 (愛媛県では14～20）に追加登録されます。

お願い

■同じ放送局が、複数のチャンネルポジションに設定されたとき

- 必ず映りの悪い方のチャンネルをとばしておいてください。（P33）

■受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき

- 「マニュアルチャンネル設定」（P30）で必要な設定を行ってください。

こんなとき

■最初から設定し直したいとき

左ページ手順2で、市外局番の代わりに「000000」(「0」を6個）と入力して転送すると、ビデオのチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

- **VHF/UHFチャンネル**
  VHFの1～12チャンネルが受信できる状態
- **CATVチャンネル**
  すべてのチャンネルがとばされた状態
- **外部入力チャンネル**
  L1、L2が使用できる状態

(ガイドチャンネルは、すべてのチャンネルで設定されていません)

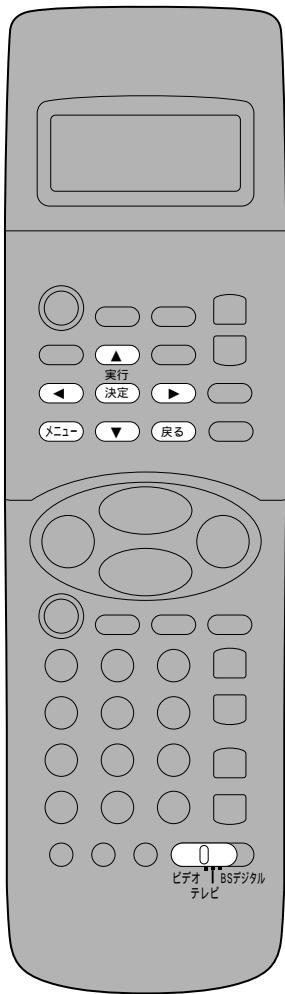
市外局番入力チャンネル設定一覧表(VHF/UHF)

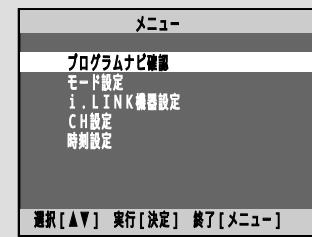
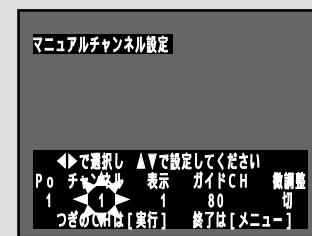
市外局番に変更があった場合でも、この表の番号で設定してください。

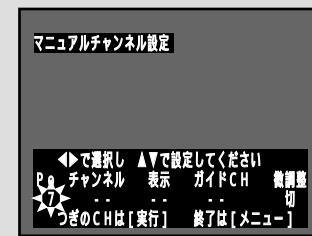
都道府県	都市名	市外局番	チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル																			
			1				2				3				4				5			
			放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	0177	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	20
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
秋田	秋田	018					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	31
山形	山形	023													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	30
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	30
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合	44	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	16
栃木	宇都宮	028	NHK総合	29	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	27	3	90	日本テレビ	25	4	4	とちぎテレビ	31	31	23
群馬	前橋	027	NHK総合	52	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	48
埼玉	浦和	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	39	3	80					中部日本放送	5	5	5
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	31	3	80	毎日放送	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合	28	28	80					毎日放送	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日放送	18	4	4	テレビ大阪	19	19	19
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4	NHK奈良	51	51	ー
和歌山	和歌山	073					NHK総合	32	2	80					毎日放送	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80
山口	山口	083	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日放送	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日放送	4	4	4	NHK総合	37	37	80
愛媛 (※下記)	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	19
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	19
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	19
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

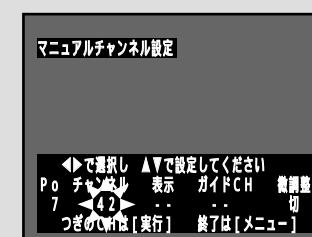
(※)愛媛県では、「愛媛朝日」がチャンネルポジション**13**に設定されます。

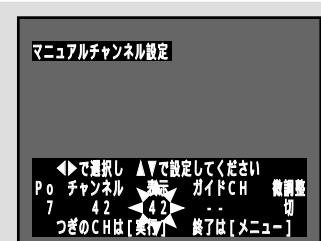
● 松山：受信CH…25　表示CH…25　ガイドCH…25、● 新居浜：受信CH…14　表示CH…14　ガイドCH…25

チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル																											
6				7				8				9				10				11				12			
放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
								北海道文化	27	27	27					北海道テレビ	35	35	35					NHK教育	12	12	90
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	37	37	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	59	59	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	61	61	35	北海道放送	53	53	1				
北海道放送	6	6	1					北海道文化	32	32	27					札幌テレビ	10	10	5					NHK教育	12	12	90
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	41	41	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
北海道放送	6	6	1													NHK教育	10	10	90					札幌テレビ	12	12	5
								北海道文化	27	27	27					青森朝日	34	34	34	北海道テレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38
				NHK教育	7	7	90					NHK総合	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38
岩手放送	6	6	6	宮城テレビ	34	34	34	NHK教育	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12
				東日本放送	32	32	32					宮城テレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12
												NHK総合	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37
秋田放送	6	6	11					NHK教育	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37
テレビュー山形	36	36	36					NHK総合	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38
NHK教育	6	6	90					テレビュー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38
福島中央	33	33	33	東日本放送	32	32	32	宮城テレビ	34	34	34	NHK総合	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
福島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央	37	37	33	宮城テレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
福島中央	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					NHK教育	10	10	90					福島放送	36	36	35
TBSテレビ	40	6	6					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12
TBSテレビ	23	6	6					フジテレビ	21	8	8					テレビ朝日	19	10	10					テレビ東京	17	12	12
TBSテレビ	56	6	6	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12
TBSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
								NHK総合	8	8	80					新潟総合	35	35	35					NHK教育	12	12	90
チューリップ	32	32	32													NHK教育	10	10	90					富山テレビ	34	34	34
北陸放送	6	6	6	北陸朝日	25	25	25	NHK教育	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37
北陸放送	6	6	6									NHK総合	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39
テレビ山梨	37	37	37	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
テレビ信州	30	30	30									NHK教育	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11				
信越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38								
テレビ愛知	25	25	25	岐阜放送	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
静岡朝日	33	33	33									NHK総合	9	9	80					静岡放送	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35
静岡放送	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育	8	8	90					静岡朝日	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35
岐阜放送	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25
朝日放送	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
朝日放送	38	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	42	10	10					NHK教育	46	46	90
朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
朝日放送	20	6	6					関西テレビ	22	8	8					読売テレビ	24	10	10					NHK教育	26	12	90
朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育	12	12	90
朝日放送	44	6	6					関西テレビ	46	8	8					読売テレビ	48	10	10					NHK教育	26	12	90
																山陰放送	22	22	10					山陰中央	24	24	34
NHK総合	6	6	80					山陰中央	34	34	34					山陰放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
								山陰中央	58	58	34	NHK教育	9	9	90												
				瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11				
				NHK教育	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12
				中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35					広島テレビ	11	11	12				
				テレビ山口	38	38	38	RKB毎日	8	8	4	NHK総合	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	福岡放送	35	35	37
朝日放送	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育	38	12	90
朝日放送	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	岡山放送	31	31	35
NHK総合	6	6	80	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	37	37	37
南海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	広島ホーム	35	35	35	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	36	36	37
NHK教育	6	6	90					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38	高知さんさん	40	40	40				
NHK教育	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					熊本放送	11	11	11	福岡放送	37	37	37
NHK総合	6	6	80					RKB毎日	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
テレビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	RKB毎日	48	48	4	NHK総合	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37
テレビ熊本	34	34	34	長崎国際	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化	27	27	27	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	熊本県民	22	22	22
テレビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	9	9	80	テレビQ	19	19	19	熊本放送	11	11	11	RKB毎日	4	4	4
南海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	福岡放送	37	37	37	大分朝日	24	24	24	テレビQ	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育	12	12	90
				鹿児島放送	32	32	32	NHK総合	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
宮崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																
宮崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	熊本県民	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30				
鹿児島テレビ	35	35	38	熊本県民	22	22	22	NHK総合	8	8	80	熊本朝日	16	16	16	南日本放送	10	10	1	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
								沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90

手動でチャンネルを合わせる(マニュアルチャンネル設定)

VHF/UHFチャンネルの登録

ひとつひとつのチャンネルを確実に設定していく方法です。
「市外局番入力チャンネル設定」で正しくチャンネルが受信できなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、またはガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作してください。

❇ **準備** ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**

2 **▲ ▼ で「CH設定」を選び、決定/実行 を押す**

- 選んでいる項目が点滅します。

3 **◀ で「Po」を選び、▲ ▼ で登録したいチャンネルポジションを選ぶ**

- 「1」～「20」の中から選んでください。
- ▲ を押すごとに、下記のように変わります。(▼ を押すと逆方向)
- 「Po」は「Position」の略です。

4 **▶ で「チャンネル」を選び、▲ ▼ で受信チャンネルを合わせる**

- 登録したい放送が映るように、数字を変えていってください。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。

5 ▶で「表示」を選び、▲▼で表示チャンネルを合わせる

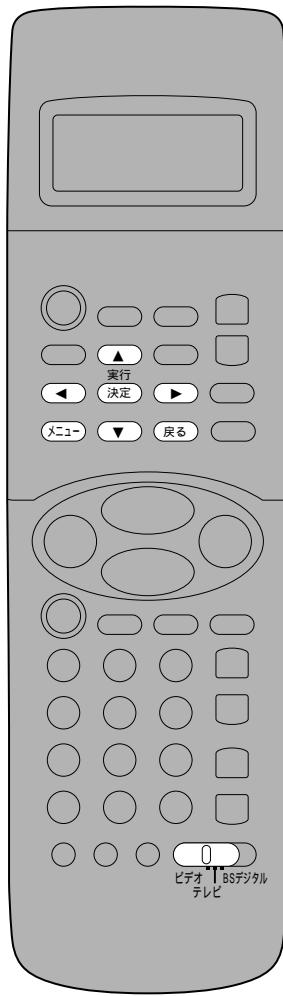
- ビデオ表示部やテレビ画面に表示させたい数字に合わせてください。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。

6 ▶で「ガイドCH」を選び、▲▼でガイドチャンネルを合わせる

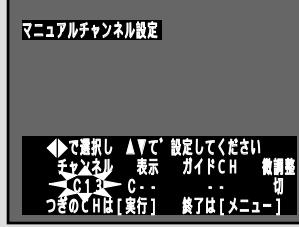
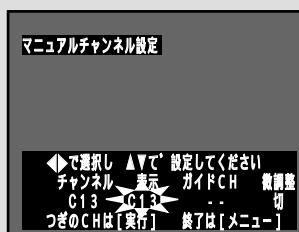
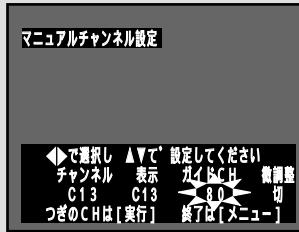
- 「ガイドチャンネル一覧表」（P35）を見ながら合わせてください。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。
- ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

7 メニューを押す

- マニュアルチャンネル設定画面が消えます。

こんなとき

■2つ以上のチャンネルを登録するとき

手順6の後、決定/実行を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

ヒント

- 戻るを押すとメニュー画面に戻ります。

手動でチャンネルを合わせる(マニュアルチャンネル設定)(つづき)

CATVチャンネルの登録

❇ **準備** ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**

● メニュー画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「CH設定」を選び、決定/実行 を押す**

● マニュアルチャンネル設定画面が出ます。

3 **◀ で「Po」を選び、▲ ▼ で登録したいCATVのチャンネルポジションを選ぶ**

● チャンネルポジションの表示が「チャンネル」になります。

4 **▶ で「表示」を選び、▲ ▼ で表示を出す**

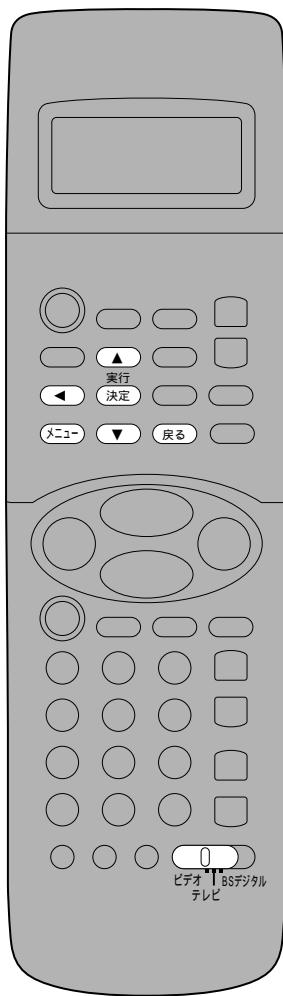
●「C−−」のチャンネルはとばされています。

5 **▶ で「ガイドCH」を選び、▲ ▼ でガイドチャンネルを合わせる**

●「ガイドチャンネル一覧表」(P35)を見ながら合わせてください。
● ボタンを押し続けると10ずつ変わります。
● ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

6 **メニュー を押す**

● マニュアルチャンネル設定画面が消えます。

こんなとき

● **2つ以上のチャンネルを登録するときは**
手順5の後、決定/実行 を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

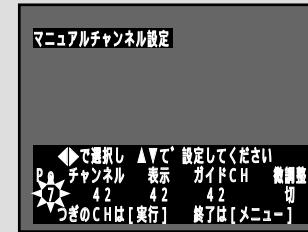
ヒント

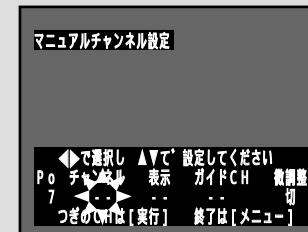
● 戻る を押すとメニュー画面に戻ります。

■チャンネルポジションの表示の変わりかた

VHF/UHFチャンネル ・・・・・・・・・・・Po
CATVチャンネル・・・・・・・・・・チャンネル
外部入力チャンネル(L1･L2･L3)・・・・・入力
拡張チャンネル ・・・・・・・・・・・・・・Po

不要なチャンネルの削除

ノイズ画面のチャンネルが設定されているときや、選局の順番を入れ替えたいときなどに操作してください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

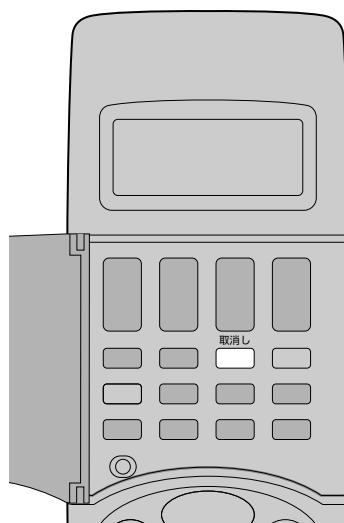
1 **メニュー を押す**

● メニュー画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「CH設定」を選び、決定/実行 を押す**

● マニュアルチャンネル設定画面が出ます。

3 **◀ で「Po」を選び、▲ ▼ で削除したいチャンネルポジションを選ぶ**

4 **取消し ボタンを押す**

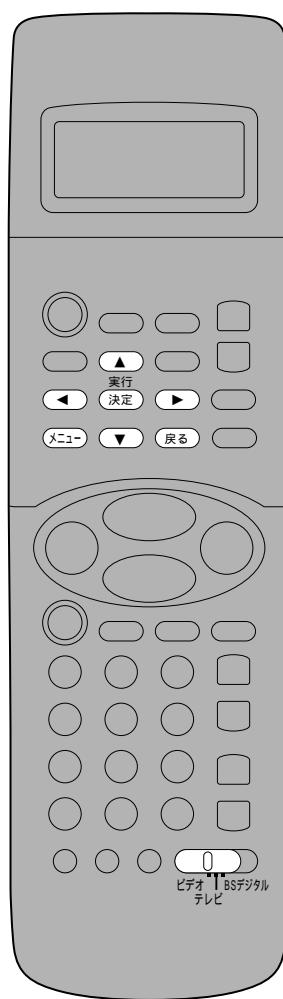
● チャンネル・表示・ガイドCHのすべてが「ーー」表示になります。

5 **メニュー を押す**

● マニュアルチャンネル設定画面が消えます。

こんなとき

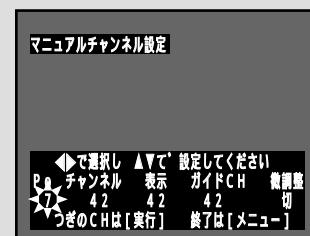
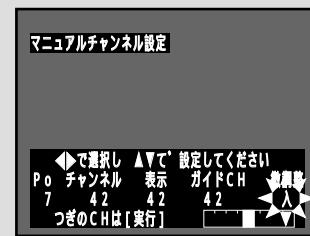
● **2つ以上のチャンネルを削除するときは**

手順4の後、決定/実行 を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

ヒント

● 戻る を押すとメニュー画面に戻ります。

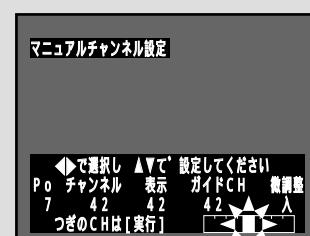
手動でチャンネルを合わせる(マニュアルチャンネル設定)(つづき)

映りの悪いチャンネルの微調整

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作してください。

❇ **準備** ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**

● メニュー画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「CH設定」を選び、決定/実行 を押す**

● マニュアルチャンネル設定画面が出ます。

3 **◀ で「Po」を選び、▲ ▼ で微調整したいチャンネルポジションを選ぶ**

4 **◀ ▶ で「微調整」を選び、▲ ▼ で「入」を選ぶ**

●「微調整」バー表示が出ます。

●「切」を選ぶと「微調整」バー表示が消えます。

5 **▶ で「微調整」バー表示を点滅させ、▲ ▼ で微調整する**

色が付いていないとき ・・・・・・ ▲

しま模様が出るとき ・・・・・・・ ▼

● 調整しすぎて画面表示が見えなくなったときは、「微調整」を「切」にし、もう一度「入」にしてください。

● 電波の受信状態によっては、調整しきれない場合があります。

6 **メニュー を押す**

● マニュアルチャンネル設定画面が消えます。

こんなとき

● 2つ以上のチャンネルを微調整するときは

手順5の後、決定/実行 を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

ヒント

● 戻る を押すとメニュー画面に戻ります。

■チャンネルポジションの表示の変わりかた

VHF/UHFチャンネル ・・・・・・・・・・・Po
CATVチャンネル・・・・・・・・・・チャンネル
外部入力チャンネル(L1・L2・L3)・・・・・入力
拡張チャンネル ・・・・・・・・・・・・・Po

ガイドチャンネル一覧表

新たに開局した放送局やCATV放送のガイドチャンネルについては、販売店やCATV会社にご確認ください。

地域	放　送　局	ガイドCH
全　国	NHK総合	80
	NHK教育	90
北海道	北海道放送(HBC)	1
	札幌テレビ(STV)	5
	テレビ北海道(TVH)	17
	北海道文化(UHB)	27
	北海道テレビ(HTB)	35
青　森	青森放送(RAB)	1
	青森朝日(ABA)	34
	青森テレビ(ATV)	38
岩　手	岩手放送(IBC)	6
	岩手朝日(IAT)	20
	めんこい(MIT)	33
	テレビ岩手(TVI)	35
宮　城	東北放送(TBC)	1
	仙台放送(OX)	12
	東日本放送(KHB)	32
	宮城テレビ(MMT)	34
秋　田	秋田放送(ABS)	11
	秋田朝日(AAB)	31
	秋田テレビ(AKT)	37
山　形	山形放送(YBC)	10
	山形さくらんぼ(SAY)	30
	テレビュー山形(TUY)	36
	山形テレビ(YTS)	38
福　島	福島テレビ(FTV)	11
	テレビュー福島(TUF)	31
	福島中央(FCT)	33
	福島放送(KFB)	35
関　東	日本テレビ(NTV)	4
	TBSテレビ(TBS)	6
	フジテレビ(CX)	8
	テレビ朝日(ANB)	10
	テレビ東京(TX)	12
	東京メトロポリタン(MX)	14
	放送大学	16
	とちぎテレビ(TTV)	23
	テレビ埼玉(TVS)	38
	TVKテレビ(TVK)	42
	千葉テレビ(CTC)	46
	群馬テレビ(GTV)	48
新　潟	新潟放送(BSN)	5
	新潟テレビ21(NT21)	21
	テレビ新潟(TNN)	29
	新潟総合(NST)	35
富　山	北日本放送(KNB)	1
	チューリップ(TUT)	32
	富山テレビ(T34)	34

地域	放　送　局	ガイドCH
石　川	北陸放送(MRO)	6
	北陸朝日(HAB)	25
	テレビ金沢(KTK)	33
	石川テレビ(ITC)	37
福　井	福井放送(FBC)	11
	福井テレビ(FTB)	39
山　梨	山梨放送(YBS)	5
	テレビ山梨(UTY)	37
長　野	信越放送(SBC)	11
	長野朝日(ABN)	20
	テレビ信州(TSB)	30
	長野放送(NBS)	38
静　岡	静岡放送(SBS)	11
	静岡第一(SDT)	31
	静岡朝日(SAT)	33
	テレビ静岡(SUT)	35
中　京	東海テレビ(THK)	1
	中部日本放送(CBC)	5
	名古屋テレビ(NBN)	11
	テレビ愛知(TVA)	25
	三重テレビ(MTV)	33
	中京テレビ(CTV)	35
	岐阜放送(GBS)	37
関　西	毎日放送(MBS)	4
	朝日放送(ABC)	6
	関西テレビ(KTV)	8
	読売テレビ(YTV)	10
	テレビ大阪(TVO)	19
	テレビ和歌山(WTV)	30
	びわ湖放送(BBC)	30
	京都テレビ(KBS)	34
	サンテレビ(SUN)	36
	奈良テレビ(TVN)	55
鳥　取 島　根	日本海テレビ(NKT)	1
	山陰放送(BSS)	10
	山陰中央(TSK)	34
岡　山 香　川	西日本放送(RNC)	9
	山陽放送(RSK)	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送(KSB)	33
	岡山放送(OHK)	35
広　島	中国放送(RCC)	4
	広島テレビ(HTV)	12
	テレビ新広島(TSS)	31
	広島ホーム(HOME)	35
山　口	山口放送(KRY)	11
	山口朝日(YAB)	28
	テレビ山口(TYS)	38

地域	放　送　局	ガイドCH
徳　島	四国放送(JRT)	1
愛　媛	南海放送(RNB)	10
	愛媛朝日(EAT)	25
	あいテレビ(ITV)	29
	愛媛放送(EBC)	37
高　知	高知放送(RKC)	8
	テレビ高知(KUTV)	38
	高知さんさん(KSS)	40
福　岡	九州朝日(KBC)	1
	RKB毎日(RKB)	4
	テレビ西日本(TNC)	9
	テレビQ(TVQ)	19
	福岡放送(FBS)	37
佐　賀	サガテレビ(STS)	36
長　崎	長崎放送(NBC)	5
	長崎国際(NIB)	25
	長崎文化(NCC)	27
	テレビ長崎(KTN)	37
熊　本	熊本放送(RKK)	11
	熊本朝日(KAB)	16
	熊本県民(KKT)	22
	テレビ熊本(TKU)	34
大　分	大分放送(OBS)	5
	大分朝日(OAB)	24
	テレビ大分(TOS)	36
宮　崎	宮崎放送(MRT)	10
	テレビ宮崎(UMK)	35
鹿児島	南日本放送(MBC)	1
	鹿児島読売(KYT)	30
	鹿児島放送(KKB)	32
	鹿児島テレビ(KTS)	38
沖　縄	沖縄テレビ(OTV)	8
	琉球放送(RBC)	10
	琉球朝日(QAB)	28
従来の BS放送	BS 1	71
	BS 3	72
	BS 5 WOWOW(JSB)	73
	BS 7 NHK衛星第一	74
	BS 9 ハイビジョン放送	75
	BS11 NHK衛星第二	76
	BS13	77
	BS15	78

使用可能なカセットとテープ速度について

録画方式について

本機は、D-VHS方式、S-VHS方式、S-VHS ET方式、VHS方式で録画できます。

それぞれのカセットを使用した場合の録画方式は下表の通りです。
S-VHS・VHSカセットを入れ、テープ速度で「標準」、「3倍」を選ぶとS-VHS・VHS録画ができます。
D-VHSカセットを入れ、テープ速度で「HS STD」(D-VHS自動)、「STD」、「LS3」を選ぶとD-VHS（デジタル）録画ができます。

カセットの種類	録画方式 D-VHS（デジタル）録画 HS	STD	LS3	アナログ録画 S-VHS	S-VHS ET※1	VHS
D-VHS	○	○	○	○	−	○
S-VHS	−	−	−	○	−	○
VHS	−	−	−	−	○※2	○

※1 VHSカセットにS-VHSの画質で録画する機能です。
※2 高画質で録画できるカセットの目安として、当社製のHG（ハイグレード）VHSカセットをおすすめします。

D-VHSカセットと録画可能時間

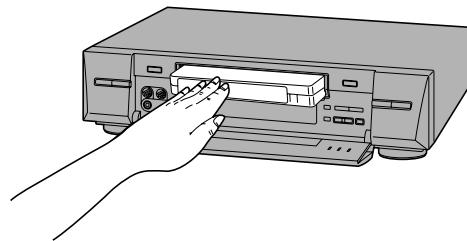
カセット品番	録画できる時間 HS	STD	LS3
DF-300	150分（2時間30分）	300分（5時間）	900分（15時間）
DF-420	210分（3時間30分）	420分（7時間）	1260分（21時間）

テープ速度について

HS STD(D-VHS自動)：HD放送やマルチビュー放送（P108）は「HS」で録画、SD放送は「STD」で録画するなど、自動でテープ速度が選ばれます。
STD：D-VHS（デジタル）録画するとき。
LS3：D-VHS（デジタル）で、長時間録画したいとき。
標準：アナログ録画するとき。
3倍：アナログ録画で、長時間録画したいとき。
標3(アナログ予約録画時のみ)：番組をテープにぴったりおさめたいとき。「標準」で予約録画を始め、テープ残量が足りなくなってくると、自動的に「3倍」に切り換えて予約終了時刻まで録画します。(P67)

- VHF/UHFチャンネルの無信号チャンネルを受信しているときに、「STD」、「LS3」を選ぶとブルーバック画面が解除されノイズ画面になります。

録画可能なテープ速度について

入っているカセットの種類、選局しているチャンネルにより、録画できるテープ速度が変わります。

選んだ入力		D-VHSカセット		S-VHS、VHSカセット	
		デジタル録画可能なテープ速度	アナログ録画可能なテープ速度	デジタル録画可能なテープ速度	アナログ録画可能なテープ速度
VHF/UHFチャンネル CATVチャンネル 外部入力チャンネル(L1、L2、L3)		○ STD[※2]、LS3[※2]	○ 標準、3倍	–	○ 標準、3倍
i.LINK機器	BS再入力（P23）設定をしているとき	○ HS STD[※1]、 STD[※2]、LS3[※2]	○ 標準、3倍	–	○ 標準、3倍
	BS再入力（P23）設定をせずにBSデジタルチューナーを選んでいるとき	○ HS STD[※1]	–	–	–
	BS再入力（P23）設定をせずにBSデジタルチューナー以外を選んでいるとき	○ HS STD[※1]	○ 標準、3倍	–	○ 標準、3倍

※1「HS」ランプと「STD」ランプが両方点灯している場合は、D-VHS自動録画モードです。i.LINK入出力端子から入力される番組情報によって、最適なテープ速度を自動的に選んで録画します。録画中は選ばれた最適なテープ速度（「HS」か「STD」のどちらか片方のみ）が点灯します。

※2 アナログ信号を内蔵MPEG2エンコーダーでデジタル信号に変換してから録画します。

カセットの入れかた

テープが見える面を上に、テープラベルが手前になるようにして、中央部をゆっくりと押し込む
- 自動的に電源が入ります。
- ビデオ表示部に「📼」表示が出ます。
- 誤消去防止状態のカセットを入れると、自動的に再生を始めます。

ヒント
「モード設定」（P84）の「プログラムナビ」を「入」にしているときは、カセットを入れたときに、カセットを識別するための信号を自動的に読み込みます。
- 読み込み中は、テレビ画面に「ナビデータを確認しています」と表示されます。

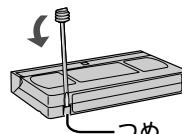
カセットの出しかた

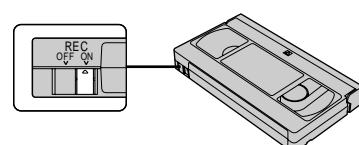
▲取出し を押す
- カセットが途中まで出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。

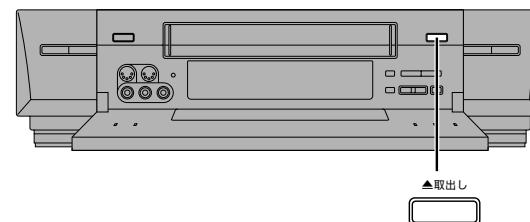
ヒント
■電源が切れていても、カセットは取り出せます。
■次のようなときは、カセットは取り出せません。
- 録画中。
- 予約録画中、または予約録画の待機中。

使用できるカセットについて

■本機では、VHS、S VHS、D VHS マークの付いたビデオカセットが使用できます。
- D-VHS(デジタル)録画をする場合は、 D VHS マークの付いたビデオカセットをお使いください。

■デジタル方式かアナログ方式かによって使える機能が異なります。本書では、記号を用いてその説明に当てはまる方式を表しています。

デジタル D-VHS（デジタル）方式で使える機能

アナログ アナログ方式で使える機能

ヒント
■残しておきたい録画を誤って消さないために

誤消去防止用の「つめ」を折り取ってください。
- もう一度録画できるようにしたいときは、「つめ」を折り取った部分にセロハンテープを二重にはってください。
(「つめ」の代わりになります)

誤消去防止つまみがある場合は、カセットの誤消去防止つまみをスライドさせて、「OFF」側にしてください。
「ON」側に戻すと、録画が可能になります。カセットの説明書もよくお読みください。

再生する前の準備

BSデジタルチューナー、テレビと接続したとき

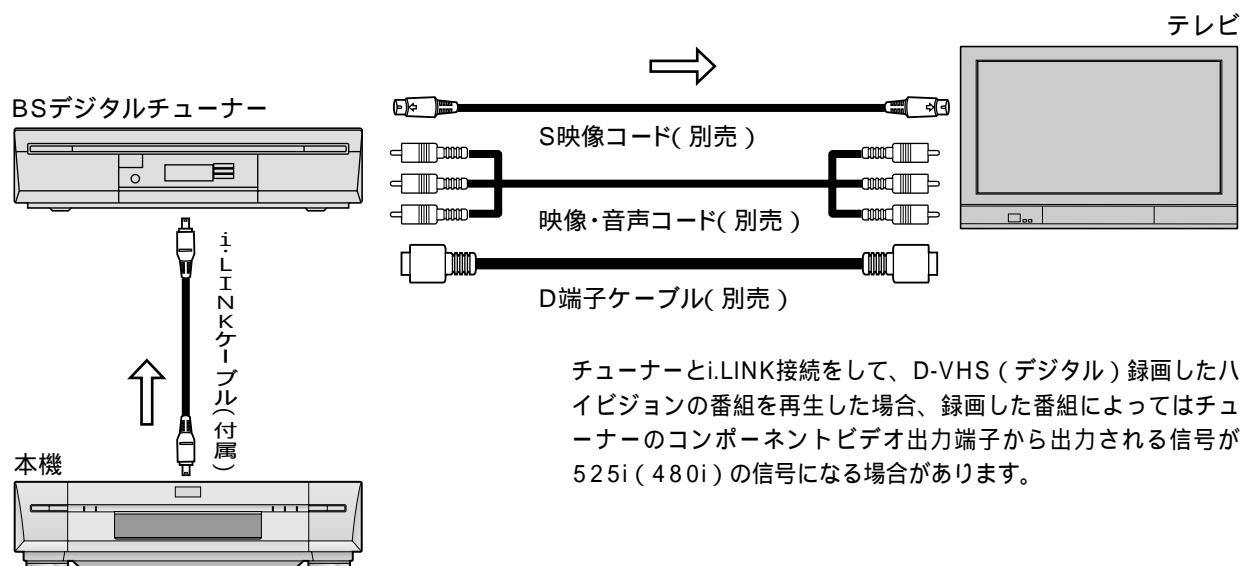
再生する番組によって、接続や準備が異なります。詳しい接続はP20をご覧ください。
（下図の ⇨ は、映像・音声の流れを表しています）

アナログ録画した番組を再生するとき　アナログ

❇ **準備** ●テレビの入力を本機と接続した入力に切り換える。（P24）

D-VHS（デジタル）録画した番組を再生するとき　デジタル

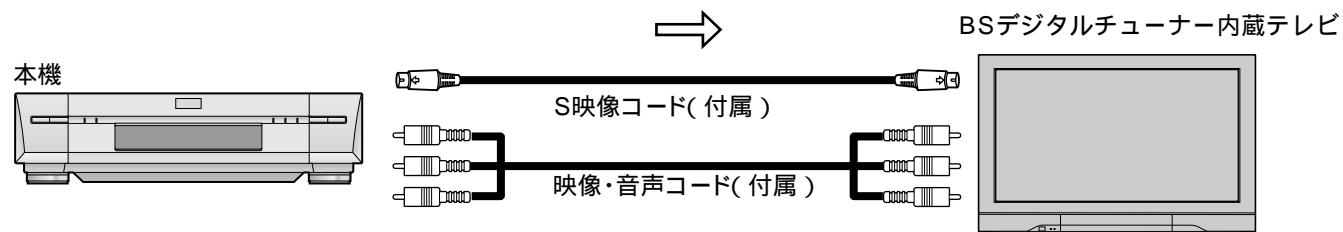
■本機でエンコード(P108)して録画した番組を再生するとき
〔地上波放送などをD-VHS（デジタル）録画した番組〕

● 映像・音声は本機でデジタルからアナログに変換された後、テレビに送られます。

❇ **準備** ●テレビの入力を本機と接続した入力に切り換える。（P24）

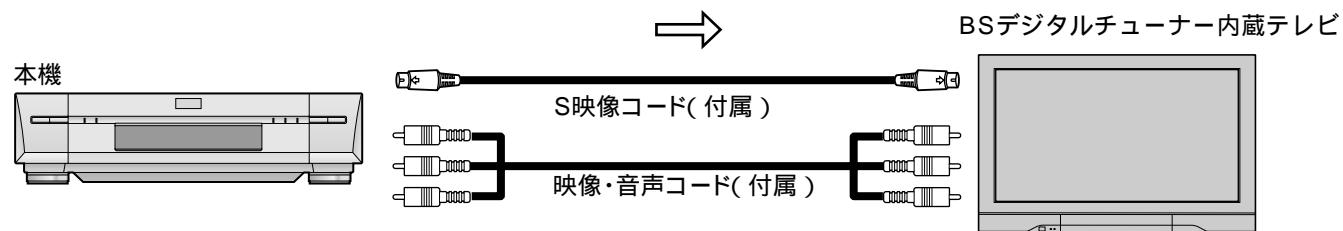
■BSデジタル放送を再生するとき

● 映像・音声はチューナーを通してデジタルからアナログに変換された後、テレビに送られます。

●チューナーとi.LINK接続をして、D-VHS（デジタル）録画したハイビジョンの番組を再生した場合、録画した番組によってはチューナーのコンポーネントビデオ出力端子から出力される信号が525i（480i）の信号になる場合があります。

❇ **準備** ●チューナーとi.LINKケーブルで正しく接続できているか確認する。（P20）
●チューナーの電源を入れる。
●テレビの入力をチューナーと接続した入力に切り換える。
●当社製以外のチューナーをお使いの場合は、チューナーで本機をリンク（P108）する。
●詳しくは、チューナーの説明書をお読みください。

再生する前の準備（つづき）

BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続したとき

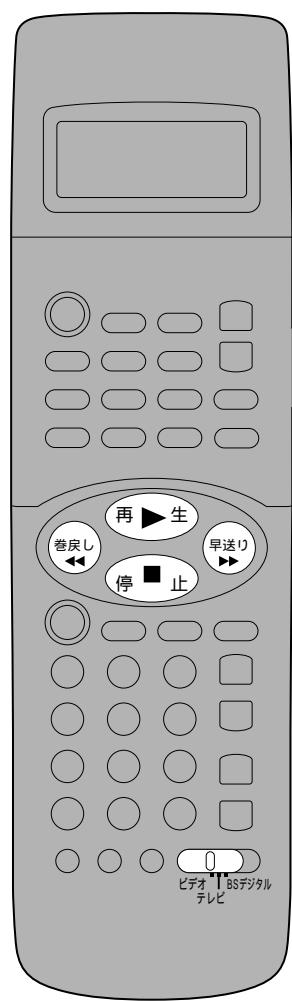
再生する番組によって、接続や準備が異なります。詳しい接続はP21をご覧ください。
（下図の ⇨ は、映像・音声の流れを表しています）

アナログ録画した番組を再生するとき　アナログ

準備 ● チューナー内蔵テレビの入力を本機と接続した入力に切り換える。（P24）

D-VHS（デジタル）録画した番組を再生するとき　デジタル

■本機でエンコード（P108）して録画した番組を再生するとき
〔地上波放送などをD-VHS（デジタル）録画した番組〕

● 映像・音声は本機でデジタルからアナログに変換された後、チューナー内蔵テレビに送られます。

準備 ● チューナー内蔵テレビの入力を本機と接続した入力に切り換える。（P24）

■BSデジタル放送を再生するとき

● 映像・音声はデジタルのままチューナー内蔵テレビに送られます。

準備
● チューナー内蔵テレビとi.LINKケーブルで正しく接続できているか確認する。（P21）
● チューナー内蔵テレビの電源を入れる。
● 当社製以外のチューナー内蔵テレビをお使いの場合は、チューナー内蔵テレビで本機をリンク（P108）する。
● 詳しくは、チューナー内蔵テレビの説明書をお読みください。

再生する

❊**準備** ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。　**デジタル** **アナログ**

再生▶ を押す
● 再生が始まります。

停止する

停止■ を押す

早送りする

停止中に、早送り▶▶ を押す
● 早送りが始まります。
● テープの終わりまで早送りすると、自動的にテープの始端まで巻き戻します。

巻き戻しする

停止中に、巻戻し◀◀ を押す
● 巻き戻しが始まります。
● テープの始端まで巻き戻すと、停止します。

ヒント

● 誤消去防止状態のカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
● すでにカセットが入っているときは、電源が切れていても、再生▶ を押すだけで再生を始めます。
● 録画方式を自動的に判別して再生します。ただし、本機で再生できる録画モードは「標準」、「3倍」、「HS」、「STD」、「LS3」のみです。

こんなとき

● 音声を切り換えたいとき（P90）

■「今すぐ再生」（P19)の設定をしているとき

「今すぐ再生」をご使用になるときは、ビデオからの映像・音声コードを必ずテレビのビデオ入力1端子に接続してください。

再生する（つづき）

デジタル

ヒント

- 再生を始めた直後などは正しい画面が出るまでモザイク状のノイズが出たり、静止画や黒い画面になることがあります。「LS3」モードでは正しい画面が出るまでに時間がかかることがあります。
- 録画のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまで静止画やモザイク状のノイズが出たり黒い画面になります。
- 予約録画のつなぎ目を再生すると、画面が一瞬乱れることがあります。
- テープ速度で「HS STD」（D-VHS自動）以外を選んでD-VHS（デジタル）録画したテープを再生しても、マルチビュー放送やデータ放送の操作はできません。

こんなとき

■本機以外でD-VHS(デジタル)録画されたカセットなどを再生するとモザイク状のノイズが出るとき

本体の［録画時間］を3秒以上押すと、正しい画面が出る場合があります。（P96）

■テレビ画面に「再生できません」と表示されたとき

録画時に正しく録画できていない可能性があります。i.LINKの接続をご確認ください。

BSデジタル番組の再生について

■テープ速度をD-VHS自動で録画した番組の場合

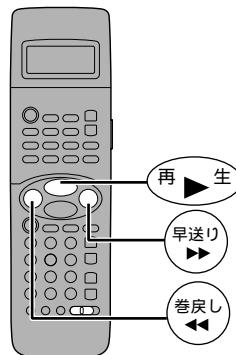
テープ速度をD-VHS自動でBSデジタル放送を録画すると、HD放送を高画質で録画したり、データ放送、マルチビュー放送（P108）を同時に録画することができます。（P53）

- 再生中に本機のリモコンで、これらの放送の画面や音声を切り換えてお楽しみいただけます。（P16、17）

HD放送	ハイビジョンクラスの高画質で番組が楽しめます。1125i/750p
SD放送	高画質で番組が楽しめます。525i/525p
マルチビュー放送	いろいろな映像に切り換えて番組を楽しめます。
データ放送	字幕などのデータ情報も楽しめます。
マルチ音声放送	いろいろな音声に切り換えて番組を楽しめます。
字幕放送	いろいろな字幕を切り換えて番組を楽しめます。

■BS再入力（P23）を使用して録画した番組の場合（P47）

- 画質は標準のNTSC信号レベルです。
- マルチビュー放送（P108）は、録画時に選んでいたチャンネルしか再生することができません。
- データ放送は、再生中に操作することはできません。
- マルチ音声（多国語放送など）は、録画時に選んでいた音声しか再生することができません。
- 字幕放送は、再生中に操作することはできません。

こんなとき

■テレビ画面に「BSデジタル信号です テレビ・チューナーの設定を変えてください」と表示されたとき

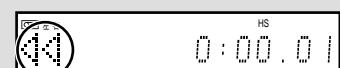
チューナー（内蔵テレビ）側でD-VHS再生画面を見てください。

早送り/巻き戻し再生する

デジタル アナログ

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

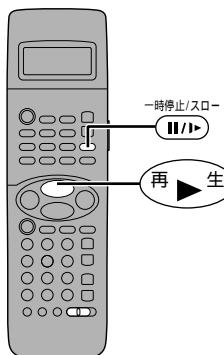
早送り再生する

再生中に、早送り▶▶ をポンと短く押す

- 早送り再生が始まります。
- 押し続けると、押している間だけ早送り再生を行い、指を離すと通常の再生に戻ります。

巻き戻し再生する

再生中に、巻戻し◀◀ をポンと短く押す

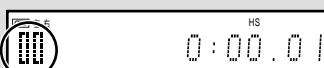
- 巻き戻し再生が始まります。
- 押し続けると、押している間だけ巻き戻し再生を行い、指を離すと通常の再生に戻ります。

通常再生に戻す

再生▶ を押す

ヒント

- 通常再生以外のときは音声は出ません。
- 早送り/巻き戻し再生を約10分間以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため、通常の再生に戻ります。
- D-VHS（デジタル）録画された番組は、少し先に進んだ場面で通常再生に戻ります。
- D-VHS（デジタル）録画された番組を早送り/巻き戻し再生すると、静止画になったままやモザイク状のノイズが発生することがあります。
- D-VHS（デジタル）録画された番組とアナログ録画された番組が混在するカセットを早送り/巻き戻し再生すると、正しく再生できない場合があります。一度再生を停止させてから、再度再生してみてください。
- BSハイビョン番組を早送り／巻き戻し再生すると画面の下部にデジタルノイズや静止画が発生することがあります。番組によっては、早送り／巻き戻し再生で映像が出ない番組があります。

静止画/スロー再生する

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

静止画にする

デジタル アナログ

再生中に、一時停止/スロー ❚❚/I▶ をポンと短く押す

- 静止画になります。

スロー再生する

アナログ

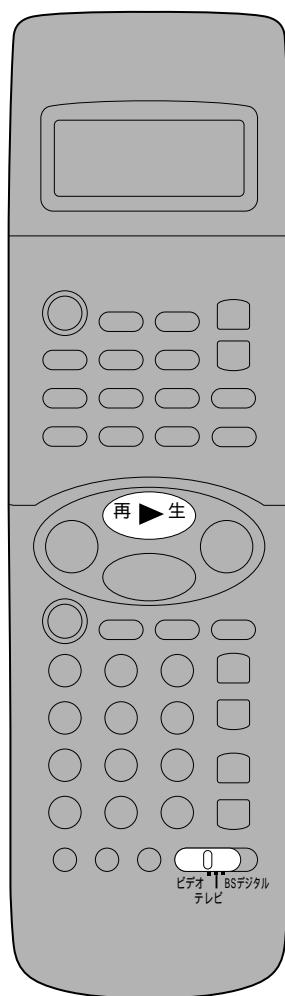
再生中に、一時停止/スロー ❚❚/I▶ を2秒以上押し続ける

- スロー再生になります。
- D-VHS（デジタル）録画されたカセットはスロー再生できません。

通常再生に戻す

再生▶ を押す

- 静止画再生のときは、一時停止/スロー ❚❚/I▶ をもう一度押しても、通常再生に戻すことができます。

ヒント

- 通常再生以外のときは音声は出ません。
- 静止画再生を約5分間以上続けたとき、またはスロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため、停止します。

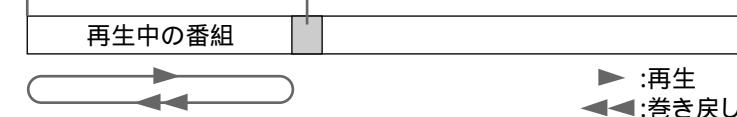
同じ番組をくり返し再生する（自動巻戻し再生）

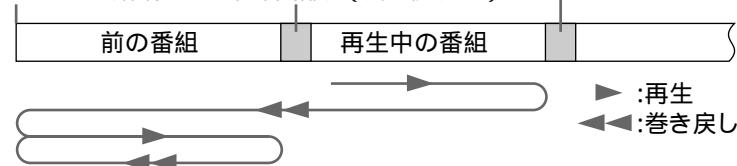
デジタル アナログ

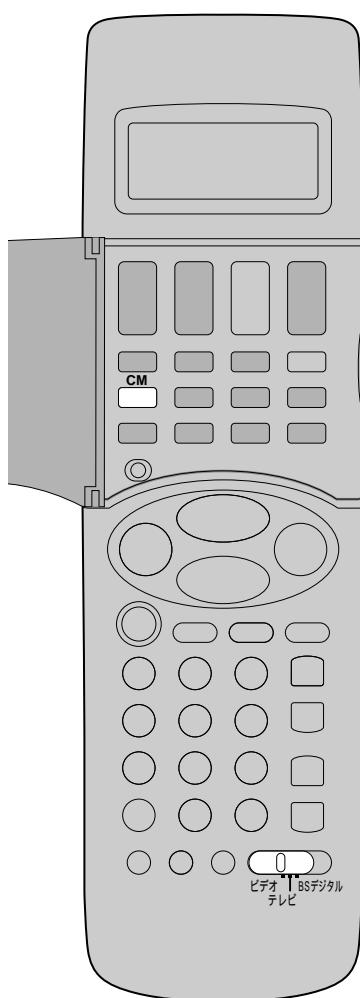
同じ番組をくり返して再生することができます。
●録画状態によっては、正しく働かない場合があります。（下記ヒントご参照）

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

再生中に、再生▶を約5秒以上押し続ける
●テレビ画面に「自動巻戻し再生▶」表示が出ます。
●この機能は、解除するまで働き続けます。

解除するには

再生▶をもう一度押す
●停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの動作が変わる操作をしても解除されます。

ヒント

■番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。
（未録画部分が短かったり、なかったりすると、次の番組まで再生されます）

●再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までをくり返して再生します。

●テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、その後再生します。

CMを早送りして再生する（自動CM早送り再生）

CMを自動的に早送りして再生することができます。 アナログ

- D-VHS（デジタル）録画された番組には働きません。また、アナログ録画でもBSデジタル放送を録画した場合や、録画されている番組によっては正しく働かない場合があります。（下記ヒントご参照）

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

再生を始める前、または再生中に、
CM を押す

- テレビ画面に「自動CM早送り　入」表示が出ます。
- CM中に CM を押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

解除するには

CM を押し、「自動CM早送り　切」表示を出す

- ビデオの電源を切っても解除されます。

ヒント

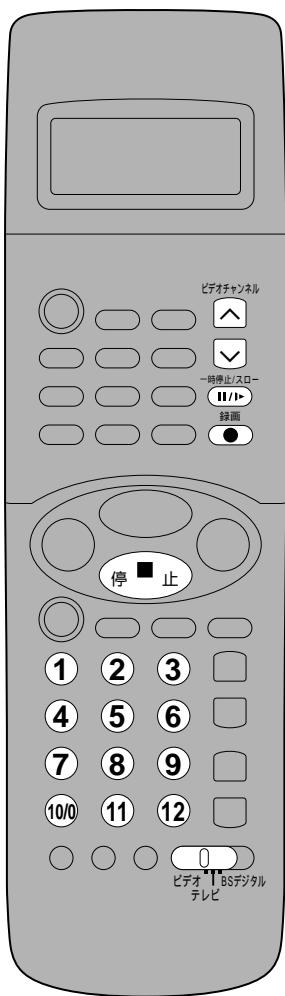
■**番組が「モノラル放送」または「二重放送（2カ国語放送など）」で、CMが「ステレオ放送」のときに、正しく働きます。**（CMの前後が、少し切れた状態で再生されます）

■**次のようなときは、正しく働きません。**

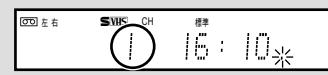
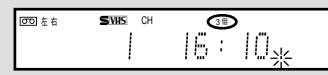
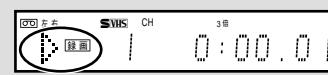
- **番組が「ステレオ放送」のとき**
  CMも通常どおり再生されます。
- **CMが「モノラル放送」または「二重放送」のとき**

番組	CM	番組
ステレオ	モノラル/二重	ステレオ

再生 → 早送り再生

- **CM以外でも、音声が「モノラル放送」や「二重放送」から「ステレオ放送」に切り換わったとき**
- **本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき**
- **外部入力録画（CS、BSデジタル、従来のBSを含む）をしたカセットを再生するとき**
- **BSデジタル放送など、i.LINK機器から録画したカセットを再生するとき**

再生・録画

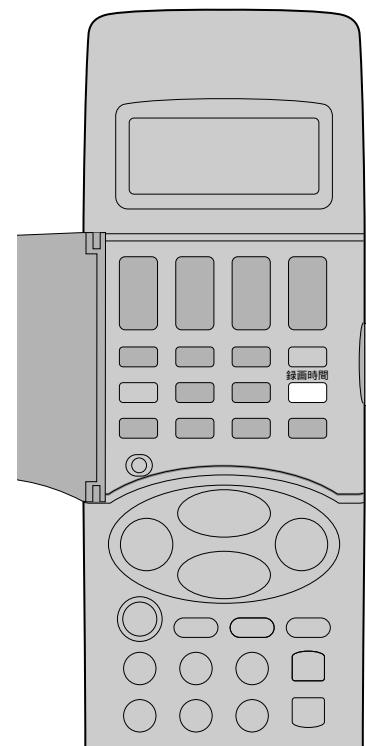
アナログ録画する

地上波放送をアナログ録画するとき

アナログ

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。
●録画可能なカセットを入れる。（P36）

1 **ビデオチャンネル ∧ ∨ で録画したいチャンネルを選ぶ**
● 1 〜 12 でもチャンネルを選べます。

2 **録画時間 でテープ速度を選ぶ**
●「標準」、「3倍」から選んでください。

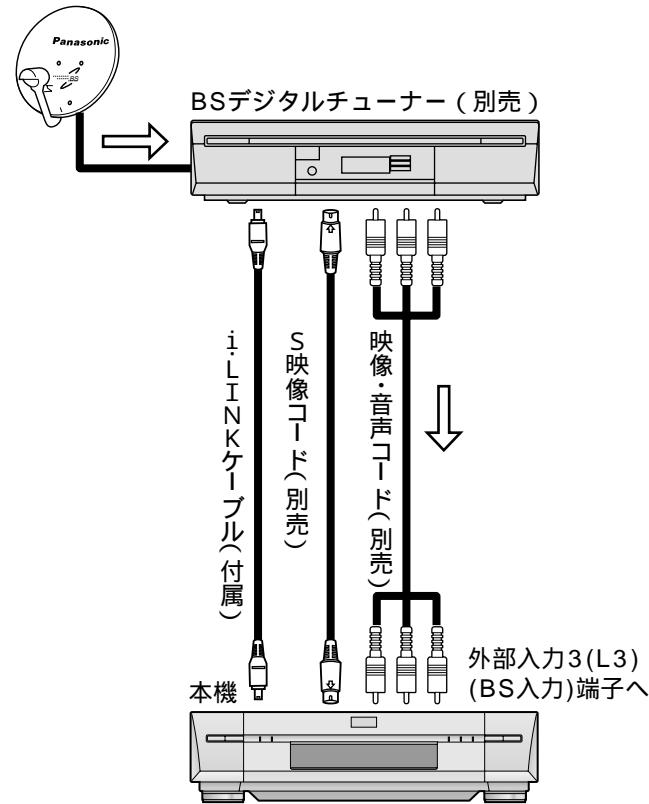
3 **録画● を押す**
●録画が始まります。

録画をやめる

停止■ を押す

不要な場面をとばす

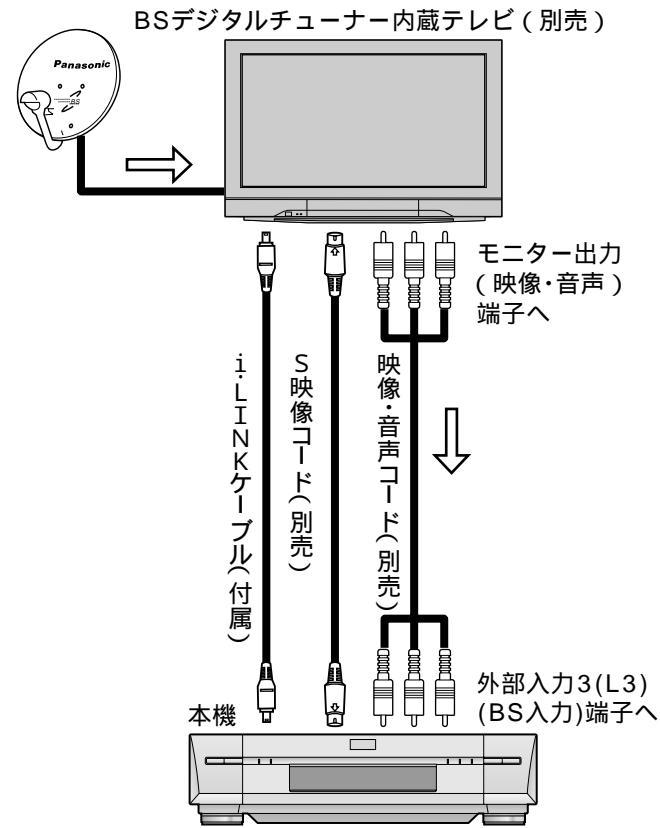
不要な画面が来たら、 一時停止/スロー❚❚/❚▶ を押す
●録画の一時停止になります。
●もう一度 一時停止/スロー❚❚/❚▶ を押す、
または 録画● を押すと、録画が再開されます。

BSデジタル放送をアナログ録画するとき

アナログ

BSデジタル放送をアナログ録画する前の準備

本機はBSデジタルチューナーを搭載していませんので、BSデジタル放送を録画するにはチューナー（内蔵テレビ）と接続する必要があります。

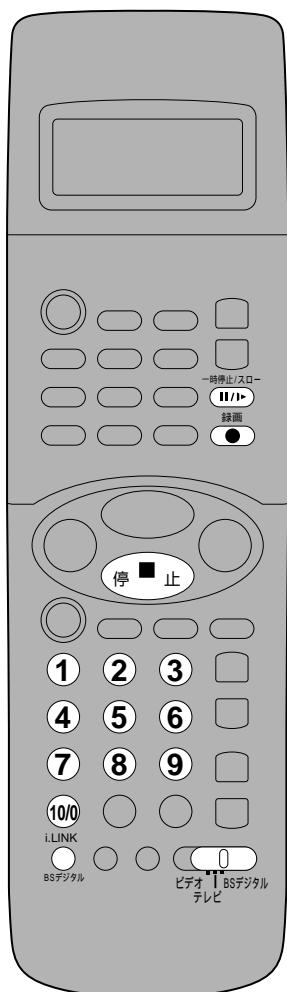
また、BSデジタル放送をアナログ録画するためには、BS再入力（P23）を設定しておく必要があります。詳しい接続はP20、21をご覧ください。（下図の ⟹ は、映像・音声の流れを表しています）

■BSデジタルチューナーと接続したとき

- 映像・音声はチューナーでデジタルからアナログに変換された後、本機に送られます。
- i.LINKケーブルは次ページの手順１でチューナーを選ぶために必要です。

BSデジタルチューナー（別売）
i.LINKケーブル（付属）
S映像コード（別売）
映像・音声コード（別売）
本機
外部入力3(L3)(BS入力)端子へ

❈準備 ●BS再入力を設定する。（P23）

■BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続したとき

- 映像・音声は内蔵テレビでデジタルからアナログに変換された後、本機に送られます。
- i.LINKケーブルは次ページの手順１で内蔵テレビを選ぶために必要です。

❈準備 ●BS再入力を設定する。（P23）

再生・録画

アナログ録画する（つづき）

BSデジタル放送をアナログ録画するとき（つづき）

BSデジタル放送をBS再入力（P23）の設定をしてアナログで録画すると、HD放送なども長時間録画することができます。ただし、画質は標準のNTSC信号レベルで録画され、データ放送やマルチビュー放送（P108）を楽しむことはできません。

❇準備 ●ビデオ/テレビ/BSデジタルを「ビデオ」にする。
●録画可能なカセットを入れる。（P36）
●BS再入力を設定する。（P23）

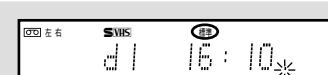
1 **i.LINKで使用するチューナー（内蔵テレビ）を選ぶ**

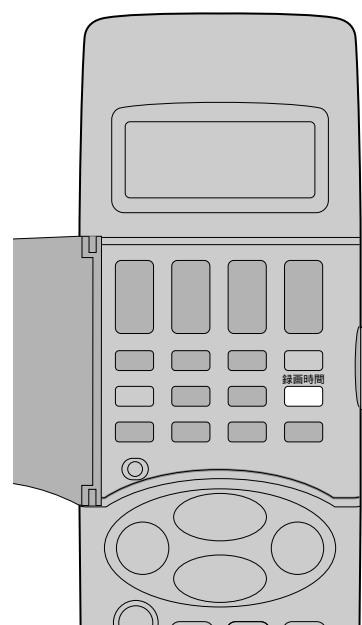
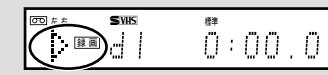
●チューナー（内蔵テレビ）との接続のしかたはP20、21をご覧ください。
●「d1」は現在選ばれているi.LINK機器No.を表しています。（P23）
●i.LINK機器No.を選ぶと、機器名と機種名が順番に表示されますので、ご使用になる機種が選ばれているかご確認ください。（P23）

2 **ビデオ/テレビ/BSデジタルを「BSデジタル」にする**

●チューナー内蔵テレビを使って録画する場合は、「テレビ」にしてください。（P16）

3 **BSデジタルに続いて、1～10/0を押して録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ**

（プリセットされているチャンネルを選ぶ場合）
例：プリセットチャンネル１を選ぶとき
BSデジタル→1
直接チャンネル番号を入力して、チャンネルを選ぶこともできます。詳しくはお使いのチューナー（内蔵テレビ）の説明書をお読みください。

4 **ビデオ/テレビ/BSデジタルを「ビデオ」にする**

5 **録画時間でテープ速度を選ぶ**

●「標準」か「3倍」を選んでください。
●i.LINKランプが消灯し、BS再入力（P23）を使っての録画が可能になります。
●選択可能なテープ速度は、接続、録画チャンネル、録画方式などによって異なります。詳しくはP37をお読みください。

6 **録画●を押す**

●録画が始まります。

アナログ

録画をやめる

停止■を押す

不要な場面をとばす

不要な画面が来たら、一時停止/スローII/I▸を押す

- 録画の一時停止になります。
- もう一度一時停止/スローII/I▸を押す、
  または録画●を押すと、録画が再開されます。

ヒント

- 外部BSチューナー設定（P88）で、ご使用になるチューナー（内蔵テレビ）がBS登録機器として登録されていないときは、BSデジタル放送をアナログ録画できません。
- モード設定（P84）の「L3設定」を「ライン」にしているときは、BSデジタル放送をアナログ録画できません。
- 録画中は、ビデオのチャンネルの変更はできません。（録画の一時停止中は変更できます）
- 長期保存されるときは、「標準」で録画されることをおすすめします。
- 当社製以外のチューナー（内蔵テレビ）をご使用の場合は、操作が異なる場合があります。ご使用のチューナー（内蔵テレビ）の説明書もお読みください。
- ビデオ表示部に表示される「d1」などは、チューナーとしてご使用になるi.LINK機器No.を表しています。BSデジタル放送をアナログ録画する場合は、BS再入力（P23）を使って録画しますので、録画される映像・音声は、外部入力3(L3)(BS入力)端子から入力されます。
- BSデジタル放送をアナログ録画すると、HD放送なども長時間録画できます。ただし、画質は標準のNTSC信号レベルで録画され、マルチビュー放送やデータ放送（P108）を楽しむことはできません。
- BSデジタル放送などで、録画が禁止されている番組があります。このような番組は、録画●を押しても正しく録画できません。

お願い

- 録画を正しく行うために、ＢＳデジタル放送の録画中はチューナー（内蔵テレビ）を操作しないようにしてください。録画中は、ＢＳデジタルチューナー（内蔵テレビ）のチャンネルをかえたり、メニューや番組表を出すと、そのまま録画されてしまいます。

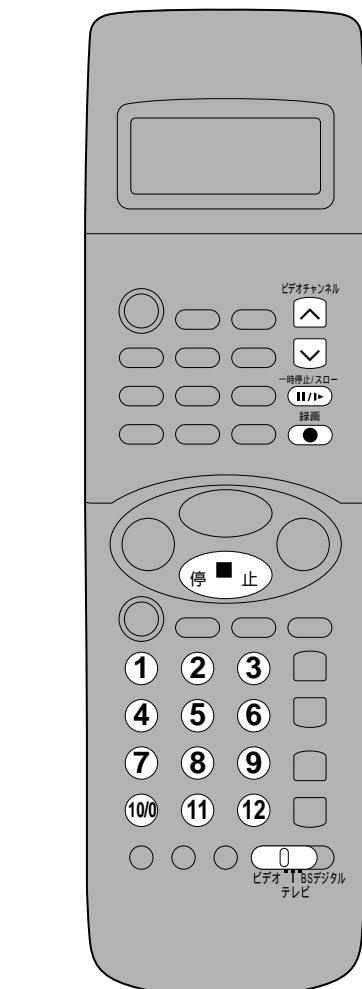
S-VHS録画をするとき

S-VHSカセットを入れ、「モード設定」（P84）の「S-VHS録画」を「入」にする

S-VHS ET録画をするとき

VHSカセットを入れ、「モード設定」（P84）の「S-VHS ET録画」を「入」にする

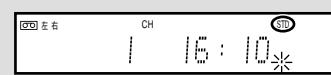
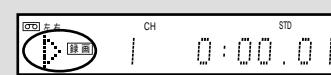
- カセットの種類によっては、十分な画質が得られない場合があります。あらかじめ試し録画をして、画質を確認されることをおすすめします。
- 高画質で録画できるカセットの目安として、当社製のHG（ハイグレード）VHSカセットをおすすめします。
- より高画質で録画、再生、長期保存をするときは、S-VHSカセットを使って、S-VHS方式で録画してください。

録画禁止の番組について

- 録画禁止の番組をVHS録画するとコピーガードがかかった状態で録画されます。

D-VHS（デジタル）録画する

地上波放送をD-VHS(デジタル)録画するとき

デジタル

アナログで送られてくる地上波放送も、本機でMPEG2にエンコード（P108）してD-VHS（デジタル）録画することができます。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。
●録画可能なD-VHSカセットを入れる。（P36）

1 **ビデオチャンネル ∧ ∨ で録画したいチャンネルを選ぶ**
● 1 ～ 12 でもチャンネルを選べます。

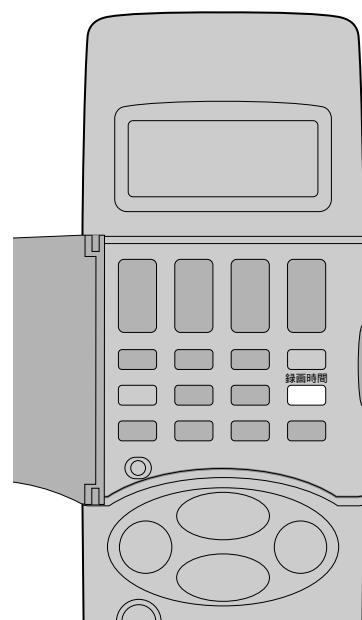
2 **録画時間 でテープ速度を選ぶ**
●「STD」、「LS3」から選んでください。
●選択可能なテープ速度は、接続、録画チャンネル、録画方式などによって異なります。詳しくはP37をお読みください。

3 **録画● を押す**
●録画が始まります。

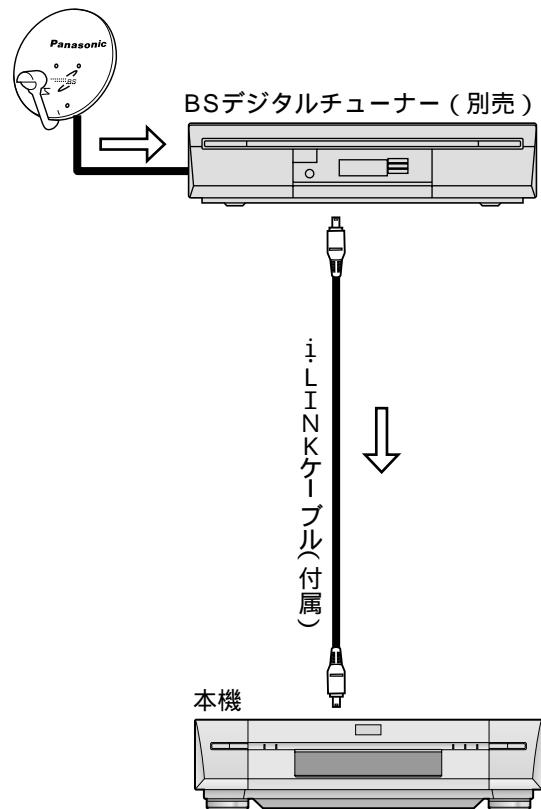
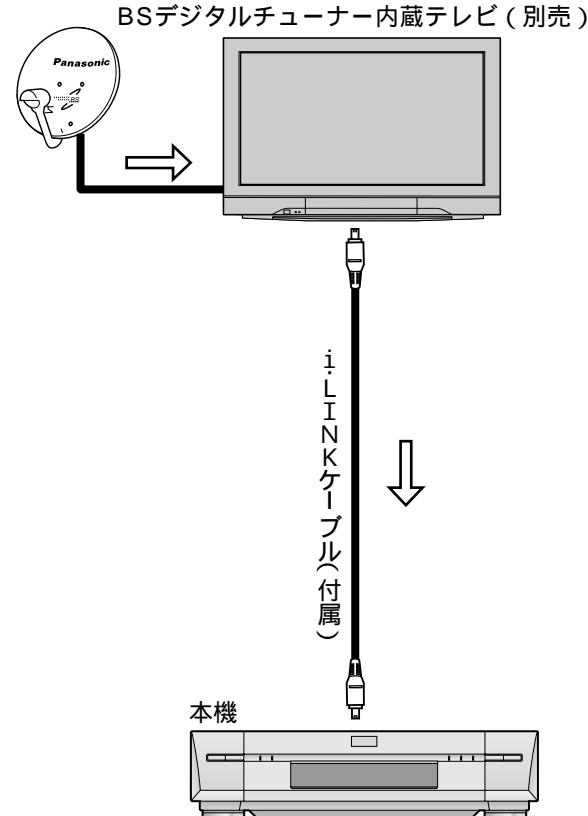
録画をやめる

停止■ を押す

不要な場面をとばす

不要な画面が来たら、 一時停止/スロー❚❚/❚▶ を押す

●録画の一時停止になります。
●もう一度 一時停止/スロー❚❚/❚▶ を押す、
または 録画● を押すと録画が再開されます。
●録画中にテープ速度が「STD」や［LS3」になった状態で一時停止したときだけ、信号の状態によっては「HS」と表示されることがあります。
●録画のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまで静止画やモザイク状のノイズが出たり黒い画面になります。

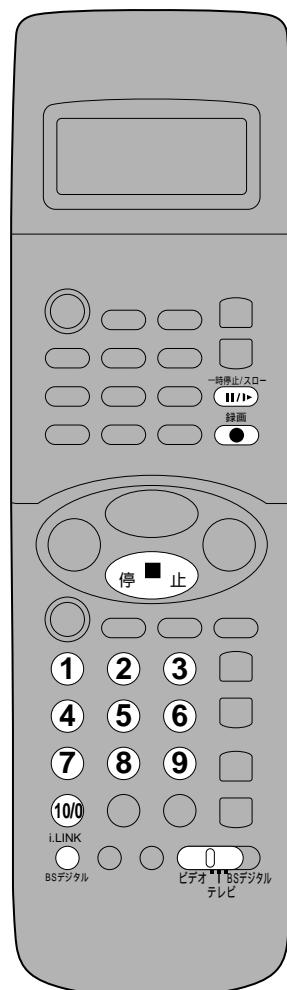
ヒント

●地上波チャンネル受信時で、テープ速度「STD」または「LS3」を選ぶと、二重音声は「主+副」になります。このときはテレビ側で受信チャンネルを選び、聞きたい音声を選んでください。

BSデジタル放送をD-VHS（デジタル）録画するとき

デジタル

BSデジタル放送をD-VHS（デジタル）録画する前の準備

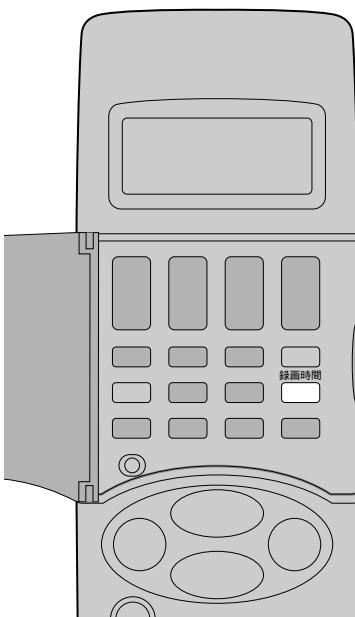
本機はBSデジタルチューナーを搭載していませんので、BSデジタル放送を録画するにはチューナー（内蔵テレビ）と接続する必要があります。詳しい接続はP20、21をご覧ください。
（下図の ⟹ は、映像・音声の流れを表しています）

■BSデジタルチューナーと接続したとき

- 映像・音声データはi.LINKケーブルを通してデジタルのまま本機に送られます。

準備 ●チューナーと正しくi.LINK接続する。（P20）

■BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続したとき

- 映像・音声データはi.LINKケーブルを通してデジタルのまま本機に送られます。

準備 ●内蔵テレビと正しくi.LINK接続する。（P21）

再生・録画

D-VHS（デジタル）録画する（つづき）

BSデジタル放送をD-VHS（デジタル）録画するとき（つづき）

準備
- ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。
- 録画可能なD-VHSカセットを入れる。（P36）
- 外部BSチューナー設定で使用するチューナー（内蔵テレビ）を登録する。（P88）

1 **i.LINK で使用するi.LINK機器を選ぶ**

- チューナー（内蔵テレビ）との接続のしかたはP20、21をご覧ください。
- 「d1」は現在選ばれているi.LINK機器No.を表しています。（P23）
- i.LINK機器No.を選ぶと、機器名と機種名が順番に表示されますので、ご使用になる機種が選ばれているかご確認ください。（P23）

2 **ビデオ/テレビ/BSデジタル を「BSデジタル」にする**
- 内蔵テレビを使って録画する場合は、「テレビ」にしてください。（P16）

3 **BSデジタル に続いて、1 〜 10/0 を押し、録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ**

（プリセットされているチャンネルを選ぶ場合）

例：プリセットチャンネル１を選ぶとき

BSデジタル → 1

直接チャンネル番号を入力して、チャンネルを選ぶこともできます。詳しくはお使いのチューナー（内蔵テレビ）の説明書をお読みください。

4 **ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする**

5 **録画時間 でテープ速度を選ぶ**

- 「HS STD」（D-VHS自動）が選ばれますので、そのままにしておいてください。HD放送を高画質で録画したり、データ放送、マルチビュー放送（P108）を同時に録画することができます。**本体のi.LINKランプが点灯していることをご確認ください。**
- BSデジタル放送では、高画質なHD放送やSD放送など、番組によって放送信号が異なります。本機では、番組の放送信号に合ったテープ速度を自動的に選んで録画します。
- BS再入力（P23）を設定して「STD」、「LS3」を選んだ場合は、外部入力3(L3)(BS入力)端子から入力されているアナログ信号を内蔵MPEG2エンコーダーでデジタル信号に変換してから録画します。
- 選択可能なテープ速度は、接続、録画チャンネル、録画方式などによって異なります。詳しくはP37をお読みください。

6 **録画● を押す**
- 録画が始まります。

デジタル

録画をやめる

停止■を押す

不要な場面をとばす

不要な画面が来たら、一時停止/スロー❚❚/▶を押す

- 録画の一時停止になります。
- もう一度一時停止/スロー❚❚/▶を押す、
  または録画●を押すと、録画が再開されます。
- 録画中にテープ速度が「STD」や［LS3」になった状態で一時停止したときだけ、信号の状態によっては、「HS」と表示されることがあります。
- 録画のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまで静止画やモザイク状のノイズが出たり黒い画面になります。

ヒント

- BSデジタル放送などでは、録画が禁止されている番組があります。このような番組は、録画●を押しても正しく録画できません。
- 当社製以外のチューナー（内蔵テレビ）をご使用の場合は、操作が異なる場合があります。ご使用のチューナー（内蔵テレビ）の説明書もお読みください。
- ビデオ表示部に表示される「d1」などは、チューナーとしてご使用になるi.LINK機器No.を表しています。エンコード録画する場合は、BS再入力（P23）を使用して録画しますので、録画される映像・音声は、外部入力3(L3)(BS入力)端子から入力されます。
- 録画中は、ビデオのチャンネルの変更はできません。（録画の一時停止中は変更できます）
- 録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため、停止します。

お願い

- 録画を正しく行うために、BSデジタル放送の録画中はチューナー（内蔵テレビ）を操作しないようにしてください。録画中は、BSデジタルチューナー（内蔵テレビ）のチャンネルをかえたり、メニューや番組表を出すと、そのまま録画されてしまいます。

D-VHS自動について

- BSデジタル放送では、HD放送やSD放送など、番組によって放送信号が異なります。D-VHS自動は、番組の放送信号に合ったテープ速度を自動的に選んで録画するテープ速度です。
- D-VHSカセットを入れ、i.LINKでチューナー（内蔵テレビ）を選ぶと、テープ速度がD-VHS自動（「HS」、「STD」が同時に点灯）になります。HD放送を高画質で録画したり、データ放送、マルチビュー放送（P108）を同時に録画することができますので、通常はこのままで録画してください。

テープ速度をD-VHS自動で録画すると

HD放送を高画質で録画したり、データ放送、マルチビュー放送（P108）を同時に録画することができます。（この場合は「HS」モードで録画されます）

HD放送	ハイビジョンクラスの高画質で番組が楽しめます。1125i/750p
SD放送	高画質で番組が楽しめます。525i/525p
マルチビュー放送	いろいろな映像に切り換えて番組を楽しめます。
データ放送	字幕などのデータ情報も楽しめます。
マルチ音声放送	いろいろな音声に切り換えて番組を楽しめます。
字幕放送	いろいろな字幕を切り換えて番組を楽しめます。

BS再入力（P23）を使って録画すると

HD放送なども長時間録画することができます。ただし、画質は標準のNTSC信号レベルで録画され、データ放送やマルチビュー放送を楽しむことはできません。

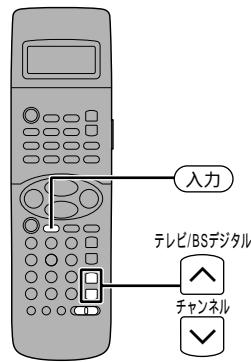
録画禁止の番組について

番組によっては、録画できないようにコピーガードがかかっている場合があります。コピーガードがかかっている番組はD-VHS（デジタル）録画することはできません。

コピー情報	**フリー録画**	D-VHS(デジタル)録画できます。
	コピー1回のみ録画可	録画1回のみ可能、ダビングして同一テープを複製することはできません。
	録画禁止	D-VHS(デジタル)録画禁止。

デジタル

- 録画禁止の番組は、録画●を押しても録画できません。ビデオ表示部に「コピーガード」表示が出ます。
- 録画中/予約録画実行中に録画禁止を検知した場合、数十秒間録画し、録画を停止します。

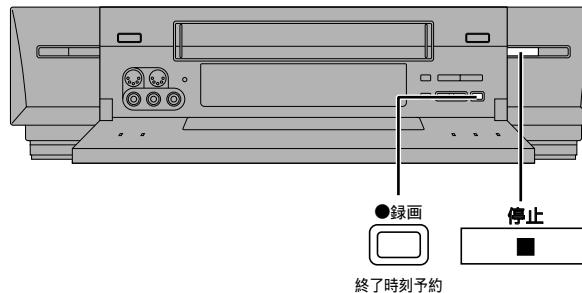
アナログ

- 録画禁止の番組をVHS録画するとコピーガードがかかった状態で録画されます。

録画中に裏番組を見る（裏番組録画）

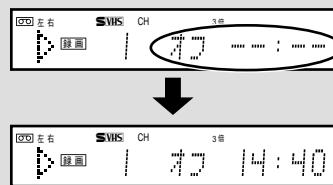
下記の方法でテレビ画面を出してください。録画には影響はありません。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「テレビ」にする。

1 **入力 を押し、テレビの入力を「テレビ」に切り換える**

2 **テレビチャンネル ∧ ∨ などで見たいチャンネルを選ぶ**

ヒント
- 予約録画中も上記の手順でテレビ番組を見ることができます。
- BSデジタル放送などをテレビのチューナーを使って録画している場合は、裏番組を見ることはできません。

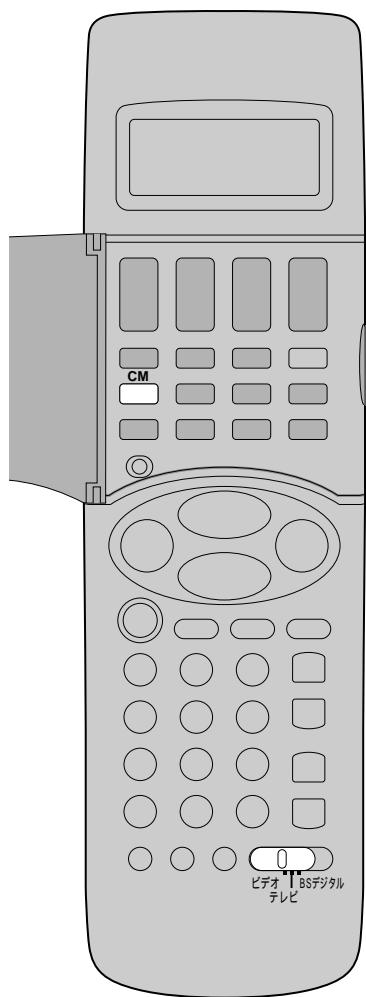
録画の終了時刻を予約する（終了時刻予約録画）

デジタル アナログ

予約した終了時刻になると、ビデオが自動的に録画をやめ、電源を切ります。
- 急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画としてお使いください。

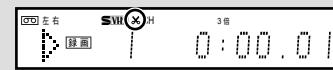
録画中に、 ●録画/終了時刻予約 を押す
- ビデオ表示部に「オフ ーー：ーー」が表示されます。
- 続けて押すごとに、30分単位で録画終了時刻が変更されます。
- 最大2時間先まで予約できます。

予約を解除する

■**録画中に、ビデオ本体の ●録画/終了時刻予約 を数回押し、ビデオ表示部に「オフーー：ーー」を表示させる**
- 「終了時刻予約録画」は解除されますが、録画は続けられます。

■ **停止■ を押す**
- 「終了時刻予約録画」も録画も解除されます。

ヒント
- リモコンの 録画● では、「終了時刻予約録画」はできません。
- 予約録画中は働きません。

CMをとばして録画する（CMカット録画）

CMを自動的にとばして録画することができます。 アナログ

● D-VHS（デジタル）録画する番組には働きません。また、アナログ録画の場合でもBSデジタル放送を録画する場合や、録画する番組によっては、正しく働かない場合があります。（下記ヒントご参照）

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

録画中に CM を押し、「✂」マークを出す

● ビデオ表示部に「✂」マークが出ます。
● CM中に CM を押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

解除する

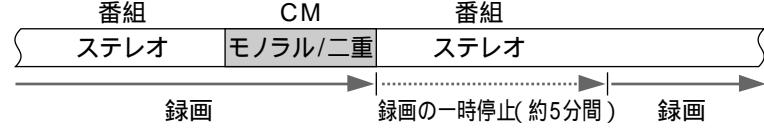
CM を押す

● ビデオ表示部の「✂」マークが消えます。
● ビデオの電源を切ったときや、録画の一時停止にしたときも、自動的に解除されます。

こんなとき

● 予約録画時に働かせたいとき
「CMカット予約」（P66）

ヒント

■番組が「モノラル放送」または「二重放送（2カ国語放送など）」で、CMが「ステレオ放送」のときに、正しく働きます。

（CMの前後が、少し切れた状態で録画されます）

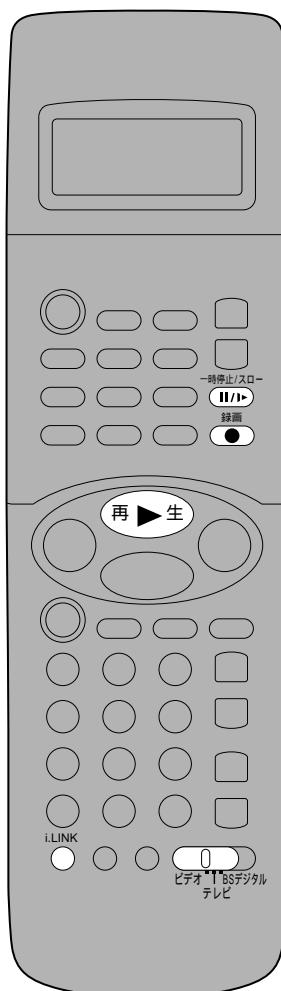
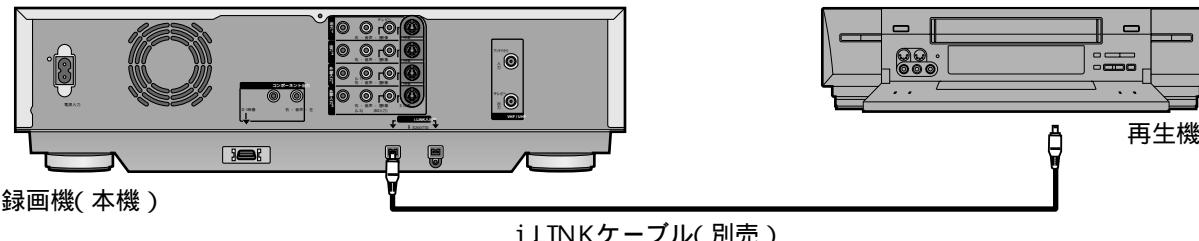
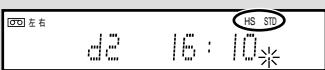
■次のようなときは、正しく働きません。

● 番組が「ステレオ放送」のとき

番組	CM	番組
ステレオ	ステレオ	ステレオ

録画

● CMが「モノラル放送」または「二重放送」のとき

● CM以外でも、音声が「モノラル放送」や「二重放送」から「ステレオ放送」に切り換わったとき
● 外部入力チャンネル（CS、BSデジタル、従来のBSを含む）を録画するとき
● BSデジタル放送など、i.LINK機器から録画するとき
● D-VHS（デジタル）録画をするとき

ダビングする

D-VHS（デジタル）でダビングする

外部に接続したビデオからの映像・音声をD-VHS（デジタル）でダビングすることができます。

D-VHS（デジタル）からD-VHS（デジタル）へ

i.LINKケーブルを使ってダビングすることで、再生機側のテープ速度を気にせずにダビングできます。

準備
- ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。
- 録画可能なD-VHSカセットを録画機（本機）に入れる。（P36）

1 **i.LINK でi.LINK機器を選ぶ**
- 「d2」は現在選ばれている機器No.を表しています。（P23）
- 機器No.を選ぶと、機器名と機種名が順番に表示されますので、ご使用になる機種が選ばれているかご確認ください。（P23）

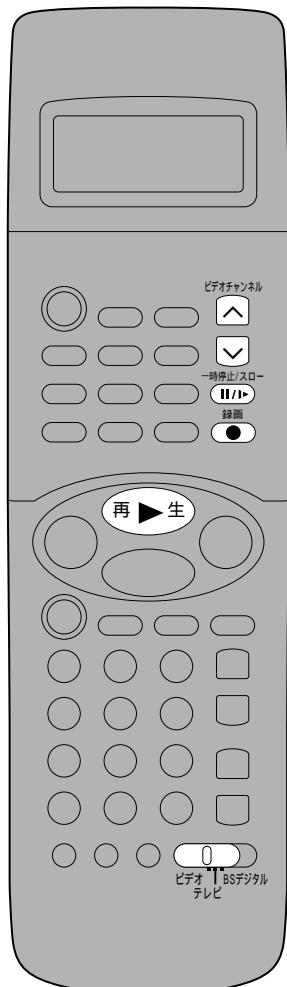
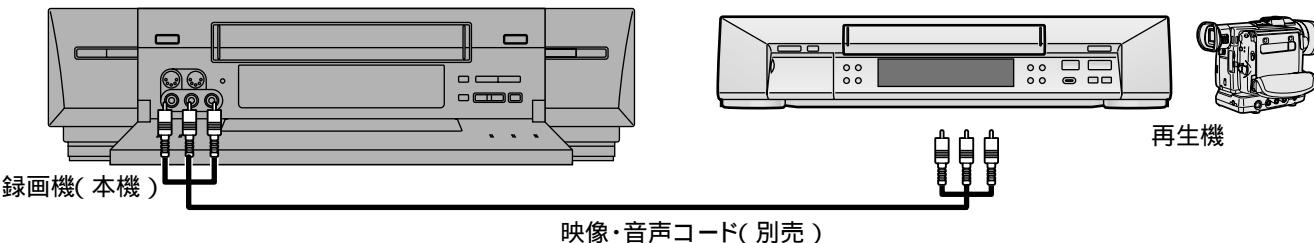
2 **テープ速度が「HS STD」（D-VHS自動）になっていることを確認する**

3 **再生▶ を押し、再生しながら録画の開始点をさがす**

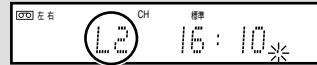
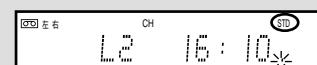
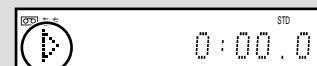
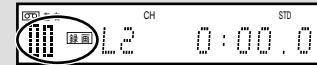
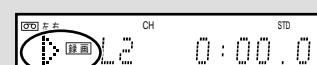
4 **録画の開始点で、一時停止/スローII/I▶ に続いて 録画● をポンと軽く押し、録画の一時停止にする**

5 **［再生機］再生を始める**
- 録画機（本機）が、再生機側のテープ速度を判別して、自動的に録画機（本機）のテープ速度を選ぶために数秒間必要です。録画を開始したい場面の少し前から再生を開始してください。

6 **録画を始めたい場面で、一時停止/スローII/I▶ を押し、録画を始める**

ヒント
- 録画のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまで静止画やモザイク状のノイズが出たり黒い画面になります。
- DV機器とi.LINK接続しても、フォーマットが異なるためD-VHS（デジタル）でダビングはできません。アナログでダビングしてください。
- 録画禁止の番組やコピー制限がかかっているテープをD-VHS（デジタル）録画することはできません。ビデオ表示部に「コピーガード」表示が出ます。録画中に録画禁止を検知した場合、数十秒間録画し、録画を停止します。

■別売品について
i.LINKケーブル：RP-CDE4G15（1.5m）
i.LINKケーブル：RP-CDE4G30（3m）

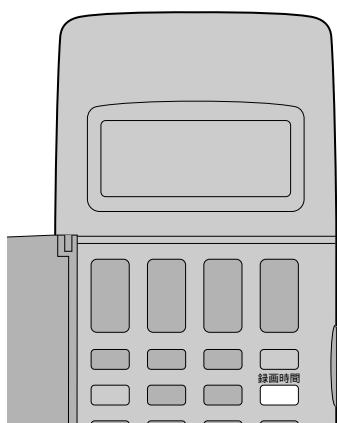
デジタル

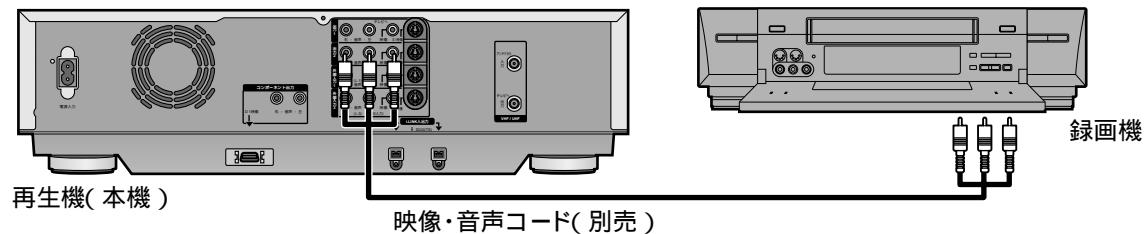
アナログからD-VHS（デジタル）へ

アナログで送られてくる映像・音声も本機でMPEG2にエンコード（P108）してD-VHS（デジタル）録画することができます。

準備 ●ビデオ/テレビ/BSデジタルを「ビデオ」にする。
●録画可能なD-VHSカセットを録画機（本機）に入れる。（P36）

1 **ビデオチャンネル∧∨で、外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ**

2 **録画時間でテープ速度を「STD」か「LS3」にする**
●選択可能なテープ速度は、接続、録画チャンネル、録画方式などによって異なります。詳しくはP37をお読みください。

3 **再生▶を押し、再生しながら録画の開始点をさがす**

4 **録画の開始点で、一時停止/スローII/I▶に続いて録画●をポンと軽く押し、録画の一時停止にする**

5 **［再生機］再生を始める**

6 **録画を始めたい場面で一時停止/スローII/I▶を押して録画を始める**

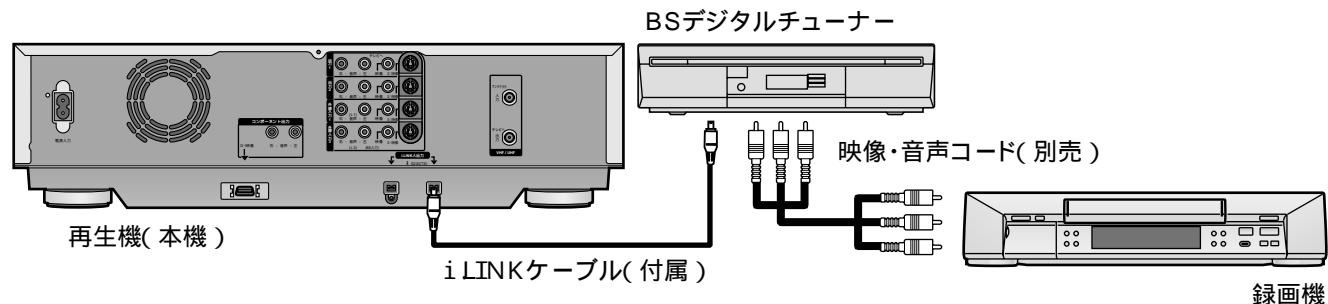
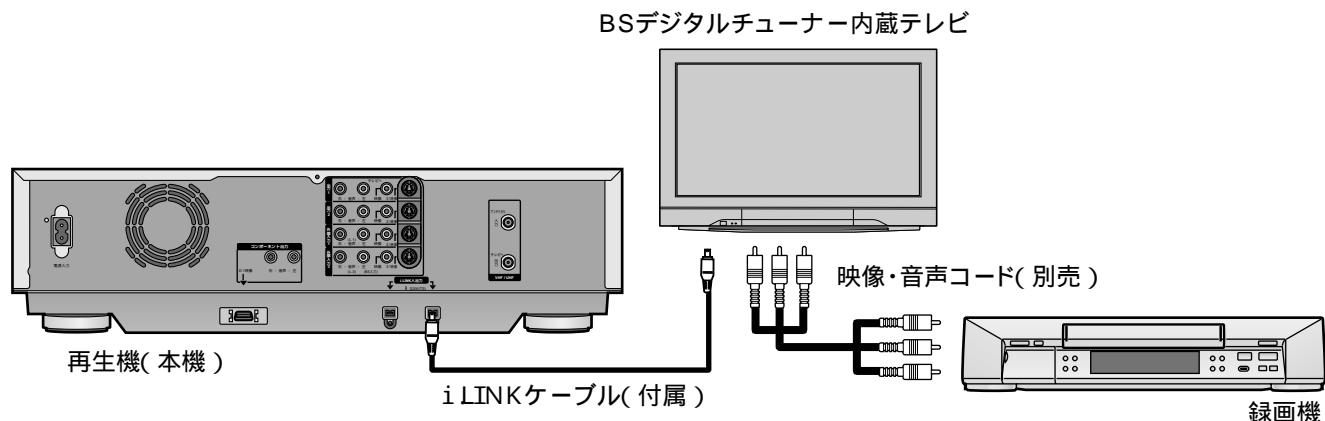
ヒント

●録画のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまで静止画やモザイク状のノイズが出たり黒い画面になります。
●録画禁止の番組やコピー制限がかかっているテープをD-VHS（デジタル）録画することはできません。ビデオ表示部に「コピーガード」表示が出ます。録画中に録画禁止を検知した場合、数十秒間録画し、録画を停止します。
●再生機側にS映像端子があるときは、S映像コードをお使いください。より鮮明な映像を入力することができます。

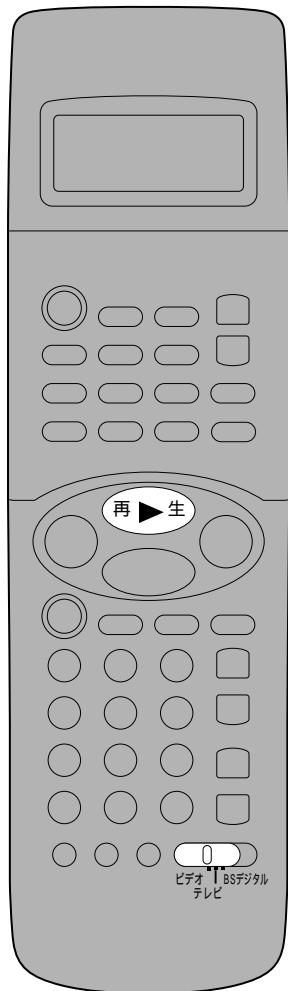
■別売品について
映像・音声コード：RP-CVP3G20（2m）
S映像コード：RP-CVSOG20（2m）

ダビング

ダビングする（つづき）

アナログでダビングする

D-VHS（デジタル）からアナログへ

D-VHS（デジタル）録画した番組も本機でアナログ信号に変換して出力することで、アナログでダビングできます。
ただし、D-VHS自動で録画したBSデジタル放送をダビングする場合は、チューナー（内蔵テレビ）を経由して、ダビングしてください。（下記ご参照）

■D-VHS（デジタル）録画したBSデジタル放送番組をアナログでダビングするとき

本機を再生機にし、D-VHS（デジタル）録画したBSデジタル放送をアナログでダビングする場合は、下図のように接続してください。映像・音声信号はチューナー（内蔵テレビ）でデジタルからアナログに変換した後、録画機へ送られます。

準備 ●当社製以外のチューナー（内蔵テレビ）をお使いの場合は、チューナー（内蔵テレビ）で本機をリンク（P108）する。

■BSデジタルチューナーと接続する場合

■BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する場合

デジタル

❈**準備** ●ビデオ/テレビ/BSデジタルを「ビデオ」にする。
●録画可能なカセットを録画機に入れる。(P36)

1 **[録画機] 外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ**

2 **[録画機] テープ速度を選ぶ**

3 **[録画機] 再生しながら録画の開始点をさがす**

4 **[録画機] 録画の開始点で録画の一時停止にする**

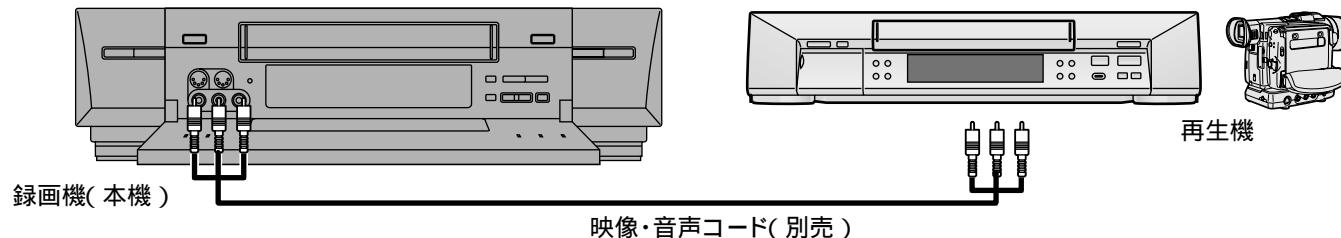
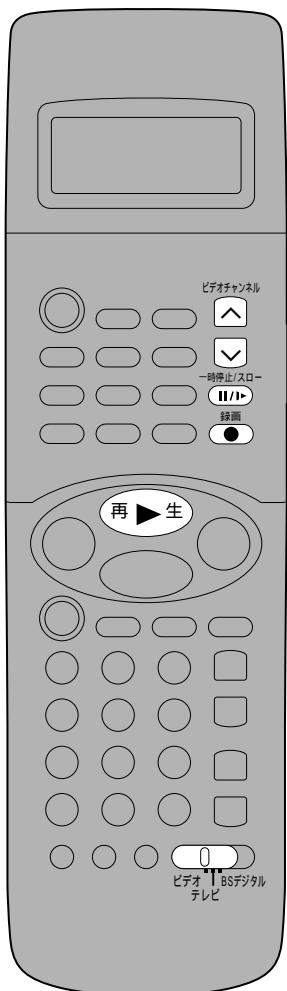
5 **再生▶を押し、再生を始める**

6 **[録画機] 録画を始めたい場面で録画を始める**

ヒント

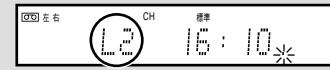
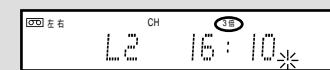
- 録画機側の操作は、録画機の説明書をお読みください。
- 録画機側にS映像端子があるときは、S映像コードをお使いください。より鮮明な映像を入力することができます。
- マルチビュー放送の場合は、チューナー(内蔵テレビ)側で選んでいた映像のみダビングされます。

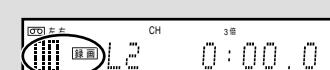
■別売品について

映像・音声コード:RP-CVP3G20(2m)
S映像コード:RP-CVSOG20(2m)

ダビング

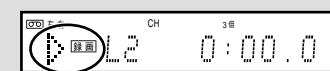
ダビングする（つづき）

アナログでダビングする（つづき）

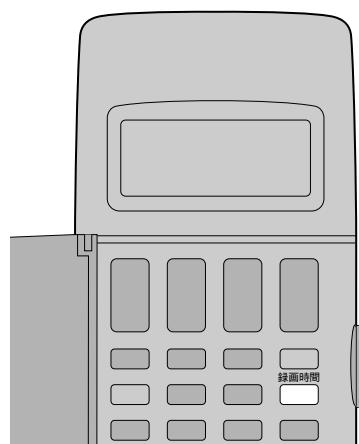
アナログからアナログへ

アナログ

❇準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。
●録画可能なカセットを録画機（本機）に入れる。（P36）

1 ビデオチャンネル ∧ ∨ で、外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

2 録画時間 でテープ速度を「標準」か「3倍」にする

●選択可能なテープ速度は、接続、録画チャンネル、録画方式などによって異なります。詳しくはP37をお読みください。

3 再生▶ を押し、再生しながら録画の開始点をさがす

4 録画の開始点で、一時停止/スロー❚❚/❚▶ に続いて 録画● をポンと軽く押し、録画の一時停止にする

5 ［再生機］再生を始める

6 録画を始めたい場面で、一時停止/スロー❚❚/❚▶ を押し、録画を始める

ヒント

●再生機側にS映像端子があるときは、S映像コードをお使いください。より鮮明な映像を入力することができます。

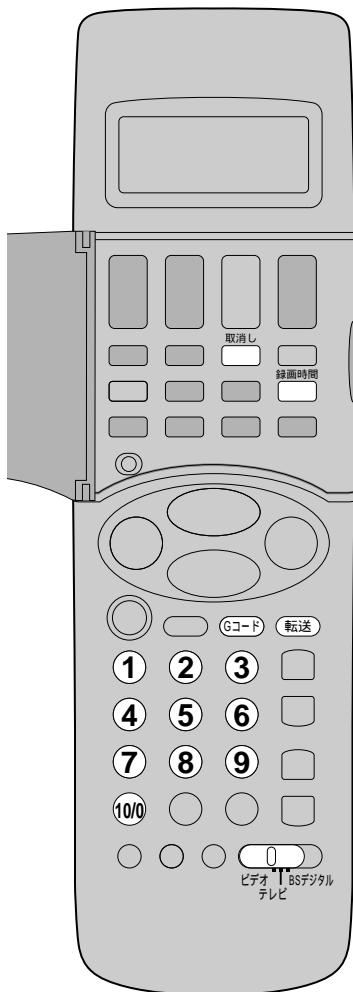
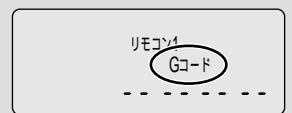
■**別売品について**

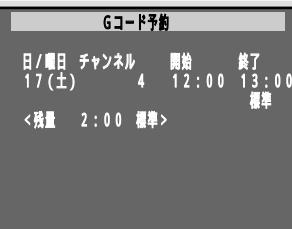
映像・音声コード：RP-CVP3G20（2m）
S映像コード：RP-CVSOG20（2m）

Gコードを使って予約する（Gコード予約）

デジタル アナログ

予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、ビデオに転送するだけで簡単に予約できます。Gコード予約、フリーセット予約（P64）、BSデジタルフリーセット予約（P68）とi.LINK予約（P70）をあわせて最大24番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は1番組として数えます）

■Gコードとは
新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。（最大8ケタ）

■Gコード予約を正しく行うには
ガイドチャンネルを正しく設定しておいてください。（P31）
Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

準備 ●ビデオ/テレビ/BSデジタルを「ビデオ」にする。
●ビデオの時刻が正しいことを確認する。（P24）
●録画可能なカセットを入れる。（P36）

1 Gコードを押し、「Gコード」表示を出す

2 1～10/0でGコードを入力する

●「転送△」表示が点滅します。
●間違えたときは、Gコードを2回押し、正しいGコードを入力し直してください。

3 録画時間で録画時間を選ぶ

●D-VHS（デジタル）録画するときは、D-VHSカセットを入れ、「STD」、「LS3」を選んでください。
●選択可能なテープ速度は、接続、録画チャンネル、録画方式などによって異なります。詳しくは、P37をお読みください。

4 転送を押す

●ビデオ表示部に録画開始時刻、続けて終了時刻が表示されます。
●テレビの電源が入っているときは、テレビ画面にGコードが表示され、約5秒後に予約内容が表示されます。さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。
●右記の画面が出ている間に取消しを押すと、予約を取り消すことができます。

ダビング
予約録画

Gコードを使って予約する（Gコード予約）（つづき）

ヒント

- Gコード予約した番組は、実際の放送よりも多少長めに録画される場合があります。
- 時刻は24時間表示です。

■転送後は、テープ残量も画面に表示されます

- 転送時のビデオ本体のテープ速度で計算されます。
- カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。

こんなとき

■放送開始が遅れたり番組が延長されたとき

Gコード予約では、放送開始・終了の予定時刻に合わせて予約しますので、このようなときは、その番組の最初から最後までを録画することはできません。

■複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されているとき

正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。（P33）

■転送後、テレビ画面に「予約内容に間違いがあります　Gコードを確認してください」と表示されたとき

もう一度最初から予約し直してください。

■「ぴったり録画」をしたいとき（アナログ録画時のみ）（P67）

■予約が実行されたか確認したいとき（P71）

■予約時にテープ速度を指定しなかったとき（P71）

■予約内容を確認したいとき（P72）

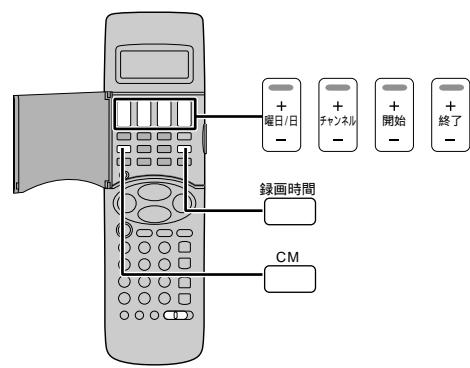
■予約内容を取り消したいとき（P72）

■転送後、ビデオ表示部に「FULL」と表示されたとき

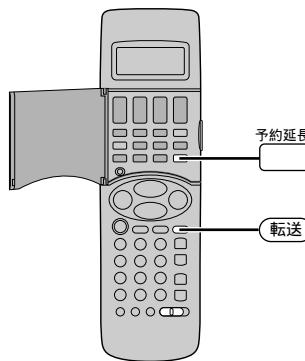
すでに24番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。（P72）

■2つ以上の予約をするとき

手順1〜4をくり返してください。（予約録画の待機状態でも予約できます）

お願い

- 予約待機中は、i.LINK機器から本機の電源を入れるなどの操作をしないようにしてください。
- 手順3で「STD」、「LS3」を選んでも、予約実行時にVHSカセットが入っているとD-VHS（デジタル）予約録画できません。BS再入力（P23）を設定している場合は、予約実行時の本体のアナログテープ速度で予約実行し、BS再入力を設定していない場合は録画できません。D-VHS（デジタル）予約する場合は、予約実行時に必ずD-VHSカセットを入れておいてください。
- 予約開始時刻や終了時刻が重複しないように予約してください。重複した場合は、正しく予約実行できない場合があります。（P71）

予約内容を変更したいとき

テレビ画面に予約内容が表示されている間であれば、予約内容を変更できます。

テレビ画面に予約内容が出ている間に、下記のボタンで予約内容を変更する

+曜日/日− ：予約日時を変更したいとき
+チャンネル− ：予約チャンネルを変更したいとき
+開始− ：開始時刻を変更したいとき
+終了− ：終了時刻を変更したいとき
CM ：CMカット予約をしたいとき
（アナログ予約録画時のみ、P66）
録画時間 ：テープ速度を変更したいとき

- 修正の操作をした約14秒後に、予約録画の待機状態になります。

予約チャンネルが選ばれないとき

転送後の画面で、「チャンネル」の項目が「Gーー」となっているときは、そのチャンネルのガイドチャンネルが正しく設定されていません。

Gコード予約
日/曜日 チャンネル 開始 終了
17日 G−− 12:00 13:00
標準
<残量 2:00 標準>
チャンネル+/−で予約チャンネルを設定して、実行[決定]を押してください

- このときは、下記の操作で予約完了してください。予約を完了すると、そのチャンネルのガイドチャンネルも自動的に設定されます。

1 **+チャンネル−で、予約チャンネルを合わせる**

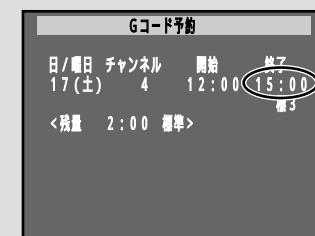
2 **決定/実行を押す**

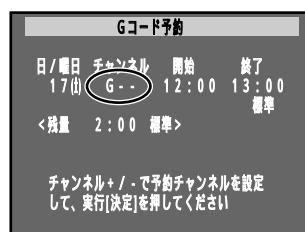
- 予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。

終了時刻を延長したいとき

予約する番組の終了時刻を最大2時間まで延長できます。
Gコード予約をする際、転送を押す前に操作してください。

1 **予約延長を押す**

- リモコン表示部に15分延長される表示が出ます。
- 続けて押すごとに、下記のように延長される時間が変わります。

延長される時間の変わりかた
15分 → 30分 → 45分 → 60分
↑ 延長しない ← 120分 ← 90分 ←

2 **転送を押す**

- テレビ画面にGコードが表示され、約5秒後に実際の予約内容が表示されます。さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。

Gコードを使わずに予約する（フリーセット予約）

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。
Gコード予約（P61）、フリーセット予約、BSデジタルフリーセット予約（P68）とi.LINK予約（P70）をあわせて最大24番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は1番組として数えます）ここでは、従来の地上波チャンネルや外部入力からの番組を予約する方法を説明しています。BSデジタル放送を予約されるときはP68をご覧ください。

❇**準備**
- ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。
- 録画可能なカセットを入れる。（P36）
- ビデオの時刻が正しいことを確認する。（P24）

1 +曜日/日－ を押し、予約日を合わせる

- ボタンの「+」側を押すごとに、下記のように変わります。（「－」側を押すと、逆方向に変わります）

「今日」の予約	今から**24時間以内に始まる**番組を予約する ●現在時刻が16時10分ならば､翌日の16時09分までに**始まる**番組の予約ができます。 24時間以内 今日 / 翌日 16:10（予約設定時刻） 午前0時 16:09
1週間以内の予約	**曜日**を指定して予約する ●日 → 月 → 火 → 水 → 木 → 金 → 土
1カ月以内の予約	**日付**を指定して予約する ●1 → 2 → 3 … → 31
毎日予約	**毎日､同じ番組**を録画する予約をする ●毎週日～土（1週間､毎日） → 毎週月～土（月～土の毎日） → 毎週月～金（月～金の毎日）
毎週予約	**毎週､同じ曜日の同じ番組**を録画する予約をする ●毎週日→ 毎週月… → 毎週土

2 +チャンネル－ を押し、予約チャンネルを合わせる

- +チャンネル－ の「+」側を押すごとに、下記のように変わります。（「－」側を押すと、逆方向に変わります）
- 押し続けると10ずつ変わります。
- モード設定（P84）の「L3設定」を「BS入力」にしていると、外部入力「L3」からの予約はできません。

VHF/UHF チャンネル	1 → 2 → 3 … → 62 ●予約は**表示チャンネル**で行います。
従来のBSチャンネル	BS1 → BS3 → BS5 … → BS15
CATVチャンネル	C13 → C14 → C15 … → C63 ●工場出荷時はとばされています。
外部入力	L1 → L2→ L3

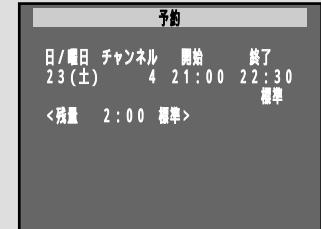
3 +開始－ を押し、開始時刻を合わせる

- 押し続けると、30分単位で変わります。

4 +終了－ を押し、終了時刻を合わせる

- 押し続けると、30分単位で変わります。
- 「転送△」表示が点滅します。

5 録画時間でテープ速度を選ぶ

- D-VHS（デジタル）録画するときは、D-VHSカセットを入れ、「STD」、「LS3」を選んでください。
- 選択可能なテープ速度は、接続、録画チャンネル、録画方式などによって異なります。詳しくはP37をお読みください。

6 転送を押す

- ビデオ表示部に録画開始時刻、続けて終了時刻が表示されます。
- テレビの電源が入っているときは、テレビ画面に予約内容が表示されます。さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。
- 右記の画面が出ている間に**取消し**を押すと、予約を取り消すことができます。

ヒント

■予約チャンネルについて

- 必ず**表示チャンネル**で合わせてください。
- ビデオ本体で表示されていないチャンネルは予約できません。
- CATVチャンネルの予約チャンネルは、工場出荷時にはすべてとばされています。P73の操作を行い、予約チャンネルを表示させてください。

■時刻は24時間表示です

■転送後は、テープ残量も画面に表示されます

- 転送時のビデオ本体のテープ速度で計算されます。
- カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。

お願い

- 予約待機中は、i.LINK機器から本機の電源を入れるなどの操作をしないようにしてください。
- 手順5で「STD」、「LS3」を選んでも、予約実行時にVHSカセットが入っているとD-VHS（デジタル）予約録画できません。D-VHS（デジタル）予約する場合は、予約実行時に必ずD-VHSカセットを入れておいてください。BS再入力（P23）を設定している場合は、予約実行時の本体のアナログテープ速度で予約実行し、BS再入力を設定していない場合は録画できません。
- 予約開始時刻や終了時刻が重複しないように予約してください。重複した場合は、正しく予約実行できない場合があります。（P71）

こんなとき

■すぐに予約録画を始めたいとき

予約チャンネル（手順2）と終了時刻（手順4）とテープ速度（手順5）を合わせて転送してください。
（終了時刻までの予約録画を始めます）

■「ぴったり録画」をしたいとき（アナログ録画時のみ）（P67）

■予約が実行されたか確認したいとき（P71）

■予約時にテープ速度を指定しなかったとき（P71）

■転送後、テレビ画面に「予約が重複しています」と表示されたとき（P71）

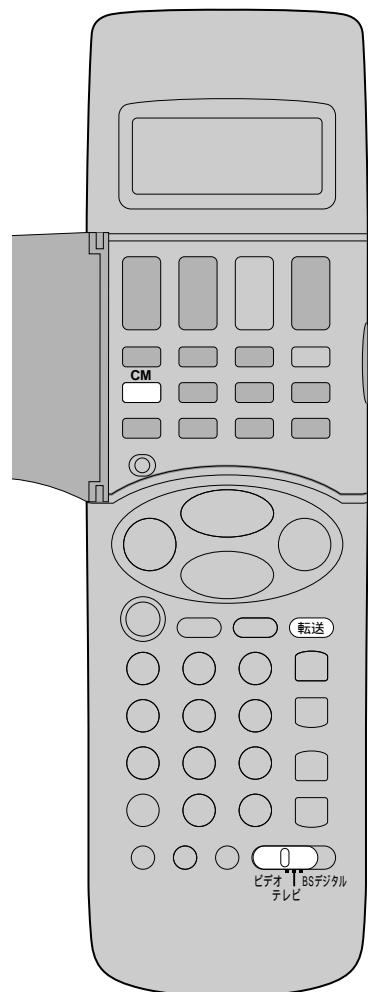
■予約内容を確認したいとき（P72）

■予約内容を取り消したいとき（P72）

■転送後、ビデオ表示部に「FULL」と表示されたとき

すでに24番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。（P72）

■2つ以上の予約をするとき

手順1〜6をくり返してください。（予約録画の待機状態でも予約できます）

CMをとばして予約録画する（CMカット予約）

アナログ

CMを自動的にとばして予約録画することができます。

●D-VHS（デジタル）で予約録画する番組には働きません。また、アナログで予約録画する場合でも、BSデジタル放送を予約録画する場合や、予約録画する番組によっては、正しく働かない場合があります。（下記ヒントご参照）

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 予約の際、転送を押す前に、CMを押す

●リモコン表示部に「✂」表示が出ます。

Gコード予約時

リモコン1 Gコード 78 86 4- - -

フリーセット予約時

リモコン1 日チャンネル 開始 終了 23 4 21:00 22:30

2 転送を押す

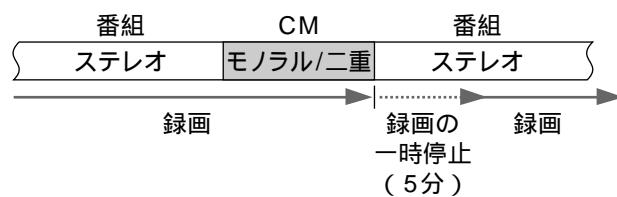
●テレビ画面に「CMカット」表示が出ます。

こんなとき

●予約録画が始まったときに放送がCM中の場合は、そのCM中はCMカットは働きません。

●CMカット予約を働かせたくなくなったときは、転送を押す前に、CMをもう一度押してください。「✂」表示が消えます。

ヒント

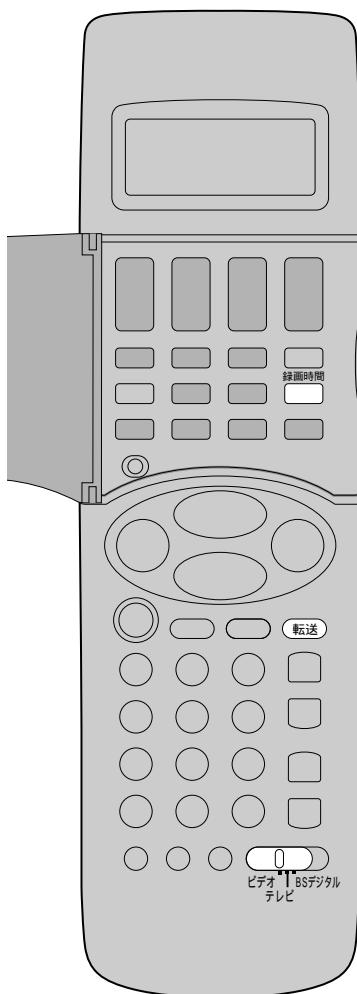
■**番組が「モノラル放送」または「二重放送（2カ国語放送など）」で、CMが「ステレオ放送」のときに、正しく働きます。**（CMの前後が、少し切れた状態で録画されます）

■**次のようなときは、正しく働きません。**

●**番組が「ステレオ放送」のとき**
CMも通常どおり録画されます。

●**CMが「モノラル放送」または「二重放送」のとき**

●**CM以外でも、音声が「モノラル放送」や「二重放送」から「ステレオ放送」に切り換わったとき**

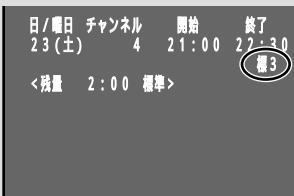
●**外部入力チャンネル（CS、BSデジタル、従来のBSを含む）を予約録画するとき**

●**BSデジタル放送など、i.LINK機器から予約録画するとき**

●**D-VHS（デジタル）録画予約するとき**

ぴったり予約録画する（ぴったり録画）

アナログ

「標準」で予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に「3倍」に切り換えて番組の最後まで録画します。D-VHS(デジタル)で予約録画する場合には働きません。

●「モード設定」（P84）の「S/VHSテープ」を正しく合わせておかないと正しく働きません。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1

予約の際、転送を押す前に、録画時間を数回押し、「標準3倍」を選ぶ

Gコード予約時

標準3倍 転送 リモコン1 Gコード 78 86 4- - -

フリーセット予約時

標準3倍 転送 リモコン1 日チャンネル 開始 終了 23 4 21:00 22:30

2

転送を押す

●テレビ画面に「標3」表示が出ます。

日/曜日 チャンネル 開始 終了
23（土） 4 21:00 22:30
標3
<残量 2:00 標準>

ヒント

■ぴったり録画は、テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。

●下図の場合、2番組目の途中から「3倍」で録画し、3番目の番組は録画できません。（60分テープを使用した場合）

「標準」で30分録画	「標準」で15分録画	「3倍」で45分録画	
1番目（30分）	2番目（60分）		3番目

●カセットによっては、正しく働かない場合があります。

●番組の最初から「3倍」で録画してもテープが足りないときは、番組の最後までを録画することはできません。

●CMカット予約（左ページ）も働かせているときは、CMをとばした分だけ録画される時間が短くなるため、テープが余る場合があります。

BSデジタル放送を予約録画する

ビデオから番組を予約する（BSデジタルフリーセット予約）

本機にはBSデジタルチューナーは搭載されていませんが、当社製のチューナー（内蔵テレビ）とi.LINKケーブルで接続することにより、BSデジタルフリーセット予約ができます。Gコード予約（P61）、フリーセット予約（P64）、BSデジタルフリーセット予約とi.LINK予約（P70）をあわせて最大24番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は1番組として数えます）

- BSデジタルフリーセット予約をすると、本機はi.LINKケーブルを通じてチューナー（内蔵テレビ）にも予約を登録します。BSデジタルフリーセット予約で登録した予約は、チューナー（内蔵テレビ）側の予約一覧画面でも予約情報を確認できます。これらの予約は、チューナー（内蔵テレビ）側で修正/取り消しはできませんので、本機から行ってください。
- 従来の地上波チャンネルや外部入力からの番組をフリーセット予約されるときはP64をご覧ください。
- 下記の例は、当社製のチューナー（内蔵テレビ）を使った場合の操作です。当社製以外のチューナー（内蔵テレビ）をお使いになると、予約できなかったり、表示されない項目があったり、操作方法が異なる場合があります。チューナー（内蔵テレビ）の説明書もお読みください。

準備
- ［ビデオ/テレビ/BSデジタル］を「ビデオ」にする。
- 録画可能なカセットを入れる。（P36）
- チューナー（内蔵テレビ）とi.LINKケーブルで正しく接続されているか確認する。（P20、21）
- チューナー（内蔵テレビ）の電源を入れるか、機能待機状態にしておく。
- チューナー（内蔵テレビ）とビデオの時刻を合わせる。（P92）
- BS再入力を設定する。（P23）

1 ［+曜日/日−］を押し、予約日を合わせる

- ボタンの「+」側を押すごとに、下記のように変わります。（「−」側を押すと、逆方向に変わります）

「今日」の予約	今から**24時間以内に始まる**番組を予約する ●現在時刻が16時10分ならば、翌日の16時09分までに**始まる**番組の予約ができます。 24時間以内 今日 / 翌日 16:10（予約設定時刻） 午前0時 16:09
1週間以内の予約	**曜日**を指定して予約する ●日 → 月 → 火 → 水 → 木 → 金 → 土
1カ月以内の予約	**日付**を指定して予約する ●1 → 2 → 3 … → 31
毎日予約	**毎日、同じ番組**を録画する予約をする ●毎週日〜土（1週間、毎日） → 毎週月〜土（月〜土の毎日） → 毎週月〜金（月〜金の毎日）
毎週予約	**毎週、同じ曜日の同じ番組**を録画する予約をする ●毎週日→ 毎週月… → 毎週土

2 ［1］〜［10/0］を押し、チャンネルを合わせる

- **直接番号を入力してチャンネルを選んでください。**
  （BS103チャンネルを選ぶとき）
  ［1］→［10/0］→［3］

3 ［+開始−］を押し、開始時刻を合わせる

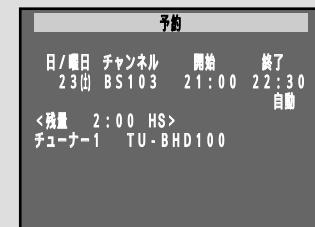
- 押し続けると、30分単位で変わります。

デジタル アナログ

4 +終了− を押し、終了時刻を合わせる

- 押し続けると、30分単位で変わります。

5 録画時間 でテープ速度を選ぶ

- 「HS STD」(D-VHS自動)が選ばれますので、そのままにしておいてください。HD放送を高画質で録画したり、データ放送、マルチビュー放送(P108)を同時に録画することができます。
- BSデジタル放送では、高画質なHD放送や、SD放送など、番組によって放送信号が異なります。本機では、番組の放送信号に合ったテープ速度を自動的に選んで録画します。
- BS再入力(P23)を設定して「STD」、「LS3」を選んだ場合は、外部入力3(L3)(BS入力)端子から入力されているアナログ信号を内蔵MPEG2エンコーダーでデジタル信号に変換してから録画します。
- 選択可能なテープ速度は、接続、録画チャンネル、録画方式などによって異なります。詳しくは、P37をお読みください。

6 転送 を押す

- ビデオ表示部に録画開始時刻、続けて終了時刻が表示されます。
- テレビの電源が入っているときは、予約内容が表示され、さらにその約14秒後に、予約録画の待機状態になります。
- 残量表示の下に予約録画で使われる、i.LINK機器名(+番号)とi.LINK機種名が表示されます。
- 右記の画面が出ている間に 取消し を押すと、予約を取り消すことができます。

予約録画

ヒント

- 予約操作時と予約録画実行時には、必ずチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか機能待機状態にしておいてください。主電源が切れていたり、「スタンバイ」になっていると、予約登録や録画は実行されません。
- 当社製のチューナー(内蔵テレビ)を使って予約した場合は、自動的にチューナー(内蔵テレビ)にも予約が登録されます。予約登録されたチューナー(内蔵テレビ)は、予約実行時間になると自動的に電源が入ります。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いの場合は、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

■時刻は24時間表示です

■転送後は、テープ残量も画面に表示されます

- 転送時のビデオ本体のテープ速度で計算されます。
- カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。

- 2つ以上の予約をするときは手順1〜6をくり返してください。(予約録画の待機状態でも予約できます)

お願い

- 予約待機中は、i.LINK機器から本機の電源を入れるなどの操作をしないようにしてください。
- 手順5で「STD」、「LS3」を選んでも、予約実行時にVHSカセットが入っているとD-VHS(デジタル)予約録画できません。BS再入力(P23)を設定している場合は、予約実行時の本体のアナログテープ速度で予約実行し、BS再入力を設定していない場合は録画できません。D-VHS(デジタル)予約する場合は、予約実行時に必ずD-VHSカセットを入れておいてください。
- 予約開始時刻や終了時刻が重複しないように予約してください。重複した場合は、正しく予約実行できない場合があります。(P71)
- テレビの電源を入れてメッセージをご確認ください。
- 録画を正しく行うために、BSデジタル放送の録画中はチューナー(内臓テレビ)を操作しないようにしてください。

BSデジタル放送を予約録画する（つづき）

ビデオから番組を予約する（BSデジタルフリーセット予約）（つづき）

BSデジタルフリーセット予約録画のしくみ

予約開始時刻になると、本機がi.LINKケーブルを通してチューナー（内蔵テレビ）の電源を入れ、BSデジタルチャンネルの選局を行い、録画を開始します。予約録画の終了時刻になると、チューナー（内蔵テレビ）の電源を切り、録画を終了します。

BSデジタルフリーセット予約録画について

- BSフリーセット予約をすると、有料番組（ペイ・パー・ビュー）や視聴制限のかかった番組、録画禁止の番組（P53）も予約できますが、正しく録画することはできません。
- BSフリーセット予約をした番組は、放送開始時刻が遅れたり、番組が延長されたときでも、予約した開始/終了時刻に合わせて実行しますので、番組の時間変更に追従して予約録画できません。
- 本機とチューナー（内蔵テレビ）の時刻が合っていないと、正しく予約実行することができません。必ず、時刻を合わせておいてください。（P92）

こんなとき

■予約が実行されたか確認したいとき（右ページ）

■予約時にテープ速度を指定しなかったとき（右ページ）

■転送後、テレビ画面に「予約が重複しています」と表示されたとき（右ページ）

■転送後、ビデオ表示部に「FULL」と表示されたとき

すでに24番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。（P72）

■転送後、テレビ画面に「BSチューナーが登録されていません」と表示されたとき

外部BSチューナー設定を行ってください。（P88）

■転送後、テレビ画面に「予約できません・・・」と表示されたとき

チューナー（内蔵テレビ）の電源が入っていないか、接続が正しくされていません。電源を入れるか、正しく接続されているか確認してください。（P20、21）

■転送後、テレビ画面に「カセットを確認してください」と表示されたとき

D-VHSカセットが入っていません。D-VHSカセットを入れてください。

■転送後、テレビ画面に「L3設定を確認してください」と表示されたとき

「STD」、「LS3」、「標準」、「3倍」、「標3」で予約録画するには、「モード設定」（P84）の「L3設定」を「BS入力」にしてください。「STD」、「LS3」の場合は、D-VHSカセットを入れておいてください。

■転送後、テレビ画面に「L3設定とカセットを確認してください」と表示されたとき

D-VHSカセットを入れ、「モード設定」（P84）の「L3設定」を「BS入力」にしてください。

チューナー（内蔵テレビ）から番組を予約する（i.LINK予約）

i.LINKケーブルと接続することにより、チューナー（内蔵テレビ）からでもBSデジタル放送の予約ができます。当社製チューナー（内蔵テレビ）から本機に予約すると、本機の予約一覧画面にⓘアイコン付きの予約が登録されます。詳しくは、お使いのチューナー（内蔵テレビ）をお読みください。

i.LINK予約録画のしくみ

チューナー（内蔵テレビ）で予約録画の設定をしておくと、予約した時刻にチューナー（内蔵テレビ）が番組の受信を開始し、本機に録画開始信号を送ります。この信号に合わせて本機は録画を開始します。
予約録画の終了時刻になると、チューナー（内蔵テレビ）は本機に録画終了信号を送ります。この信号に合わせて本機は録画を終了します。

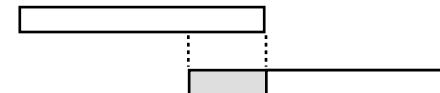
i.LINK予約録画について

- i.LINK予約をするときは、D-VHSカセットを入れ、停止状態で予約してください。VHSカセットが入っている場合は、アナログ録画になります（BS再入力を設定しているとき、P23）。予約登録が終了すると、予約の待機状態になります。
- アナログ録画するには、BS再入力（P23）を設定しておいてください。
- i.LINK予約をした番組は、予約一覧画面にⓘアイコンを表示します。この予約は、本機から修正/取り消しできません。チューナー（内蔵テレビ）で修正/取り消ししてください。
- 録画禁止の番組（P53）も予約できますが、正しく録画することはできません。
- 重複して予約した場合は、先に予約されていた予約番組が実行されます。（右ページ）
- 本機とチューナー（内蔵テレビ）の時刻が合っていないと、正しく予約実行することができません。必ず、時刻を合わせておいてください。（P92）

ヒント

- 予約操作のしかたは機種によって異なりますので、チューナー（内蔵テレビ）の説明書をお読みください。
- チューナー（内蔵テレビ）から本機に予約した番組は、予約一覧画面にⓘアイコンを表示します。このときは、本機からは修正、取消しできません。チューナー（内蔵テレビ）で行ってください。

お願い

- 予約録画の開始時に、本機を操作していると予約実行されませんので、予約録画の開始時刻は本機を操作しないでください。
- 予約待機中/予約実行中は、i.LINK機器から本機の電源を入れる操作などをしないようにしてください。

予約録画についてのお知らせ（必ずお読みください）

予約が重複したとき

■地上波どうしの予約が重なったとき

先に始まる予約が優先され、録画終了後、次の予約を録画します。

■i.LINK予約からのBSデジタル放送番組と地上波番組の予約が重なったとき

本機で優先順位を付け、どの予約を実行するか決定します。予約の優先順位の低い予約は正しく予約実行されません。

予約実行の優先順位は以下の通りです。

❶開始時刻が早い予約

地上波放送番組の開始時刻が早い場合

※BSデジタルフリーセット予約の場合は、地上波放送の録画終了後録画開始されます。

i.LINK予約からのBSデジタル放送番組の開始時刻が早い場合

❷同一開始時刻の場合は予約実行チャンネルで決定

①i.LINK機器からの予約（デジタルBS放送/CS）

②地上波

③CATV

④外部入力チャンネル

同一放送種別の場合

チャンネル番号が小さい順

■地上波番組の終了時刻とi.LINK予約からのBSデジタル放送番組の開始時刻が同じとき

BSデジタル放送番組を予約実行させるために本機は、先に始まる予約を約1分間早めて停止します。

※BSデジタルフリーセット予約の場合は、予約したとおり録画されます。(地上波放送番組を約1分早めて停止しません)

■i.LINK予約どうしが重なったときは、ご使用のBSデジタルチューナー（内蔵テレビ）の説明書をお読みください

予約が実行されたか確認したいとき

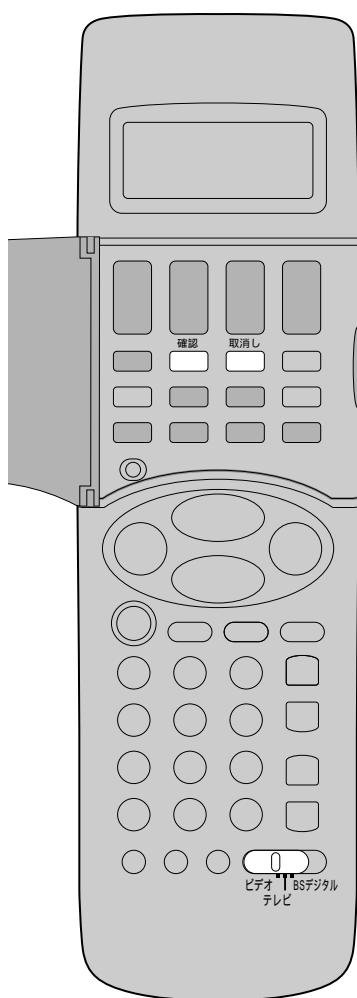
予約登録は、予約録画が実行されてもされなくても、予約終了時刻をすぎると予約一覧画面から消去されます。予約録画が実行されたか確かめたい場合は、プログラムナビ（P74）をお使いください。

予約時にテープ速度を指定しなかったとき

予約時にテープ速度を指定しないでBSデジタルフリーセット予約した場合は、「HS STD」（D-VHS自動）で予約されます。地上波放送などをフリーセット予約したときは、現在のテープ速度になります。

正しいカセットが入っていないとき

D-VHS（デジタル）予約実行時にVHSカセットが入っている場合は、下表のようなテープ速度で予約実行されます。

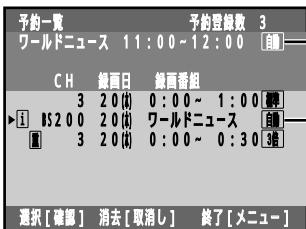
BS再入力（P23）を設定しているとき

本体テープ速度	予約実行されるテープ速度
標準	標準3倍
3倍	3倍

BS再入力（P23）を設定していないときは、録画できません。

予約内容を確認する/取り消す

ビデオの電源が「入」、または予約録画の待機状態のときに操作してください。

準備 ● [ビデオ/テレビ/BSデジタル]を「ビデオ」にする。

予約内容を確認する

[確認]を押す

- テレビ画面に予約一覧画面が表示され、約1分後に元の状態に戻ります。
- 予約内容一覧画面については、下記を参照してください。

予約内容を取り消す

[確認]を数回押し、取り消したい予約内容を選び、[取消し]を押す

- 取り消された予約内容は、全項目が「ーー」表示になります。

予約一覧画面について

❶：**選ばれている予約の情報**
選ばれている予約の情報がここに表示されます。

❷：**選ばれている予約**
タイトルは、当社製のチューナー（内蔵テレビ）からi.LINK予約（P70）している場合のみ表示されます。

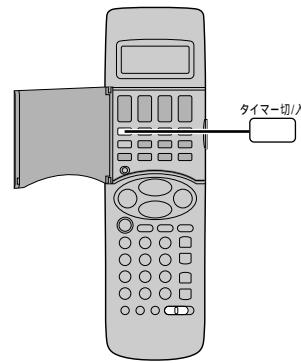
予約一覧画面のアイコンについて

[i]　**：i.LINK予約（P70）**
(チューナーなどi.LINK機器からの予約です。予約取消/修正をするときは、予約したi.LINK機器側で行ってください)

[重]　**：重複している予約**
(この予約はこのままでは正しく実行されません。重複している不要な予約を取り消してください)

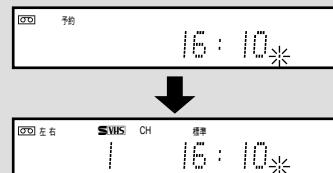
[X]　**：CMカット予約（P66）**
〔D-VHS（デジタル）予約やチューナーなどi.LINK機器、外部入力から録画する場合には働きません〕

[確]　**：BSデジタルフリーセット予約（P68）をしたとき、チューナー（内蔵テレビ）側に予約登録されていない予約**
〔このままでは正しく実行されません。チューナー（内蔵テレビ）の電源を入れるか、機能待機状態にしてください〕

テープ速度アイコン（[自動]、[標準] など）：
[自動] は「D-VHS自動」、[標準] は「標準」など、表示されているテープ速度で予約録画されます
BSデジタル放送を予約するときは、HD放送を高画質で録画したり、データ放送、マルチビュー放送（P108）を同時に録画することができる「D-VHS自動」をおすすめします。
「D-VHS自動」、「STD」、「LS3」を選んでいても、予約実行時にVHSカセットが入っているとD-VHS（デジタル）予約録画できません。BS再入力（P23）を設定している場合は、予約実行時の本体のアナログテープ速度で予約実行し、BS再入力を設定していない場合は録画できません。D-VHS（デジタル）予約する場合は、予約実行時に必ずD-VHSカセットを入れておいてください。

ヒント

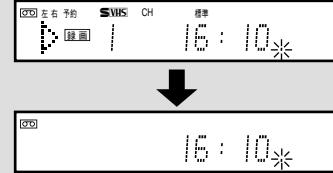
- 当社製のチューナー（内蔵テレビ）からi.LINK予約（P70）した場合は、予約一覧画面に、チャンネル番号、番組開始時刻、終了時刻、番組タイトル、予約内容が表示されます。

予約録画を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。また､始まった予約録画を途中でやめることができます。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

予約録画の待機を一時解除する

タイマー切/入 を押す

- ビデオ表示部の「予約」表示が消え、電源が入ったときの状態になります。

- タイマー切/入 をもう一度押すと､元の状態に戻ります。

予約録画を途中でやめる

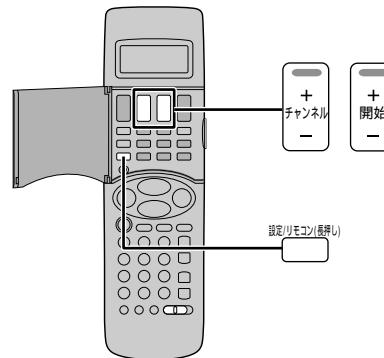
タイマー切/入 を押す

- ビデオが録画をやめ、電源が切れます。

- 予約録画を途中でやめた場合でもその番組の放送中であれば、もう一度 タイマー切/入 を押すと、予約録画が再開されます。

ヒント

- 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
- 本体の タイマー予約切/入 でも、同じ操作ができます。

お願い

- ＢＳフリーセット予約を途中で中断する場合、チューナー（内蔵テレビ）の電源を押すなどしてチューナー（内蔵テレビ）側の予約も終了させてください。詳しくは、チューナー（内蔵テレビ）の説明書をお読みください。

リモコンの予約チャンネル表示を設定する

リモコン表示部の不要な予約チャンネルをとばすことができます。ビデオ本体の「表示チャンネル」に合わせておくと、「フリーセット予約」の際に、よりす早く「予約チャンネル」を合わせることができます。

- 工場出荷時は、CATVチャンネルを除くすべてのチャンネルを表示するようになっています。CATV放送を受信される方は、必ず下記の操作を行って、予約チャンネルを表示させてください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 設定/リモコン(長押し) を約2秒押し続けて「☎」マークを出し、さらにもう1回押す

2 チャンネル でとばしたい、または表示させたい予約チャンネルを選ぶ

- 押し続けると、10ずつ変わります。
- **CATV放送を受信される方**は、表示させたい「予約チャンネル」を選んでください。

3 開始 で「OFF」､「On」を選ぶ

「OFF」：　とばしたいとき
「On」：　表示させたいとき

4 リモコンのふたを閉じる

こんなとき

- 2つ以上のチャンネルをとばしたい、または表示させたいときは、手順2と3をくり返してください。
- とばされたチャンネルは｢フリーセット予約｣できません。

予約録画

リストを利用して録画した番組をさがす
（プログラムナビ）

本機で録画・予約録画すると、自動的に「プログラムナビ」リストに、その録画内容が登録されます。このリストを利用して番組をさがし出すことができます。
見たい番組の入ったカセットをさがすために、本機で録画したカセットにはカセットNo.を記載しておいてください。

■リストに登録できる数

登録できるカセット数：最大999本
1本のカセットに登録できる番組数：最大16番組
登録できる総番組数：最大1500番組

- 1本のカセットに付き、16番組を超える録画をした場合は、リストに登録されません。
- すでに最大1500番組分を記憶しているときにカセットを入れると、画面に「新たに番組登録はできません」と表示されます。（番組情報を消去するときは、P78）
- 登録可能な番組数の残りが10個以下になったときにカセットを入れると、「新たに登録できる番組は5個です」などと登録可能な残り番組数が表示されます。
- 当社製チューナー（内蔵テレビ）からBSデジタル放送を録画したときは、番組タイトル名もリストに記録しますので、記憶できる番組数が減少します。（750～1500番組）

■便利なリストの使いかた

見たい番組がどのカセットに入っているのかわかっている場合
カセットを入れて見たい番組をさがす
見たい番組がどのカセットに入っているのかわからない場合

- リストをカセットNo.順に並べて番組をさがす**「カセット一覧検索」**（P76）
- リストを録画日の新しい順に並べて番組をさがす**「ナビ最新2週間検索」**（P77）

ヒント

- 「モード設定」（P84）の「プログラムナビ」が「切」のときは、この機能は働きません。（工場出荷時は「入」）
- テープ速度「LS3」で録画された番組は、正しく頭出しができない場合があります。
- 正しく頭出しをするために、録画は約30分以上行ってください。（それより短いと登録されないことがあります）

■「プログラムナビ」リストへは以下の番組が登録されます

1. 本機で予約録画した番組
2. 外部機器から予約録画された番組
3. 本機で、停止状態から［録画●］を押して録画した番組

（本機で録画の一時停止状態から録画を開始した場合には登録されません）

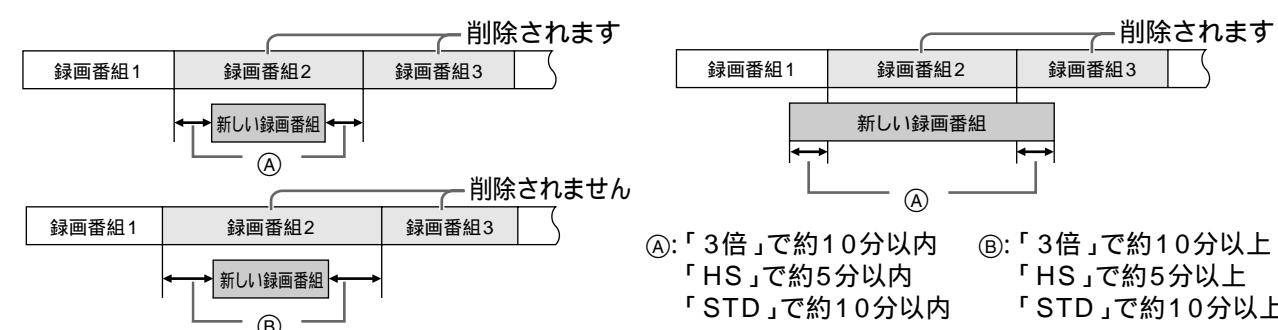
■カセットを入れたとき

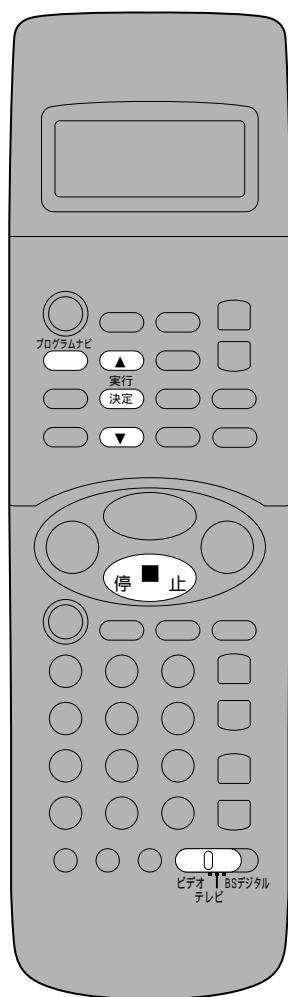
本機にカセットを入れたときに、自動的にナビ登録の確認を行います。

- ビデオ表示部には、確認されたカセット番号が表示されます。
- 現在のテープ位置から、前後約20秒間のナビ登録を確認します。
- ナビ登録が確認できなかったときは、［プログラムナビ］を押したときに、もう一度ナビ登録の確認を行います。

■確認できずに「このカセットにはナビデータがありません ナビボタンでイントロサーチが始まります」と表示されるときは、［プログラムナビ］を押すとイントロサーチができます。（P82）

始 終 0:12.34

（［プログラムナビ］を押すと、再度確認します）

- 別のビデオ（当社製の同機能付きビデオも含む）で録画したカセットでは正しく働きません。

■テープの同じ場所に重ねて録画したとき

その部分に録画されていた番組が、リストから削除されます。

- 新たに録画された番組の前後の付近（「3倍」で約10分、「HS」で約5分、「STD」で約10分以内）から始まる番組も削除されます。

見たい番組をさがす

デジタル アナログ

✻**準備** ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **さがしたい番組を録画したカセットを入れる**

- テレビ画面に「ナビデータを確認しています」と表示されます。

2 **プログラムナビ を押す**

- 「プログラムナビ」画面が出ます。
- 選ばれている番組が黄色で表示されます。
- 番組タイトルは、i.LINKケーブルを接続した状態で、当社製のチューナー（内蔵テレビ）を使用して録画・予約録画した番組のみ表示されます。

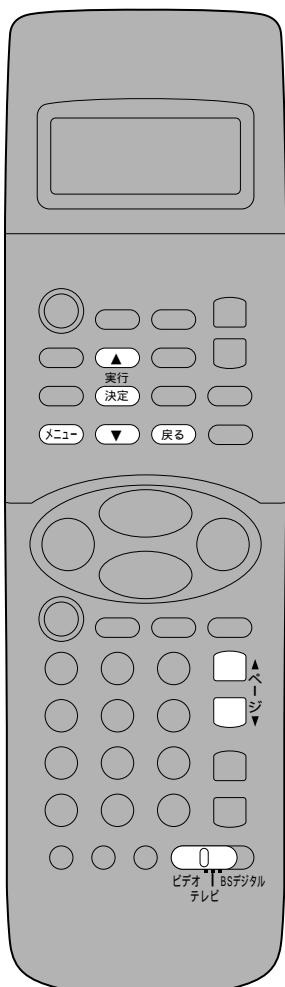
3 **▲ ▼ で見たい番組を選び、決定/実行 で実行する**

- 見たい番組の頭出しを行い、そこから再生します。

途中でやめるには

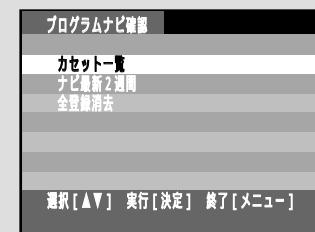
停止■ を押す

ヒント

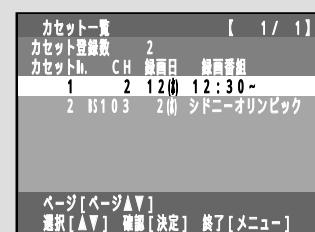
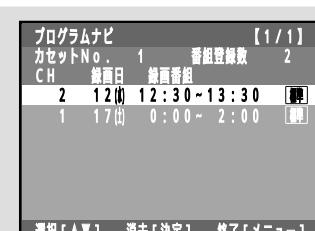
- 正しく頭出しをするために、録画は約30分以上行ってください。（それより短いと登録されません）
- 番組間に未録画部分がある場合などに、カセット番号が新しく登録されることがあります。

リストを利用して録画した番組をさがす
（プログラムナビ）（つづき）

カセット一覧検索

デジタル アナログ

カセットNo.の小さい順に番組を並べかえて検索します。
見たい番組の入ったカセットをさがすために、本機で録画したカセットにはカセットNo.を記載しておいてください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

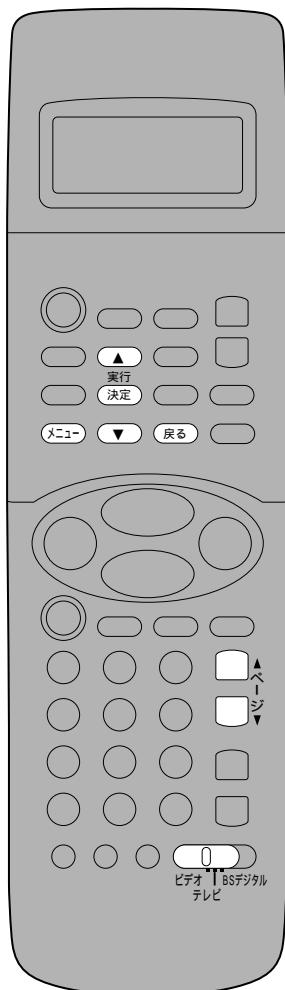
1 **メニュー を押す**
- メニュー画面が出ます。

2 **「プログラムナビ確認」が選ばれている状態で、決定/実行 を押す**
- 「プログラムナビ確認」画面が出ます。

3 **「カセット一覧」が選ばれている状態で、決定/実行 を押す**
- 「カセット一覧」画面が出ます。
- 選ばれているカセットが青色で表示されます。
- 番組タイトルは10文字まで表示されます。10文字を超える場合は「･･･」で表示されます。

- 番組タイトルは、i.LINKケーブルを接続した状態で、当社製のチューナー（内蔵テレビ）を使って録画・予約録画した番組のみ表示されます。
- BSデジタルチャンネルは、i.LINKケーブルを接続した状態で、当社製のチューナー（内蔵テレビ）を使って録画・予約録画した番組のみ表示されます。それ以外の場合は、「d1」などi.LINK機器No.で表示されます。
- ▲ページ▼ でページを移動できます。

4 **▲ ▼ でさがしたい番組の入ったカセットNo.を選び、決定/実行 を押す**
- 「プログラムナビ」画面が出ます。
- 選んだカセットに登録されている番組すべてが表示されます。

5 **メニュー を押す**
- 「プログラムナビ」画面が消えます。

6 **P75の操作で見たい番組をさがす**

ヒント
- 手順4の操作後に 決定/実行 を押すと、「カセット登録消去」画面が出て、選んだカセット一覧の情報を消去することができます。（P78）
- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- プログラムナビ機能が使えるのは本機で録画したカセットだけです。

ナビ最新2週間検索

デジタル アナログ

録画日の新しい順から番組を並べかえて検索します。
見たい番組の入ったカセットをさがすために、本機で録画したカセットにはカセットNo.を記載しておいてください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 メニュー を押す
● メニュー画面が出ます。

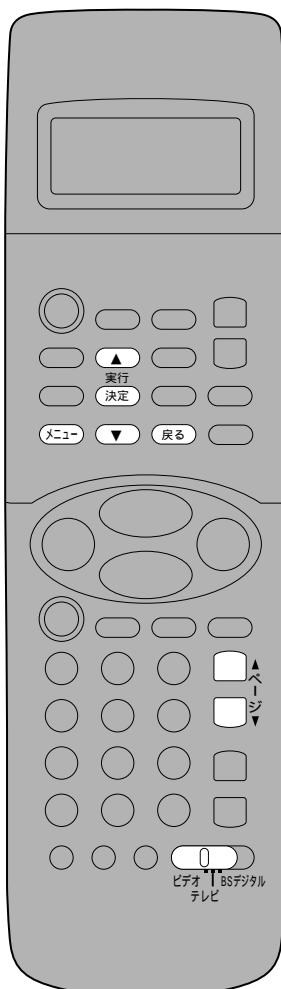
2 「プログラムナビ確認」が選ばれている状態で、決定/実行 を押す
●「プログラムナビ確認」画面が出ます。

3 ▲ ▼ で「ナビ最新2週間」を選び、決定/実行 を押す

●「ナビ最新2週間」画面が出ます。
● 番組タイトルは、i.LINKケーブルを接続した状態で、当社製のチューナー（内蔵テレビ）を使って録画・予約録画した番組のみ表示されます。
● BSデジタルチャンネルは、i.LINKケーブルを接続した状態で、当社製のチューナー（内蔵テレビ）を使って録画・予約録画した番組のみ表示されます。それ以外の場合は、「d1」などi.LINK機器No.で表示されます。
● ▲ページ▼ でページを移動できます。

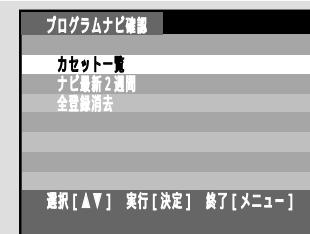
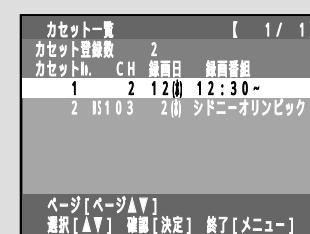
4 メニュー を押す
●「ナビ最新2週間」画面が消えます。

5 P75の操作で見たい番組をさがす

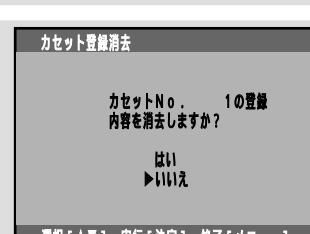
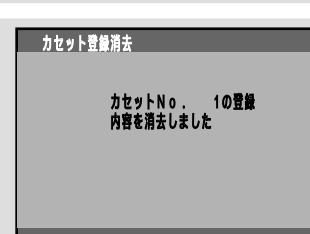
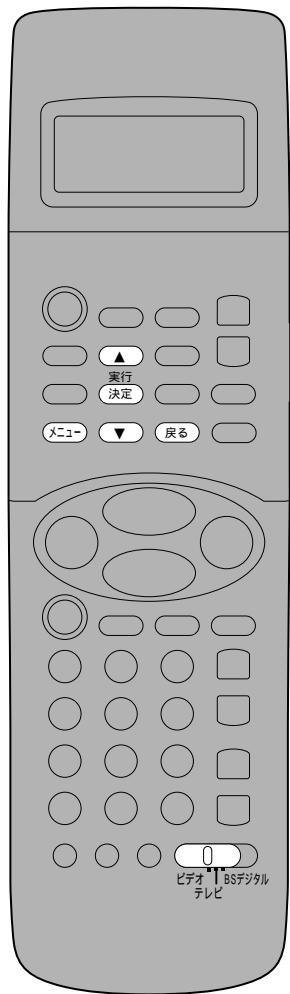
ヒント
● 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。
● プログラムナビ機能が使えるのは本機で録画したカセットだけです。
● ナビ最新2週間に登録できる番組は50番組までです。

リストを利用して録画した番組をさがす
（プログラムナビ）（つづき）

番組情報を消去する

消去には以下の2つの方法があります。一度消去したデータは元に戻せませんので、よくご確認のうえ消去してください。

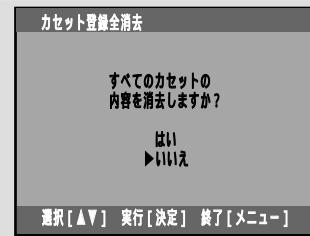
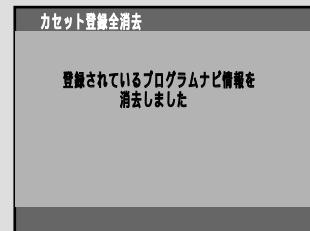
カセットごとに情報を消去する

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**
- メニュー画面が出ます。

2 **「プログラムナビ確認」が選ばれている状態で、決定/実行 を押す**
- 「プログラムナビ確認」画面が出ます。

3 **「カセット一覧」が選ばれている状態で、決定/実行 を押す**
- 「カセット一覧」画面が出ます。
- ▲ページ▼ でページを移動できます。

4 **▲ ▼ で消去したいカセットNo.を選び、決定/実行 を押す**
- 「プログラムナビ」画面が出ます。
- 選んだカセットに登録されている番組すべてが表示されます。

5 **消去してよいかよく確認してから、決定/実行 を押す**

6 **▲ ▼ で「はい」を選び、決定/実行 を押す**

ヒント
- 手順5までは、戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

デジタル アナログ

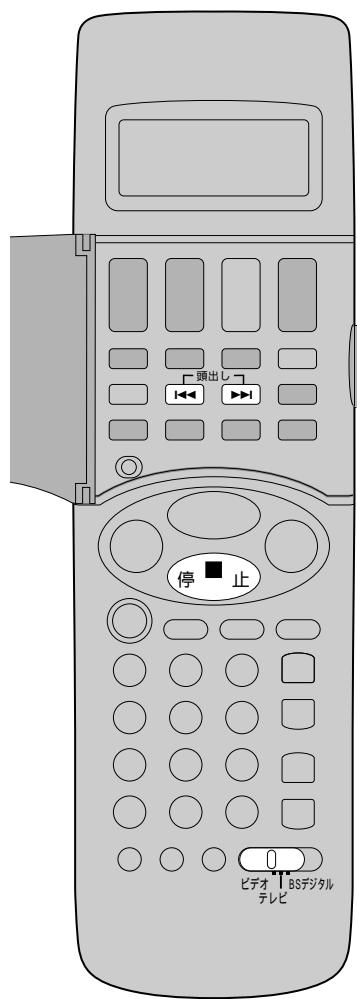
すべてのカセットの情報を消去する

準備 ● [ビデオ/テレビ/BSデジタル]を「ビデオ」にする。

1 **[メニュー]を押す**

2 **「プログラムナビ確認」が選ばれている状態で、[決定/実行]を押す**

3 **[▲][▼]で「全登録消去」を選び、[決定/実行]を押す**

●「カセット登録全消去」画面が出ます。

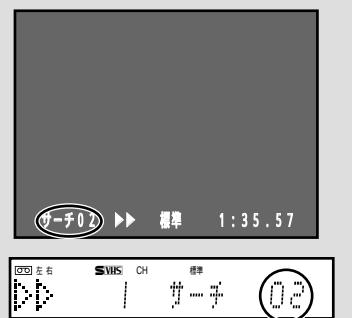
4 **[▲][▼]で「はい」を選び、[決定/実行]を押す**

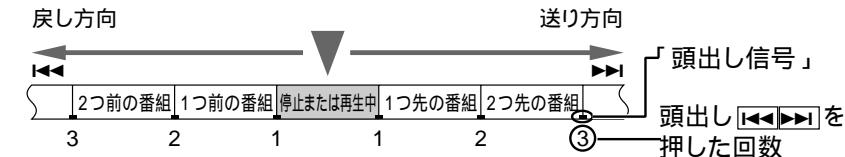
ヒント

● 手順3までは、[戻る]を押すと、1つ前の画面に戻ります。

頭出しをして番組をさがす

デジタル アナログ

**本機で録画を行うと、録画の開始点で、テープ上に「頭出し信号」が自動的に記録されます。
この「頭出し信号」を利用して番組をさがし出し、指定した番組の開始点から自動的に再生を始めます。**

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

停止または再生中に、見たい番組がある方向の頭出し ⏮ ⏭ を押す

- 頭出し ⏮ ⏭ を押した回数が、テレビ画面とビデオ表示部に出ます。
- ビデオが早送り、または巻き戻しを始め、番組をさがし始めます。
- 続けてボタンを押すことで、さがす番組が変更できます。（下記「頭出しする番組の指定のしかた」参照）
- 番組を見つけると、そこから自動的に再生を始めます。

途中でやめるには

停止■ を押す

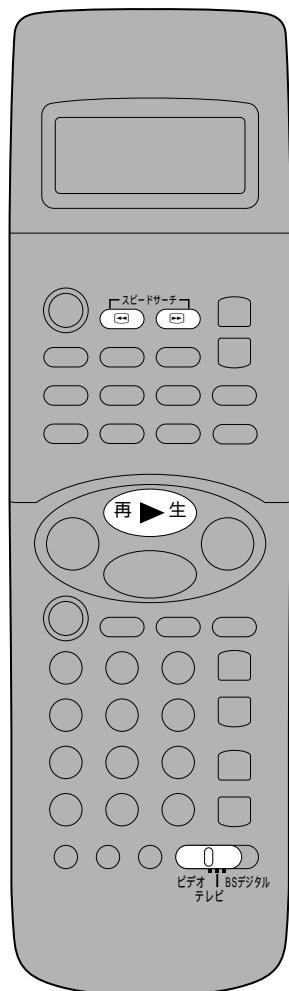
ヒント

- テープ速度「LS３」で録画された番組は正しく頭出しができない場合があります。

■頭出しする番組の指定のしかた

- 最大２０番組先までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押して、番組の指定を変更できます。
- 番組の間隔が短いときは、正しくさがせない場合があります。（番組は約5分以上録画してください）

■以下のときに、「頭出し信号」が記録されます

- 録画● か ●録画/終了時刻予約 を押して録画を始めたとき。
  (録画の一時停止を解除して録画を再開したときは、記録されません)
- 予約録画が始まったとき。
- 録画中に、リモコンの 録画● を押したとき。

高速で早送り/巻き戻し再生する（スピードサーチ）

アナログ

通常再生の約100倍速（「3倍」録画時）で早送り/巻き戻し再生できます。（音声は出ません）
D-VHS（デジタル）録画した番組は、約100倍速再生してもノイズ画面になります。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

スピードサーチ ◄◄ ►► を押す

►► ：早送り方向の番組をさがすとき
◄◄ ：巻き戻し方向の番組をさがすとき

● スピードサーチ中は、テレビ画面にテープ位置の表示とテープカウンター表示が出ます。

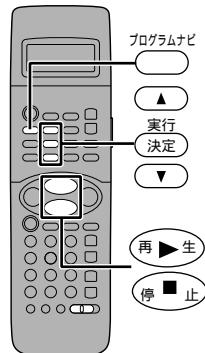
通常再生に戻すには

再生▶ を押す

ヒント

■スピードサーチの速度

「3倍」で録画された番組は約100倍速で見ることができます。
「標準」で録画された番組は約33倍速で見ることができます。

- ご使用になるテレビによっては、画像が乱れる場合があります。
- ご使用になるカセットのテープ位置によっては、早送り/巻き戻し再生の速度が変わる場合があります。
- 「モード設定」（P84）の「S/VHSテープ」を正しく合わせておかないと、テープ位置の表示は正しく表示されません。

テープの始端から次々に頭出しして番組をさがす（快速イントロサーチ）

本機で録画を行うと、録画の開始点でテープ上に「頭出し信号」が自動的に記録されます。
この「頭出し信号」を利用して番組の最初の部分をさがし出し、次々に早送り再生をしていきます。

デジタル　アナログ

ナビ登録が確認されているカセットの場合

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **プログラムナビ を押す**

●「プログラムナビ」画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「イントロサーチ」を選び、決定/実行 を押す**

●イントロサーチが始まります。

見たい番組が見つかったとき

再生▶ を押す

途中でやめるとき

停止■ を押す

ナビ登録が確認されていないカセットの場合

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **プログラムナビ を押す**

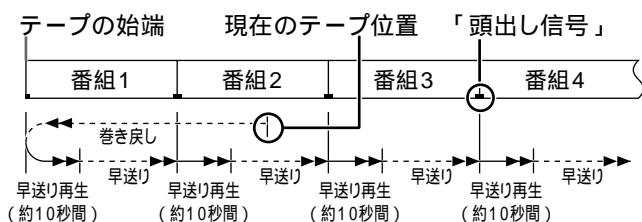
●ナビ登録を確認します。
●確認できなかったときは、テレビ画面に「このカセットにはナビデータがありません ナビボタンでイントロサーチが始まります」と表示されます。

2 **もう一度、プログラムナビ を押す**

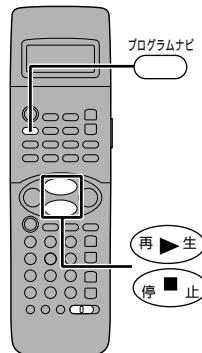
●イントロサーチが始まります。

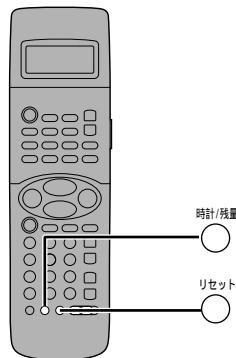
見たい番組が見つかったとき

再生▶ を押す

途中でやめるとき

停止■ を押す

ヒント

●「モード設定」(P84)の「プログラムナビ」を「切」にしているとイントロサーチはできません。
●テープ速度「LS3」で録画された番組は正しくイントロサーチができない場合があります。

■快速イントロサーチ時のビデオの動作

1. テープを始端まで巻き戻す
2. テープの始端から、約10秒間の**早送り再生**をする
3. 早送り再生をやめ、**早送り**をしながら次の「頭出し信号」をさがす
4. 「頭出し信号」を見つけると、そこから約10秒間の**早送り再生**をする

●テープの終端まで、上記の3と4をくり返します。
●テープの終端まで来ると、再びテープの始端まで巻き戻し、停止します。

画面表示を切り換える（オンスクリーン表示）

ビデオを操作したときに、テレビ画面に操作内容やビデオの状態などを約6秒間表示します。
（下記は、表示の一例です）

❶音声モード/自動CM早送り表示/W3次元表示

❷動作状態の表示

- テープの動作を表示

❸チャンネル表示

- チャンネルを切り換えたときなどに表示

❹テープ速度表示

- 残量表示に切り換えたとき（右記）などに表示

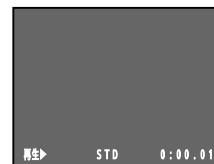
❺テープカウンター/テープ残量表示

- [時計/残量]を押したときに、テープカウンター、テープ残量を表示（右記）

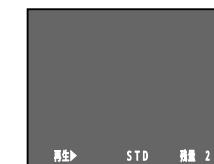
ヒント

- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりする場合があります。また、ビデオの動作が切り換わるときにも乱れる場合があります。

■次のようなときは「オンスクリーン」表示は出ません

- 録画中・スロー再生中・静止画再生中
- 「モード設定」（P84）の「オンスクリーン」を「切」にしているとき。
- D-VHS（デジタル）再生時に、D端子に接続して映像をご覧になるとき。
- チューナー（内蔵テレビ）など、接続したi.LINK機器側から映像をご覧になるとき。

日付/時刻表示

[時計/残量]を押す

- 「自動時刻合わせ」機能（P93）が働いているときは、「秒」まで表示されます。
- ビデオ表示部も現在時刻の表示になります。

テープカウンター表示

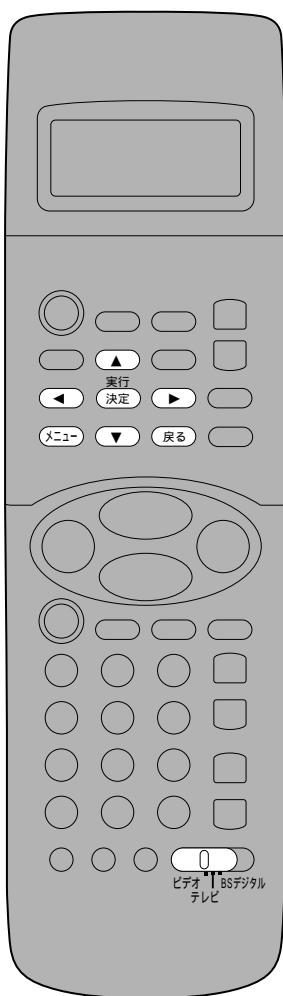
[時計/残量]を2回押す

- 日付/現在時刻の表示が出ている間に続けて押してください。
- テープカウンターが約6秒間表示されます。
- ビデオ表示部もテープカウンターの表示になります。

テープ残量表示

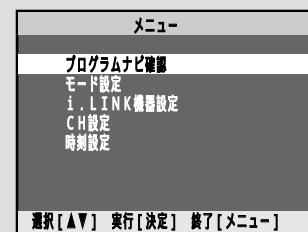
[時計/残量]を3回押す

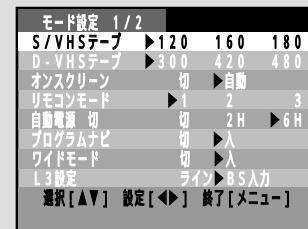
- 日付/現在時刻の表示が出ている間に続けて押してください。
- テープ残量が約6秒間表示されます。
- ビデオ表示部もテープ残量の表示になります。

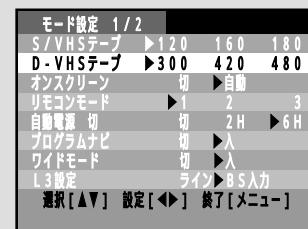
ヒント

- 「モード設定」（P84）の「オンスクリーン」を「切」にしているときは、テレビ画面の表示は出ません。
- テープカウンターの表示になっているときにリモコンの[リセット]を押すと、テープカウンターの値が「0:00.00」になります。

■テープ残量について

- テープの残り時間が表示されます。（目安です）
- 「モード設定」（P84）の「S/VHSテープ」「D-VHSテープ」を必ず正しく合わせておいてください。「ぴったり録画」（P67）や「プログラムナビ」（P74）なども正しく行えません。
- 残量の計算のため、表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。
- テープによっては、正しく表示されない場合があります。
- 残量の計算がされていないとき（カセットを入れた直後など）は、テープ残量は表示されません。（テープ残量の表示にするとすぐに計算を始めます）

便利な機能

モード設定

❇準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**

● メニュー画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「モード設定」を選び、決定/実行 を押す**

●「モード設定」画面が出ます。

3 **▲ ▼ で設定したい項目を選ぶ**

4 **◀ ▶ で設定する**

5 **メニュー を押して終了する**

ヒント

● 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

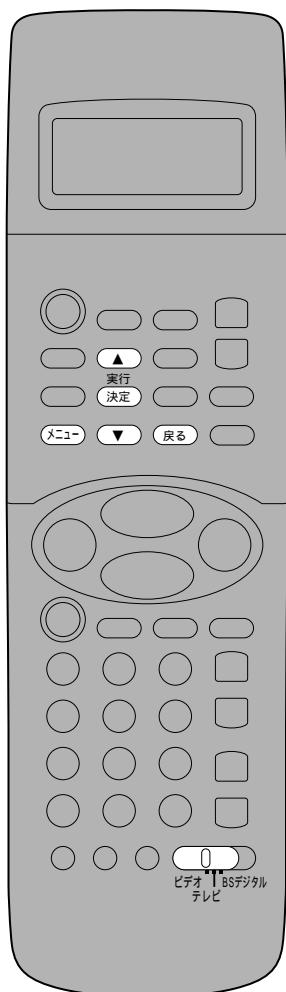
モード設定の項目

	使用可能な方式	項目	選択	初期設定	各項目の内容	参照ページ
「モード設定」画面(1画)	アナログ	S/VHSテープ	120	●	T120(120分)、TC20(コンパクトカセット・20分)のテープや、それより短いテープを使うとき。	67 83
			160		T140(140分)、T160(160分)、TC30(コンパクトカセット・30分)のテープを使うとき。	
			180		T180(180分)を使うとき。	
	デジタル	D-VHSテープ	300	●	DF300のテープや、それより短いテープを使うとき。	83
			420		DF420のテープを使うとき。	
			480		DF480のテープを使うとき。	
	デジタル アナログ	*1オンスクリーン	切		テレビ画面に表示を出さないとき。	83
			自動	●	操作をしたときなどに、約6秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。	
	デジタル アナログ	リモコンモード	1	●	通常はこの位置でご使用ください。	94
			2		複数の当社製ビデオを使用するとき。	
			3		複数の当社製ビデオを使用するとき。	
	デジタル アナログ	自動電源切	切		「自動電源　切」機能を働かせないとき。	–
			2H		約2時間以上何も操作をしなかったときに、自動的にビデオの電源を切るとき。	
			6H	●	約6時間以上何も操作をしなかったときに、自動的にビデオの電源を切るとき。	
	デジタル アナログ	プログラムナビ	切		プログラムナビを働かせないとき。	74
			入	●	プログラムナビリストを利用して録画した番組をさがすとき。	
	デジタル アナログ	ワイドモード	切		テレビのS映像入力端子がS1/S2未対応のとき。	–
			入	●	テレビのS映像入力端子がS1映像端子のときは、ワイドフルモードの映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的にフルモード画面に切り換えられます。	
	デジタル アナログ	L3設定	ライン		後面の外部入力3端子を外部入力端子として使うとき。	23
			BS入力	●	後面の外部入力3端子にBSデジタルチューナー(内蔵テレビ)と接続してアナログ録画するとき。	
「モード設定」画面(2画)	アナログ	S-VHS録画	切		S-VHSのテープに、VHS方式で録画するとき。	49
			入	●	S-VHSのテープに、S-VHS方式で録画するとき。(通常はこの位置)	
	アナログ	S-VHS ET録画	切	●	VHSのテープに、VHSの画質で録画するとき。	49
			入		VHSのテープに、S-VHSの画質で録画するとき。	
	アナログ	カラー	切		白黒録画されているカセットを再生するとき。*3	–
			入	●	通常はこの位置でご使用ください。	
	デジタル アナログ	3次元Y/C	切		動きの速い映像に起こる残像現象をおさえて録画したいとき。	97
			入	●	より高画質で録画できます。(通常はこの位置)	
	デジタル アナログ	3次元DNR	弱		再生画像の輪郭がぼやけるとき。	97
			標準	●	より高画質で再生できます。(通常はこの位置)	
	アナログ	TBC	切		デジタルTBC(タイム・ベース・コレクター)機能を働かせないとき。	97
			入	●	画面のゆれや歪みの少ない安定した画像で再生できます。(通常はこの位置)	
	デジタル	*2字幕	切	●	字幕(クローズドキャプション)機能を解除するとき。	–
			入		CSデジタル放送などの再生時に字幕(クローズドキャプション)の機能を働かせるとき。	
	デジタル	LS3画質	ノーマル	●	通常はこの位置でご使用ください。	97
			ディテール		よりシャープな映像で録画したいとき。	

*1録画中・スロー再生中・静止画再生中はオンスクリーン表示は出ません。また、D-VHS(デジタル)再生時に、D端子に接続して映像をご覧になるときや、チューナー(テレビ)など接続したi.LINK機器側から映像をご覧になる場合も、オンスクリーン表示は出ません。

*2字幕(クローズドキャプション)信号を付加された番組にのみ働きます。

*3オンスクリーン表示は出ません。

便利な機能

i.LINK機器を設定する

本機はi.LINK入出力端子にチューナー（内蔵テレビ）やCSデジタルチューナーなどのi.LINK機器を接続することができます。接続した順にi.LINK機器No.が自動的に割り当てられますので、登録したい順に接続してください。

i.LINK機器一覧

i.LINK機器が正しく接続できているか確認することができます。また、一度登録した設定機器を取り消すこともできます。

❇**準備** ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**
- メニュー画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「i.LINK機器設定」を選び、決定/実行 を押す**

3 **▲ ▼ で「i.LINK機器一覧」が選ばれた状態で、決定/実行 を押す**
- 「i.LINK機器一覧」画面が出ます。
- i.LINK接続をすると、自動的にこの画面に登録されます。
- 機器を接続した順番に、d1～d15まで登録されます。
- 画面の詳細については、下記を参照してください。

i.LINK機器一覧			【1/1】
機器No.	接続	機器名	機種名
d 1	○	チューナー1	TU-BHD100
d 2	－	D-VHS1	NV-DHE10

選択［▲▼］
機器登録削除［取消し］ 終了［メニュー］

4 **メニュー を押す**
- 「i.LINK機器一覧」画面が消えます。

i.LINK機器一覧画面について

❶：ビデオ表示部に表示されるi.LINK機器No.です。（P23）
❷：i.LINK機器の接続状態を表します。
　－：接続されていない、または主電源が切れている状態
　○：接続されている状態

i.LINK機器を登録するには

接続した順にi.LINK機器No.が自動的に割り当てられますので、登録したい順に接続してください。

i.LINK機器No.を変更するには

「i.LINK機器一覧」画面からはi.LINK機器No.を変更することはできません。変更したい場合は、すべてのi.LINKケーブルを外し、一度「i.LINK機器全登録消去」（P89）を行って、再度登録したい順にi.LINK機器を接続してください。

- 全登録消去する場合は、必ずi.LINK機器の接続を外しておいてください。接続されている状態で、「i.LINK機器全登録消去」を行っても再登録されてしまいます。

i.LINK機器の登録を取り消すには

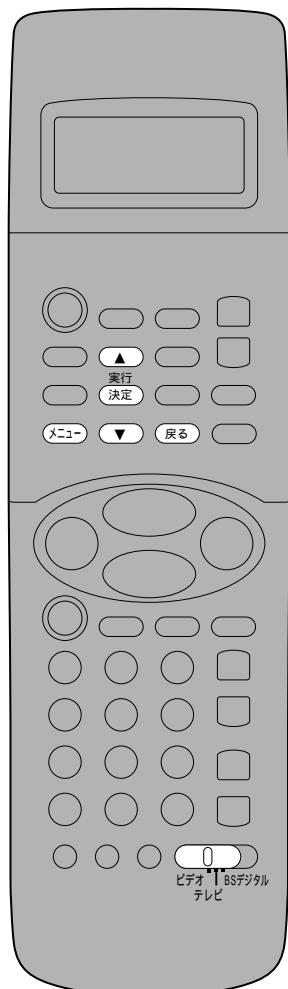
▲▼で取り消したい機器を選び、取消しを押す

- 選んだ機器の登録が取り消されます。
- ビデオ表示部に「d1」など、i.LINK機器No.が表示されている間は、取り消しできません。地上波チャンネルを選局して取り消してください。
- BSデジタル放送の予約があるときや、外部BSチューナーとして登録された機器は取り消しできません。
- 取り消したi.LINK機器が接続されたままの状態にあると、他に接続されているi.LINK機器の電源コードの抜き差しや、i.LINKケーブルの抜き差しで、再度接続されているi.LINK機器として登録されます。

■登録されているすべての機器を取り消したいときは

「i.LINK機器全登録消去」を行って取り消してください。（P89）

ヒント

- 機種名表示は10文字までです。10文字を超える場合は、「･･･」表示になります。
- 本機の電源を切っても、登録番号などは記憶されています。
- 一度接続された機器は、接続解除しても登録されたままなので、必要なくなればi.LINKケーブルを外し、取り消してください。
- 登録できる機器の数は最大15台までです。
- 機器が正しく登録されないときは、本体のリセット（システムリセット）を押してください。
- 戻るを押すと、1つ前の画面に戻ります。
- **本機で操作できるi.LINK機器は、当社製i.LINK対応チューナーとチューナー内蔵テレビとだけです。**

i.LINK機器を設定する（つづき）

外部BSチューナー設定

本機のリモコンでBSデジタルフリーセット予約（P68）を行うときやBS再入力（P23）でBSデジタル放送を録画するときに、どの機器を外部BSチューナーとして使用するのか選ぶことができます。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。
●外部BSチューナーとして設定したいi.LINK機器を接続し、電源を入れる。

1 **メニュー を押す**

●メニュー画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「i.LINK機器設定」を選び、決定/実行 を押す**

●「i.LINK機器設定」画面が出ます。

3 **▲ ▼ で「外部BSチューナー設定」を選び、決定/実行 を押す**

●「外部BSチューナー設定」画面が出ます。
●「i.LINK機器一覧」画面に登録されている機器の中から、チューナーを内蔵している機器の一覧が表示されます。
●画面の詳細については、右ページを参照してください。

4 **▲ ▼ で設定したい機器を選び、設定する**

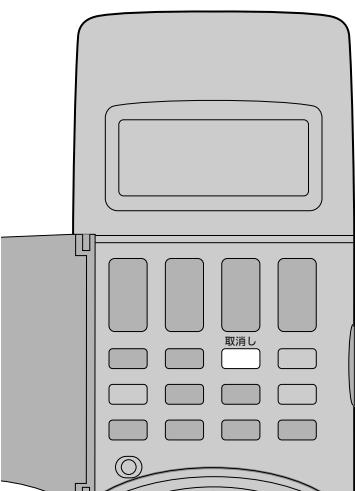
決定/実行 ：外部BSチューナーとして設定する
取消し ：外部BSチューナーとして設定されている機器の登録を解除する

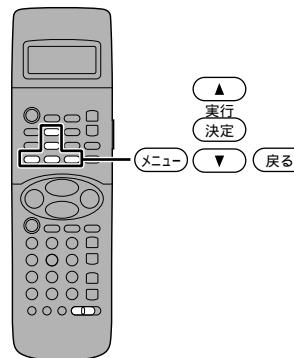
外部BSチューナー設定 【1/1】
BSフリーセット予約する機器を登録します
BS登録機器 チューナー1 TU-BHD100
機器No. 接続 機器名 機種名
d 1 ○ テレビ1 XX-XXXXX
d 2 ○ チューナー1 TU-BHD100
選択［▲▼］ BSチューナー登録［決定］
BS登録削除［取消し］ 終了［メニュー］

●外部BSチューナー設定登録完了画面が出ます。
●登録された機器でBSデジタルフリーセット予約とBS再入力（P23）を使った録画ができるようになります。

5 **メニュー を押す**

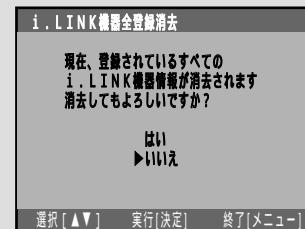
●「外部BSチューナー設定」画面が消えます。
●登録完了画面のときは自動的に消えます。

ヒント

●当社製のチューナー（内蔵テレビ）をお使いの場合は、自動で外部BSチューナーに設定されます。
●当社製以外のチューナー（内蔵テレビ）でもチューナー（内蔵テレビ）と判別できたときには、その機器が外部BSチューナーとして自動的に登録されます。
●ビデオ表示部に「d1」など、i.LINK機器No.が表示されている間は外部BSチューナー設定の変更はできません。地上波チャンネルを選局して外部BSチューナーの設定を変更してください。
●BSデジタル放送の予約があるときは、外部BSチューナー設定の変更はできません。一度BSデジタル予約を取り消してから、外部BSチューナーを設定してください。
● 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

外部BSチューナー設定画面

❶：外部BSチューナーとして登録されている機器の情報を表示します。
- ●ここで登録されている機器を使って、BSフリーセット予約や、BS再入力（P23）からのBSデジタル放送のアナログ、エンコード録画、または再生を行います。

❷：外部BSチューナーの接続状態を表します。
- ー：接続されていない、または主電源が切れている状態
- ○：接続されている状態

i.LINK機器全登録消去

i.LINK登録機器設定で登録されている機器をすべて消去することができます。i.LINK機器No.の順番を変更したいときなどにお使いください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**
- ●メニュー画面が出ます。

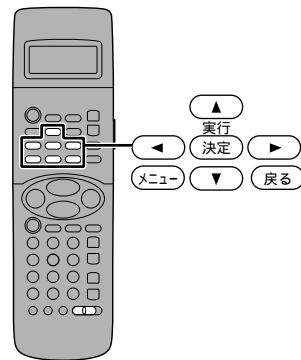
2 **▲ ▼ で「i.LINK機器設定」を選び、決定/実行 を押す**
- ●「i.LINK機器設定」画面が出ます。

3 **▲ ▼ で「i.LINK機器全登録消去」を選び、決定/実行 を押す**

4 **▲ ▼ で「はい」を選び、決定/実行 を押す**
- ●i.LINK機器全登録消去は完了です。

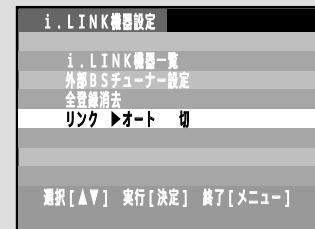
便利な機能

ヒント

- ●ビデオ表示部に「d1」などi.LINK機器No.が表示されている間は取り消しできません。地上波チャンネルを選局して取り消してください。
- ●全登録消去する場合は、必ずi.LINK機器の接続を外しておいてください。接続されている状態で、i.LINK機器全登録消去を行っても再登録されてしまいます。
- ●BSデジタル放送の予約があるときは、消去できません。消去したい場合は、予約を取り消してから行ってください。
- ● 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

i.LINK機器を設定する（つづき）

リンク設定

i.LINK接続されている機器を、直接選ぶか選ばないかの設定を行うことができます。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**
● メニュー画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「i.LINK機器設定」を選び、決定/実行 を押す**
●「i.LINK機器設定」画面が出ます。

3 **▲ ▼ で「リンク」を選び、◀ ▶ で設定する**

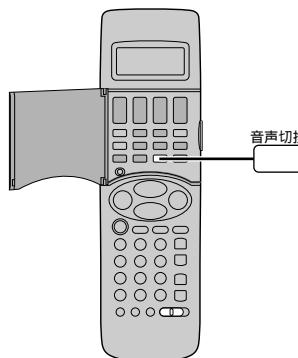
オート：入力を行うi.LINK機器を本機で直接選ぶことができます。通常はこの位置にしておいてください。

切　　：入力を行うi.LINK機器を本機で直接選びません。ただし、他の機器から本機を選んだ場合は入力できます。

ヒント

●「オート」に設定している場合は、ビデオ表示部に本機が選んでいるi.LINK機器No.が表示されます（d1〜d16）。

●「切」に設定している場合は、出力されている信号があれば、その信号を入力します。このときビデオ表示部にi.LINK機器No.が表示されます（d1〜d16）。出力されている信号が無い場合は入力を行いません。このとき、ビデオ表示部には「dーー」と表示されます。

●i.LINK入出力端子から入力を行っているときは、リンク設定の変更はできません。
● 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

音声を切り換える

本機では、「ステレオ」音声の受信/再生中は「ステレオ」音声が自動的に選ばれます。
「二重」音声の受信/再生中は「主音声」が自動的に選ばれます（「2カ国語オート再生」機能）。別の音声で聞きたいときは、下記の操作で音声を選んでください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

音声切換 を押して、聞きたい音声を選ぶ
●押すごとに右ページのように切り換わります。
●電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

ヒント

●**選んだ音声だけを録音することはできません。**
また、録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
●**ノーマル音声のみのテープの再生中は、音声を選べません。**
音声表示も出ません。

「2カ国語オート再生」機能について

「二重」音声の受信/再生中は「主音声」が自動的に選ばれます。
次のようなときは、「2カ国語オート再生」機能は働きません。
●本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないテープを再生するとき。
●外部入力録画（BSデジタル/CSを含む）をしたテープを再生するとき。
● 音声切換 を押して、音声を選んだあと。
選んだ音声をビデオが記憶しているためです。
一度電源を切ると、この機能は働くようになります。
●番組の途中から再生を始めたとき。
この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。音声切換 で音声を選んでください。

受信時

デジタル

- **本機のチューナーで受信中、または外部入力（BS再入力を含む）中にテープ速度「STD」か「LS3」を選ぶと、「二重」音声は「主音声+副音声」になり、音声を切り換えることができません。（「2カ国語オート再生」機能は働きません）このときはテレビ側で受信チャンネルを選び、聞きたい音声を選んでください。再生時も「2カ国語オート再生」機能が働きませんので、音声切換で音声を選んでください。**

アナログ

- **i.LINK機器を選んで、BS再入力を設定していないときに、テープ速度「標準」か「3倍」を選ぶと、「二重」音声は「主音声+副音声」になります。（「2カ国語オート再生」機能は働きません）このときはBSデジタルチューナー（内蔵テレビ）、CSデジタルチューナー側で受信チャンネルを選び、聞きたい音声を選んでください。**

本機のチューナーで受信中の音声	テレビ画面の表示	選ばれた音声
ステレオ	ステレオ　左 右	ステレオ音声
	ステレオ　左	左音声
	ステレオ　　右	右音声
二重（2カ国語放送など）	二　重　左 右	主音声＋副音声
	二　重　左	主音声
	二　重　　右	副音声
モノラル（外部入力チャンネルも含む）	音　声　左 右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　右	右音声

- 表中の　　の欄が、「2カ国語オート再生」機能で自動的に選ばれる音声です。

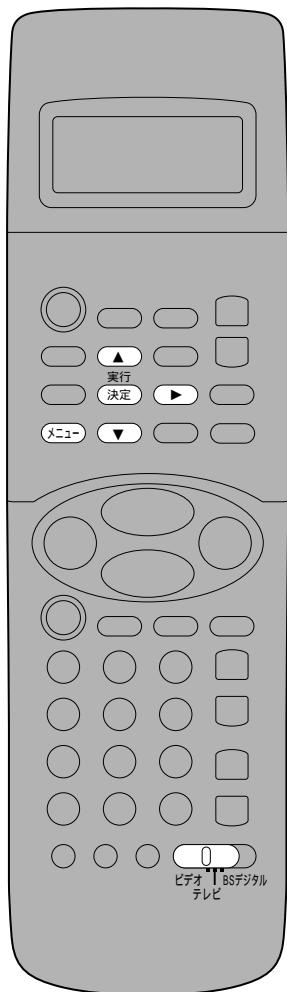
再生時

デジタル

i.LINK入力よりテープ速度でD-VHS自動を選んで録画したBSデジタル放送番組を再生する場合、本機で音声を切り換えることができないときは、チューナー（内蔵テレビ）側で切り換えてください。

再生中の音声	テレビ画面の表示	選ばれた音声
ステレオ	音　声　左 右	ステレオ音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　右	右音声
二重（2カ国語放送など）	音　声　左 右	主音声＋副音声
	音　声　左	主音声
	音　声　　右	副音声
モノラル（外部入力チャンネルも含む）	音　声　左 右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　右	右音声

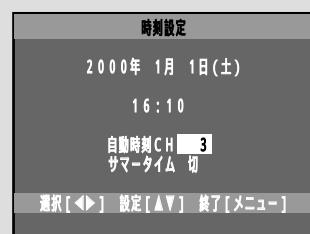
- D-VHS（デジタル）録画した番組を再生するときは「2カ国語オート再生」機能は働きません。このときは、音声切換で音声を選んでください。

アナログ

再生中の音声	テレビ画面の表示	選ばれた音声
ステレオ	音　声　左 右	ステレオ音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　右	右音声
	音　声	ノーマル音声
	音　声　MIX	ハイファイ音声+ノーマル音声
二重（2カ国語放送など）	音　声　左 右	ハイファイ音声（主+副）
	音　声　左	主音声
	音　声　　右	副音声
	音　声	ノーマル音声（主）
	音　声　MIX	ハイファイ音声+ノーマル音声
モノラル	音　声　左 右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　右	右音声
	音　声	ノーマル音声
	音　声　MIX	ハイファイ音声+ノーマル音声

- 表中の　　の欄が、「2カ国語オート再生」機能で自動的に選ばれる音声です。

時刻を合わせ直すとき（時刻設定）

必要な場合は、下記の手順で時刻を合わせてください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BSデジタル を「ビデオ」にする。

1 **メニュー を押す**

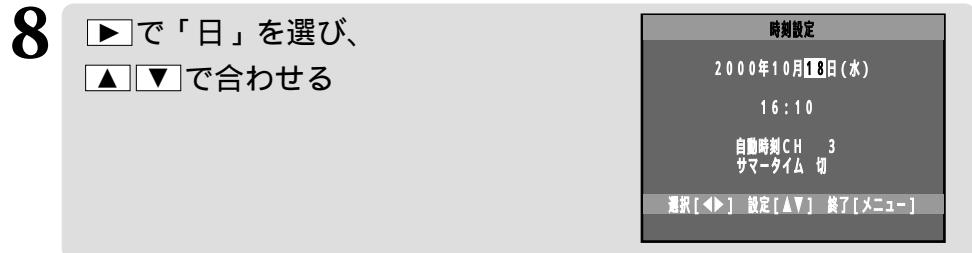
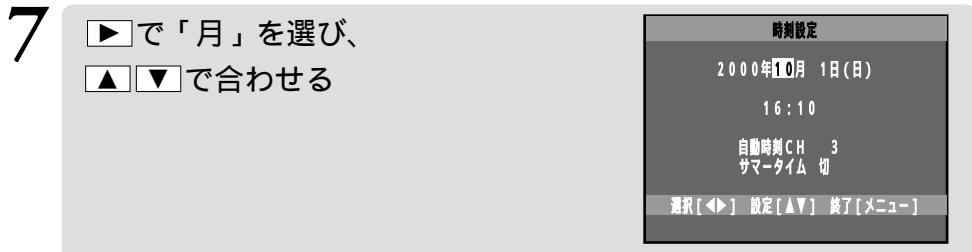
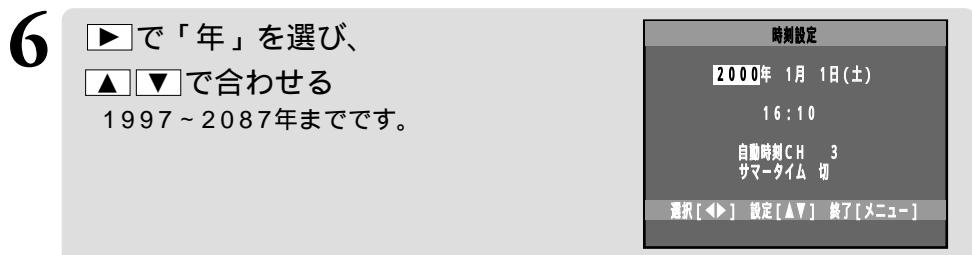
● メニュー画面が出ます。

2 **▲ ▼ で「時刻設定」を選び、決定/実行 を押す**

●「時刻設定」画面が出ます。

3 **▲ ▼ で、「時刻」を合わせる**

● 24時間表示です。

● 押し続けると30分単位で変わります。

4 **▶ で「自動時刻CH」を選び、▲ ▼ でNHK教育テレビに合わせる**

●「表示チャンネル」で合わせてください。

5 **▶ で「サマータイム」を選び、▲ ▼「入」か「切」を選ぶ**

6 **[▶]で「年」を選び、[▲][▼]で合わせる**

● 1997〜2087年までです。

7 **[▶]で「月」を選び、[▲][▼]で合わせる**

8 **[▶]で「日」を選び、[▲][▼]で合わせる**

9 **時報に合わせて[メニュー]を押す**

「自動時刻合わせ」機能について

「自動時刻CH」をNHK教育テレビに合わせておくと、毎日12、19時に、時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて時刻の誤差を自動修正します。

● 2分以内の誤差が修正されます。

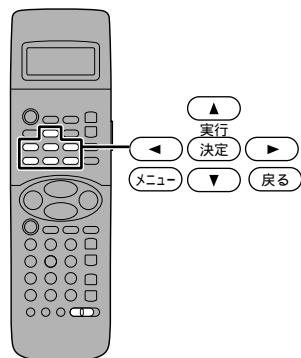
■次のようなときは働きません

- ●「自動時刻CH」を「ーー」にしているとき。(「自動時刻合わせ」機能が解除されます)
- ●時報が放送される時刻にビデオの電源が入っているとき。
- ●時報のバックに音楽が流れているとき。
- ●「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。

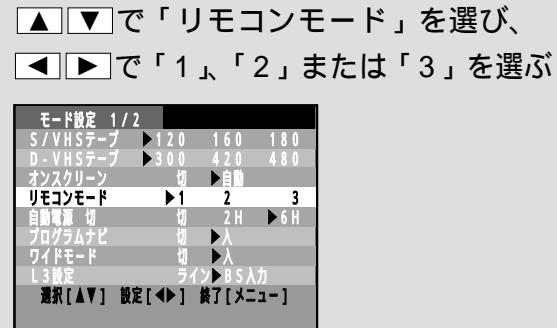
■「自動時刻CH」を「自動」にすると、ビデオが自動的にNHK教育テレビをさがし出します

(地域により、さがし出すまでに数週間かかる場合もありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします)

- ●電源コードを抜いた後や停電した後などは、「自動時刻合わせ」機能が働いていない状態になります。

「サマータイム」機能について

「入」にすると時刻を1時間すすめます。「切」にすると元に戻ります。将来、サマータイムが実施されたときにお使いいただけます。現在は「切」にしておいてください。(2000年7月現在)

複数の当社製ビデオを使用するために

リモコンモードを変えておくと、複数の当社製ビデオを同じ場所で別々に操作できます。
当社製ビデオは、ほとんどが同じ方式のリモコンを使用しているため、同じ場所で操作しようとすると、お互いのリモコンの影響で正しく操作できません。このときは、下記の操作でリモコンモードを変更してください。
●通常は、工場出荷時のままリモコンモード「1」でご使用ください。

本体のリモコンモードを変更するとき

準備 ● [ビデオ/テレビ/BSデジタル] を「ビデオ」にする。

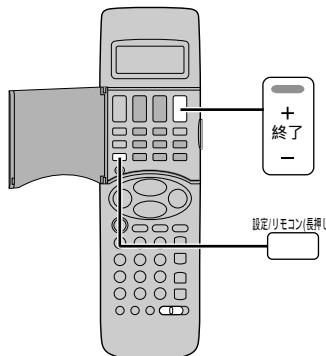
1 **[メニュー] を押す**
●メニュー設定画面が出ます。

2 **[▲][▼] で「モード設定」を選び、[決定/実行] を押す**
●「モード設定」画面が出ます。

3 **[▲][▼] で「リモコンモード」を選び、[◄][►] で「1」、「2」または「3」を選ぶ**

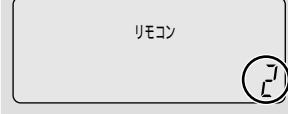
モード設定 1/2

S/VHSテープ	▶120	160	180
D-VHSテープ	▶300	420	480
オンスクリーン	切	▶自動	
リモコンモード	▶1	2	3
自動電源 切	切	2H	▶6H
プログラムナビ	切	▶入	
ワイドモード	切	▶入	
L3設定	ライン	▶BS入力	

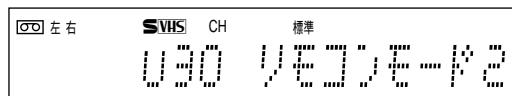
選択［▲▼］ 設定［◄▶］ 終了［メニュー］

4 **[メニュー] を押す**

ヒント

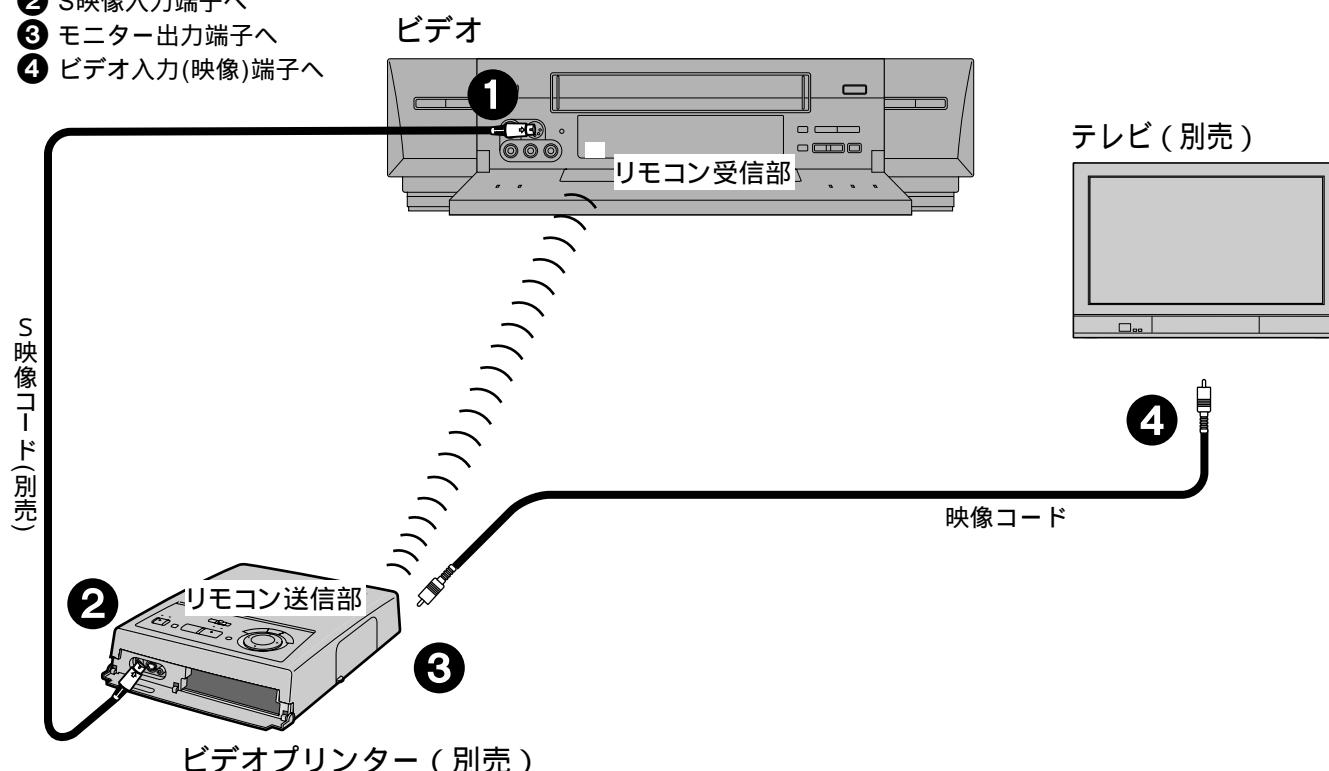
● [戻る] を押すと、1つ前の画面に戻ります。

リモコンのリモコンモードを変更するとき

準備 ● [ビデオ/テレビ/BSデジタル] を「ビデオ」にする。

1 **[設定/リモコン(長押し)] を約2秒以上押し続け、さらに3回押す**

2 **[+終了−] で「1」「2」または、「3」を選ぶ**

3 **リモコンのふたを閉る**

こんなとき

■操作できずに、ビデオ表示部に「U30」表示が出るとき
ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが異なっていますので、リモコン側のリモコンモードをビデオ本体に合わせてください。
例：本体のリモコンモードが「2」になっているとき

●複数の当社製ビデオを同じ場所でご使用の際、目的のビデオを操作しようとすると別のビデオに上記のような表示が出る場合があります。（ビデオの操作には影響はありません）
●この表示は約3秒間表示され、その後元の状態に戻ります。（予約内容や録画などには影響ありません）

ビデオプリンターで静止画像をプリントする

専用のプリンター出力(S映像)端子にビデオプリンター（別売）を接続すると、お気に入りの場面を手軽にプリントすることができます。（ビデオプリンターの説明書もお読みください）

ビデオコントロール（ビデオ連動）機能

■ビデオプリンター側の機能です

当社製の「ビデオコントロール」機能付きビデオプリンター（2000年7月現在、NV−MP55のみ）を使用すると、ビデオプリンターの「メモリー」ボタンを押してプリントしたい画像を選んだときに、ビデオプリンターのリモコン送信部からビデオに「一時停止」信号を送ることができます。

- ビデオが静止画再生になり、プリント中にテープが進んでしまうことを防ぎます。
- プリントが終わったら、再生▶または一時停止/スロー❚❚/❚▶を押して、通常再生に戻してください。

■正しく働かせるためには、以下の設定・確認が必要です

- ビデオプリンターの「ビデオコントロール」スイッチを「ビデオデッキ」に設定しておいてください。
- ビデオのリモコンモードは「リモコン1」に設定しておいてください。
- 複数の当社製ビデオをご使用の場合は、ビデオプリンターと接続しているビデオのリモコンモードを「リモコン1」に設定し、他のビデオを「リモコン2」または「リモコン3」に設定してください。
- ビデオプリンターのリモコン送信部がビデオのリモコン受信部に向いていること、信号を妨げるようなものが間にないことなどをご確認ください。

■録画中は働かないようにしてください

録画中であってもビデオに「一時停止」信号が送られますので、ビデオプリンターの「メモリー」ボタンを押すごとに録画の一時停止にしてしまいます。

- ビデオプリンターの「ビデオコントロール」スイッチを必ず「切」に設定し、この機能が働かないようにしておいてください。

お願い

- 「ビデオコントロール機能」を働かせるときは、ビデオプリンターのリモコン送信部をビデオの方に向けてください。
- ビデオプリンターのビデオコントロール機能について、詳しくはビデオプリンターの説明書をお読みください。
- あなたが制作した作品や撮影した映像以外からプリントしたものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ヒント

■別売品について

S映像コード：RP-CVS0G20（2m）

- プリンターとテレビを接続する映像コードはビデオプリンターに付属のものをお使いください。

よりきれいな映像をお楽しみいただくために

再生画面にノイズが出るとき

次の4つの要素が考えられます。

モザイク状のノイズ

白い帯状のノイズ

画面全体に出るノイズ

1　トラッキングがずれている
（モザイク状のノイズが出たり、白い帯状のノイズが出るときなど）
下記の「トラッキング調整」を行ってください。

2　D-VHS（デジタル）再生が最適化されていない
（モザイク状のノイズが出るときなど）
下記の「D-VHS（デジタル）再生の最適化」を行ってください。

3　ビデオヘッドがよごれている
（モザイク状のノイズが出たり、画面全体にノイズが出るときなど）
ビデオヘッドクリーナー（別売）で、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

4　テープがいたんでいる
ビデオヘッドがよごれるだけでなく、故障の原因となるおそれがあります。いたんだテープは使用しないでください。

トラッキング調整

デジタル　アナログ

再生中に、
チャンネル［∨］［∧］のどちらかを押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- チャンネル［∨］［∧］を2つ同時に押すと、自動調整に戻ります。
- 通常は自動調整されていますが、別のビデオで録画されたカセットを再生すると、ずれやすくなります。

ヒント

- 静止画/スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。（アナログ再生時のみ）
- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に切り換わることがあります。（アナログ再生時のみ）
- テープによっては、調整しきれない場合があります。
- リモコンのビデオチャンネル［∧］［∨］でも同様の調整をすることができます。

D-VHS(デジタル)再生の最適化

デジタル

再生中に、
本体の［録画時間］を3秒以上押す

- 通常は自動で最適化されていますが、別のビデオで録画されたテープを再生すると、ノイズが出やすくなります。

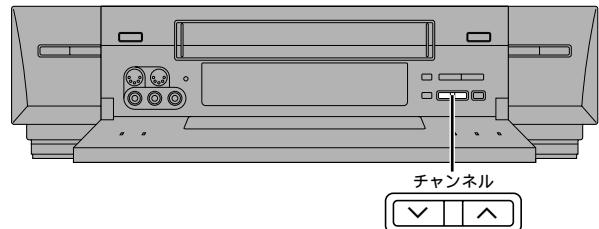
ヒント

- テープによっては、調整しきれない場合があります。

ビデオヘッドをクリーニングする

ビデオヘッドクリーナー（別売）をビデオに入れ、録画の操作を約10秒間行う。
ヘッドクリーニングを行ったら、もう一度録画、再生してみてください。

- まだノイズが出るときは、もう一度ヘッドクリーニングを行ってください。
- 3回くり返し行っても効果がない場合は、販売店にご相談ください。

ヒント

■別売品について
ビデオヘッドクリーナー：VFK0923FM、VFK0923FS

静止画面が上下にゆれるとき

アナログ

静止画面の上下のゆれは、ビデオの垂直同期を調整すると止まる場合があります。

静止画再生中に、
チャンネル[∨][∧]のどちらかを押し続ける

●ゆれが止まるまで押し続けてください。
●チャンネル[∨][∧]を2つ同時に押すと元の状態に戻ります。

ヒント

●D-VHS(デジタル)録画した画像には働きません。
●「モード設定」(P84)の「TBC」を「入」にしているときは働きません。
●テレビの垂直同期も調整してみてください。
（テレビの説明書を確認するか、お買い上げの販売店にご相談ください）
●テレビによっては、調整しきれない場合があります。
●リモコンのビデオチャンネル[∨][∧]でも同様の調整をすることができます。

デジタルTBC機能

アナログ

本機にはデジタルTBC機能があります。繰り返し録画したテープや、ビデオカメラで撮影したテープの再生時の画面の細かいゆれ、ゆがみをおさえます。

■デジタルTBC機能

のびたり変形したりしたテープの再生時や、録画/再生時にテープの走行が不安定になったときなどは、再生画像が左右にゆれたり、画面がゆがんだりする場合があります。「モード設定」（P84）の「TBC」機能を「入」にしておくと、画面のゆれや歪みの少ない安定した画像で再生することができます。（通常は「入」にしてお使いください）

ヒント

●D-VHS(デジタル)録画した画像には働きません。

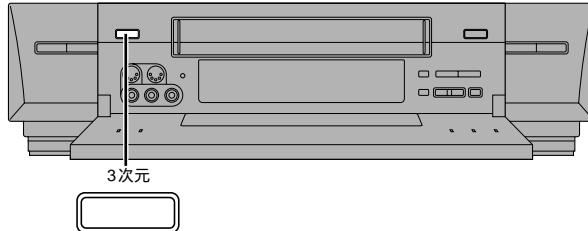
W3次元機能

デジタル アナログ

本機にはW3次元機能があります。ワイドテレビや大画面テレビに対応した、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

■「3次元Y/C分離」機能

放送局から送られてくる映像信号の「Y信号（輝度信号）」と「C信号（色信号）」とを正確に分離し、ノイズをおさえて、すっきりきれいに録画できます。

●アナログ録画時、D-VHS（デジタル）録画時に働きます。(i.LINK入力からD-VHS自動を選んで録画した場合は働きません)
●動きの早い映像を録画するときに起こる残像現象を軽減したいときは、「モード設定」（P84）の「3次元Y/C」を「切」にしてください。

■「3次元DNR（ノイズ・リダクション）」機能

テープの映像信号に混入している輝度ノイズ（ちらつき・ざらつき）や色ノイズ（色にじみ・ざわつき）を取り除き、よりくっきりとしたきれいな映像で再生できます。

●アナログ再生時、D-VHS（デジタル）録画時に働きます。(i.LINK入力からD-VHS自動を選んで録画した場合は働きません)
●再生映像のりんかくがぼやけるときは、「モード設定」（P84）の「3次元DNR」を「弱」にしてください。
●テレビでよりきれいな映像を映し出すための機能ですので、本機を再生側ビデオとして編集するときには、W3次元機能を解除しておいてください。

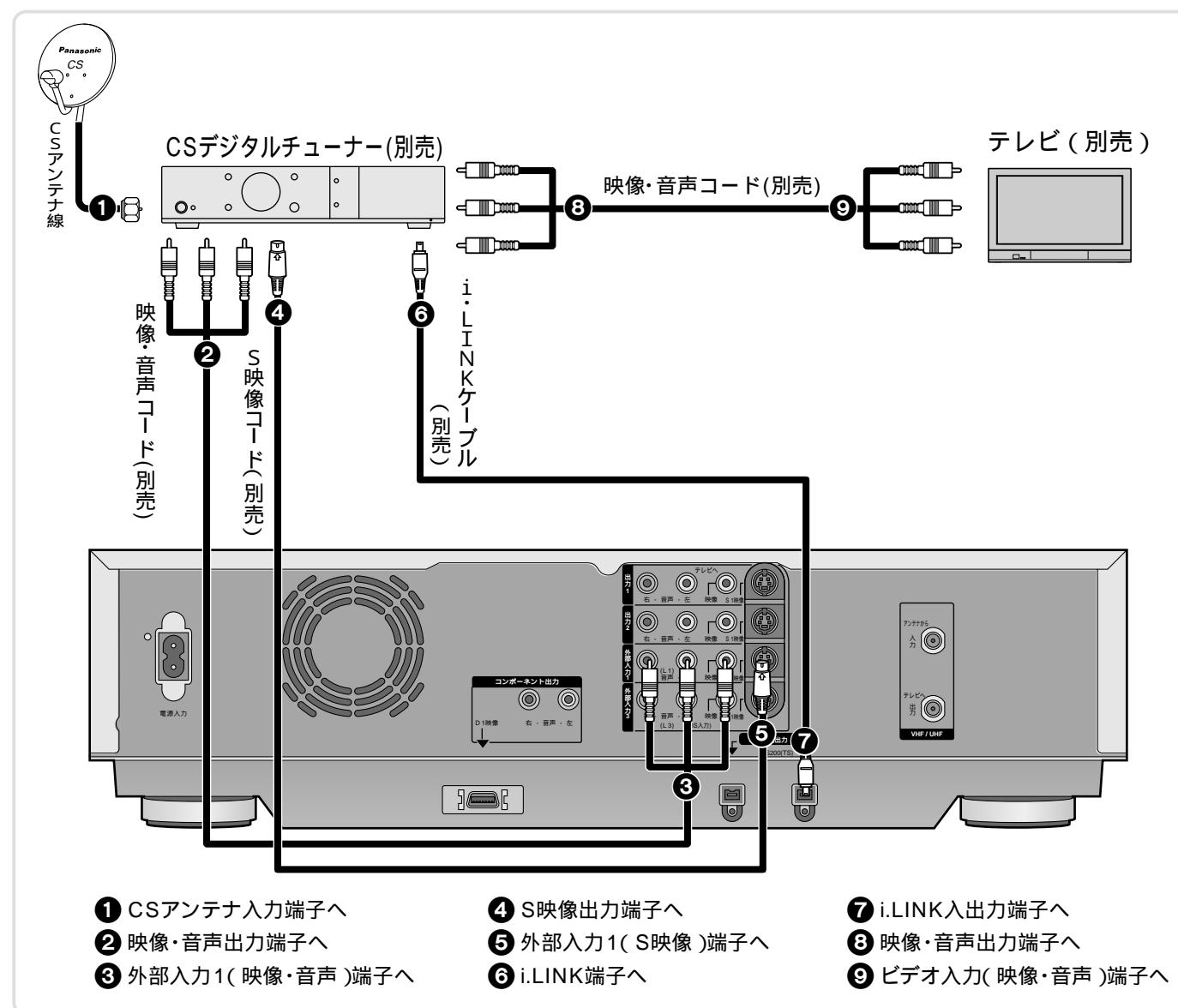
[3次元]を押す

●テレビに「3次元DNR 入」または「3次元DNR 切」の表示が出ます。
●[3次元]を押すごとに「入」と「切」が切り換わります。
●D-VHS（デジタル）録画時は[3次元]を押しても常に「入」のままです。「モード設定」（P84）の「3次元DNR」で「弱」、「標準」のみ切り換えることができます。

LS3画質設定

モード設定（P84）の「LS3画質」を「ディテール」にすると、映像をより細部まで再現させ、シャープな映像で録画することができます。

●動きの速い映像を録画したときは、再生時にデジタルノイズが出ることがあります。通常は「ノーマル」にしておいてください。

CSデジタル放送を録画する

●CSデジタル放送の視聴・録画には、専用のCSデジタルチューナー（別売）が必要です。さらに、使用する機器ごとにCSデジタル放送会社との受信契約が必要となります。（詳しくは、CSデジタル放送会社にご相談ください）
●CSアンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。
●CSデジタルチューナーの説明書もお読みください。
●接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。

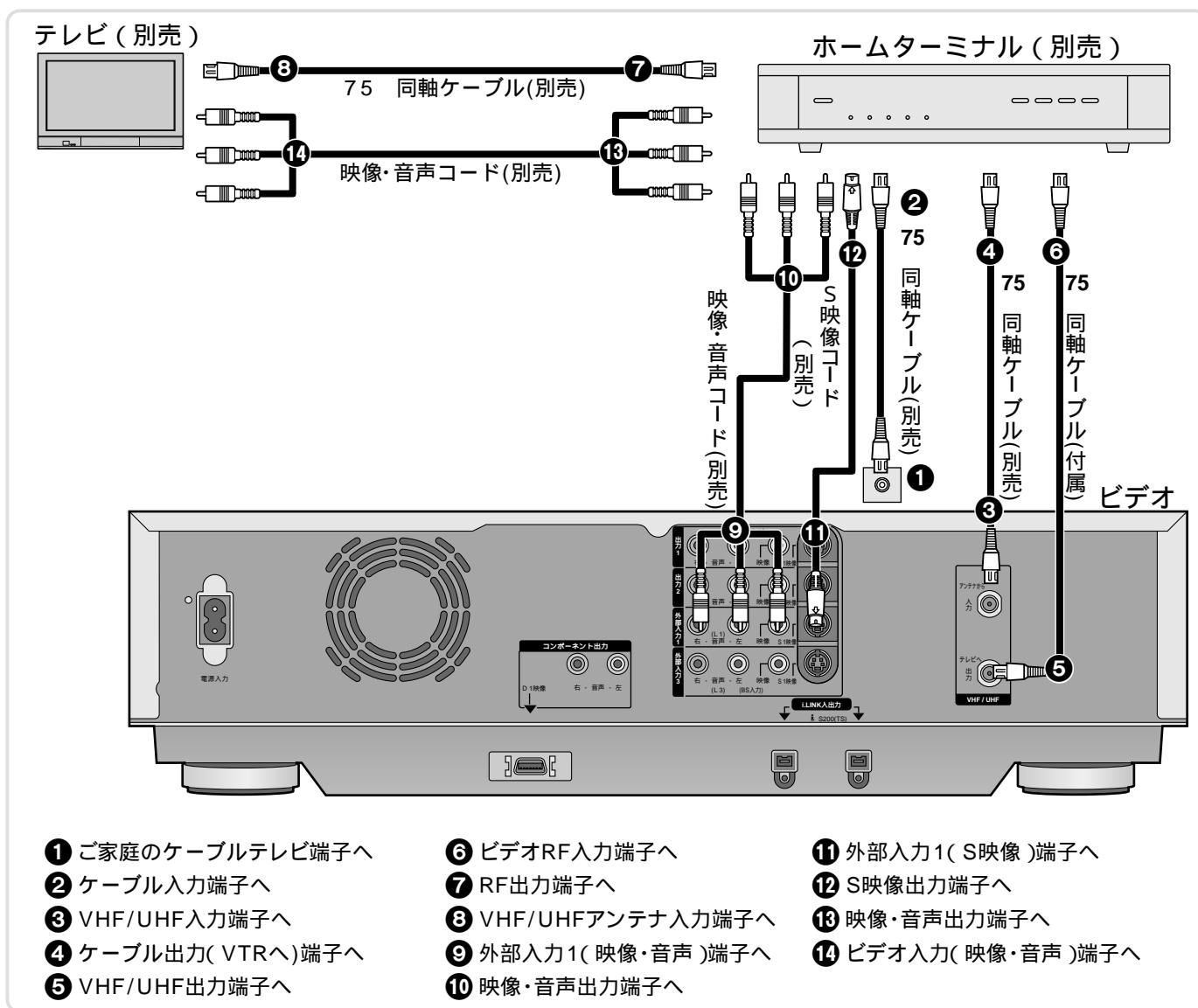
下記の順番で確実に接続してください。

ヒント

● CSデジタルチューナーとBSデジタルチューナー（内蔵テレビ）の両方をi.LINK接続してお使いの場合、予約録画が正しく実行されないことがあります。CSデジタルチューナーをご使用後は、CSデジタルチューナーの操作でリンク（P108）を解除してください。詳しくは、CSデジタルチューナーの説明書をお読みください。BSデジタルチューナー（内蔵テレビ）をご使用の後は、[i.LINK]で、地上波放送のチャンネルを選んでおいてください。
● CSデジタルチューナーにi.LINK端子がないときは❻、❼は不要です。

■別売品について

映像・音声コード：RP-CVP3G20（2m）
S映像コード：RP-CVSOG20（2m）
i.LINKケーブル：RP-CDE4G15（1.5m）
i.LINKケーブル：RP-CDE4G30（3m）

CATV放送を録画する

●CATV放送を視聴・録画するときは、CATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。(詳しくは、CATV会社にご相談ください)
●CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
●CATV放送の受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
●ホームターミナルの説明書もお読みください。
●接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。

下記の順番で確実に接続してください。

❶ ご家庭のケーブルテレビ端子へ
❷ ケーブル入力端子へ
❸ VHF/UHF入力端子へ
❹ ケーブル出力(VTRへ)端子へ
❺ VHF/UHF出力端子へ
❻ ビデオRF入力端子へ
❼ RF出力端子へ
❽ VHF/UHFアンテナ入力端子へ
❾ 外部入力1(映像・音声)端子へ
❿ 映像・音声出力端子へ
⓫ 外部入力1(S映像)端子へ
⓬ S映像出力端子へ
⓭ 映像・音声出力端子へ
⓮ ビデオ入力(映像・音声)端子へ

ヒント

●受信チャンネル設定を正しく行ってください。
特に、各放送局のガイドチャンネルの設定を行っておかないと、Gコード予約ができませんのでお気を付けください。(「マニュアルチャンネル設定」、P30)

●リモコンの「予約チャンネル」を表示させてください。
工場出荷時には、CATVチャンネルの予約チャンネル表示はすべてとばされています。そのままではフリーセット予約ができません。(「リモコンの予約チャンネル表示を設定する」、P73)

●有料放送を受信するときは、ビデオの入力を切り換えてください。
有料放送を本機のチューナーで受信してもきれいに映りません。ホームターミナルを接続した外部入力チャンネル（上記の接続例の場合、外部入力チャンネル「L1」）に切り換えてください。(詳しくは、CATV会社にご相談ください)

■別売品について
映像・音声コード：RP-CVP3G20（2m）
S映像コード：RP-CVSOG20（2m）
75Ω同軸ケーブル：VUA7051

故障かな？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(P111)にお問い合わせください。

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
電　源		
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントから外れている。	20、21
電源は入っているのに、ビデオが操作できない	● 予約録画の待機中になっている。(ビデオ表示部に「予約」表示が出ている) →**タイマー予約 切/入** を押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消す。 ● 各種安全装置が働いている場合があります。 →電源を切り、電源プラグをコンセントから外し、約5分後、再びコンセントに差し込んでから電源を入れてみる。(直る場合があります)	73 —
電源が自動的に切れた	●「自動電源 切」機能が働いている。(不要な電力の消費をおさえます) →**ビデオ電源** を押し、電源を入れる。 ● 各種安全装置が働いている。 →**ビデオ電源** を押し、電源を入れる。	85 —
カセット		
カセットが入らない	● 電源プラグがコンセントから外れている。 ● テープの見える面を上にして入れていない。	20、21 38
カセットが取り出せない	● 予約録画の待機中、または実行中になっている。(ビデオ表示部に「予約」表示が出ている) →どうしても取り出したいときは、**タイマー予約 切/入** を押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消す。 ● 録画中になっている。 →どうしても取り出したいときは、**停止■** を押し、録画をやめる。 ● 各種安全装置が働いている。 →1. **ビデオ電源** を押し、ビデオの電源を切る 2.電源プラグを抜く 3.約5分後に電源プラグを差し込み、ビデオの電源を入れる 4. **▲取出し** を押す 上記の操作を2〜3回くり返してみてください。それでも取り出せないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	73 46、49 50、53 —
D-VHSテープを入れてくださいと表示された	● D-VHS(デジタル)録画する場合は、D-VHSカセットを入れる。 ● アナログ録画する場合は、テープ速度で「標準」か「3倍」を選ぶ。 ● BSデジタル放送をアナログ録画する場合は、BS再入力の設定をしておく。	36 37 23
テレビ画面		
テレビにビデオの画面が出ない	● テレビの入力をビデオを接続している入力にしていない。 →ビデオを接続している入力に切り換える。	24
ビデオを接続したら、テレビの映りが悪くなった	● テレビとビデオに電波を分けたため。 →ブースター(市販品)などを使用すると改善されます。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください)	—

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
再　生		
アナログ再生できない	● マルチビュー放送は、アナログ録画時に選んでいたチャンネルしか再生することができません。	49
D-VHS(デジタル)再生できない	● BS再入力からD-VHS(デジタル)録画したマルチチャンネル放送は、録画時に選んでいたチャンネルしか再生することができません。 ● 本機以外でD-VHS(デジタル)録画されたカセットは正しく再生できない場合があります。 ●「LS3」モードで録画した番組は、画面が正常に映るまで多少時間がかかることがあります。 ● 本機でD-VHS（デジタル）録画・再生できる信号方式は、BSデジタル放送の信号方式と異なるため、そのままでは映りません。 チューナー(内蔵テレビ)と接続する必要があります。 BSデジタル放送をD-VHS（デジタル）録画したカセットを再生するときは、チューナー(内蔵テレビ)の入力をD-VHSに切り換えてください。 当社製チューナー(内蔵テレビ)とi.LINK接続している場合は、チューナー(内蔵テレビ)の入力切換を数回押し、「D-VHS」を選んでください。	53 － － 20、21
BSデジタル放送のマルチビュー放送、データ放送、マルチ音声などが再生できない	● BS再入力からD-VHS(デジタル)録画した場合は再生することができません。 ● 当社製チューナー(内蔵テレビ)の場合は、「マルチビュー録画オン・オフ」設定が「オフ」になっている場合があります。詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。	53 －
再生画面がチラチラする	● ビデオヘッドがよごれている。 →ビデオヘッドクリーナー(別売)でクリーニングする。 ● ビデオヘッドが磨耗している。 →ビデオヘッドの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。 ● テープが古い、またはいたんでいる。	96 － 96
再生していると、とつぜん静止画になることがある 再生画面にノイズが出る	● D-VHS再生の場合は、番組と番組のつなぎ目部分など、正しい画面が出るまで静止画になったり、モザイク状のノイズが出る場合があります。 ● トラッキングがずれている。 →トラッキングを調整する。 ● D-VHS(デジタル)再生が最適化されていない。 →最適化する。	－ 96 96
再生画面が上下にゆれる	● テレビの垂直同期を調整してみる。 (調整方法については、テレビの説明書をお読みになるか、お買い上げの販売店にご相談ください)	－
再生画面がブルーバックになる	● テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ● よごれたり、いたんだりしたテープを使用すると、ビデオが故障し、ブルーバックになる場合があります。 →お買い上げの販売店にご相談ください。	－ －
早送り・巻き戻し・静止画・スロー再生が、自動的に解除された	● 早送り・巻き戻し・スロー再生は、約10分で解除されます。 静止画再生は、約5分で解除されます。(テープとビデオヘッドの保護のためです)	43

故障かな？(つづき)

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
録　画		
アナログ録画できない	● テープ速度で「HS STD」(D-VHS自動)、「STD」、「LS3」のいずれかを選んでいる。 →「標準」または「3倍」を選ぶ。	46
	● BS再入力を設定していない。 →BS再入力を設定する。	23
D-VHS(デジタル)録画できない	● D-VHSカセットを入れていない。 →D-VHSカセットを使う。	36
	● 録画禁止の番組を選んでいる。 →このような番組は録画できません。	53
	● テープ速度で「標準」または「3倍」を選んでいる。 →「HS STD」(D-VHS自動)、「STD」、「LS3」のいずれかを選ぶ。	50、52
テレビ番組が録画できない	● 録画したい番組が放送されているチャンネルを選んでいない。 →録画したい番組のチャンネルを選ぶ。	46、48 50、52
ダビング		
テープに黒い帯状のノイズが録画された	● 再生側ビデオがテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。 →再生側のビデオをテレビから離す。	56～60
ダビングできない	● 正しく接続していない。	56～60
	● 録画機で、再生機を接続した外部入力チャンネルまたはi.LINK機器を選んでいない。 →再生機を接続した外部入力チャンネルまたはi.LINK機器を選ぶ。	56～60
	● i.LINK接続をしたDV機器からダビングしようとしている。 →DV機器はi.LINK接続してもダビングできません。	56
	● コピー禁止やコピー制限のかかっているものはD-VHS(デジタル)ダビングすることはできません。	56
編集後の映像が、乱れたり、色合いが悪くなったりする	● コピーガードがかかっている。 →市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。コピーガードのかかった信号を本機に入力しても、正しく録画できません。	56、57
予約録画		
Gコード予約ができない	● ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 →ガイドチャンネルを正しく設定する。	31
	● 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。 →ガイドチャンネルを正しく設定する。 また、不要なチャンネルは削除する。	31、33
	● 時刻が合っていない。 →時刻を合わせ直す。	92

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
予約録画(つづき)		
予約録画が正しくできない	● 予約内容(予約チャンネルや開始、終了時刻など)が間違っている。 →手順どおり正しく予約し直し、予約内容を確認する。 ● 予約録画の待機状態になっていない。(ビデオ表示部に「予約」表示が出ていない) → **タイマー予約 切/入** を押し、ビデオ表示部に「予約」表示を出す。 ● 予約録画の時間帯が重複している。 →予約時間の重複している(アイコンの付いている)予約は、実行されません。 ● 時刻が合っていない。 →時刻を合わせ直す。 ● 録画禁止の番組を予約している。 →録画禁止番組のD-VHS(デジタル)録画はできません。	63、64 68 73 71 92 53
BSデジタル放送の予約録画が正しくできない	● 正しくi.LINK接続していない。 →正しく接続する。 ● 予約実行時にチューナー(内蔵テレビ)の主電源が切れているか「スタンバイ」になっている。 →予約実行時はチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、待機状態にしておく。 ● 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)を使っている。 →当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いになると、操作方法が異なり正しく予約録画できない場合があります。	20、21 69 －
i.LINK予約を正しくしたのに、予約が実行されない	● 時刻が合っていない。 →時刻を秒まで正確に合わせるには、「自動時刻合わせ」機能を働かせる。(「自動時刻CH」をNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします) ● チューナー(内蔵テレビ)とCSデジタルチューナーの両方をi.LINK接続してお使いの場合、予約録画が正しく実行されない場合があります。CSデジタルチューナーをお使いにならないときは、CSデジタルチューナー側でリンクを解除してください。詳しくは、CSデジタルチューナーの説明書をお読みください。	93 98
予約の修正・取り消しができない	● 予約一覧画面に i アイコンが付いている予約は、本機から修正・取り消しできません。予約した機器側で行ってください。	70
BSフリーセット予約できない	● 外部BSチューナーが設定されていない。 →「外部BSチューナー設定」でBSデジタルチューナーを設定する。 〔当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)の場合は、設定後、正しく動作するか確認してください〕	88
リモコンでフリーセット予約をして転送したが受け付けない	● **ビデオ/テレビ/BSデジタル** が「ビデオ」になっていない。 ● ビデオを停止状態にする。	68、70 －
予約録画中に電源が切れた	● 予約録画中にテープの終端になると、電源が切れます。 →予約した番組よりも、余裕のあるカセットを入れる。	－
予約録画が終わっても、予約内容が消えない	● 毎日・毎週予約の場合は消えません。	－
停止■ を押しても、予約録画が終わらない	● **タイマー予約 切/入** を押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消す。(録画が終わり、電源を入れたときの状態になります)	73

故障かな？(つづき)

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
表　示		
テープカウンター表示の値が動かない	● テープの未録画部分では、値は動きません。 よごれたり、いたんだりしたテープを使用してビデオが故障したときも、カウンター表示の値が動かないことがあります。 このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	−
ビデオ表示部の時刻表示が「0:00」で点滅している	● 時刻を合わせ直す。	92
i.LINK		
i.LINK機器からの画像が出ない	● 正しくi.LINK接続していない。 →正しく接続する。	20、21
	● 正しく登録できていない。 →すべてのi.LINKケーブルを外し、「i.LINK機器設定」の「全登録消去」を行った後、登録したい順番にi.LINKケーブルを接続し直す。	89
	● DV機器を接続している。 →DV機器は接続しても画像が出ません。	−
i.LINK機器一覧が出ない	● 正しく登録できていない。 →すべてのi.LINKケーブルを外し、「i.LINK機器設定」の「全登録消去」を行った後、登録したい順番にi.LINKケーブルを接続し直す。	89
i.LINK機器が選べない	● 接続している機器側から本機がリンクされている。 →他の機器を選びたい場合は、選んでいる機器でリンクを解除する。	108
音　声		
聞きたい音声が聞こえない	● 正しい音声を選んでいない。 →**音声切換**を押し、正しい音声を選ぶ。	90
	● BSデジタル放送をアナログ録画している。 →複数音声の番組をアナログ録画しても、録画(録音)時に選んでいた音声しか再生できません。	49
	● BSデジタル放送をBS再入力から録画している。 →複数音声の番組をBS再入力から録画しても、録画(録音)時に選んでいた音声しか再生できません。	53
ステレオ音声にならない	● ステレオ音声を選んでいない。 →**音声切換**を数回押し、ステレオ音声を選ぶ。(ビデオ表示部に「左右」を点灯させる)	90
ステレオ音声がブツブツと聞こえる	● トラッキングがずれている。 →トラッキング調整をする。	96
	● 再生中のテープがいたんでいる。	96

故障かな?の表の処置をしても直らないときは、本体のリセット(システムリセット)を先の細いもので軽く押してみてください。
それでも直らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(P111)にお問い合わせください。

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
リモコン		
ビデオが操作できない	● 予約録画の待機中になっている。(ビデオ表示部に「予約」表示が出ている) → タイマー予約 切/入 を押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消す。	73
	● ビデオ/テレビ/BSデジタル が「ビデオ」になっていない。	14
	● ビデオ本体とリモコンモードが合っていない。 →リモコンモードを合わせ直す。	94
	● 電池が消耗している。 →新しい電池と交換する。 (リモコン表示部は点灯していても、操作できない場合があります)	18
	● ビデオ本体のリモコン受信部に向けて操作していない。	18
	● リモコンとビデオ本体の間に障害物などがある。	―
テレビが操作できない	● テレビメーカー番号が合っていない。 →正しい番号に合わせる。 →メーカーや機種により、操作できない場合があります。	19
	● ビデオ/テレビ/BSデジタル が「テレビ」になっていない。	16
BSデジタルチューナー内蔵テレビが操作できない	● 当社製以外のBSデジタルチューナー内蔵テレビを操作しようとしている。 →本機で操作できるのは、当社製のBSデジタルチューナー内蔵テレビだけです。	16
	● ビデオ/テレビ/BSデジタル が「テレビ」になっていない。	16
BSデジタルチューナーが操作できない	● 当社製以外のBSデジタルチューナーを操作しようとしている。 →本機で操作できるのは、当社製のBSデジタルチューナーだけです。	17
	● ビデオ/テレビ/BSデジタル が「BSデジタル」になっていない。	17

自己診断表示機能

本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。

本機の設置中や使用中に異常を検出すると、ビデオ表示部に下表のサービス番号を表示します。

● サービス番号は、例えば「H01」のように、英文字と2ケタの数字で表示されます。

サービス番号	本機の状態	対応のしかた	ページ
U11	ビデオヘッドがよごれている。	● ビデオヘッドをクリーニングする。	96
U30	リモコンモードが異なっている。	● リモコンモードを合わせる。	94
H□□ F□□	異常と思われます。 (H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります)	● 「故障かな?」(P100～105)の項目に従って点検してください。 それでもサービス番号が消えないときは、お買い上げの販売店、またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。	―

メッセージ表示一覧

テレビ画面やビデオ表示部にメッセージが表示されたときは、下表を参考にしてください。

メッセージ	対応のしかた	ページ
再　生		
再生できません	● 録画時に正しく録画できていない可能性があります。i.LINKの接続をご確認ください。	20、21
BSデジタル信号です テレビ・チューナーの設定を変えてください	● 本機でD-VHS（デジタル）録画・再生できる信号方式は、BSデジタル放送の信号方式と異なるため、そのままでは映りません。 チューナー(内蔵テレビ)と接続する必要があります。 BSデジタル放送をD-VHS（デジタル）録画したカセットを再生するときは、チューナー(内蔵テレビ)の入力をD-VHSに切り換えてください。 当社製チューナー(内蔵テレビ)とi.LINK接続している場合は、チューナー(内蔵テレビ)の入力切換を数回押し、「D-VHS」を選んでください。	20、21
音声のみの番組です	● 音声のみの番組ですので、映像はありません。	－
予約録画		
予約が重複しています	● 予約一覧画面に アイコンが表示されます。このアイコンの付いた予約は、このままでは予約録画されません。重複している不要な予約を取り消してください。	70
BSチューナーが登録されていません	● 外部BSチューナー設定を行ってください。	88
予約できません・・・	● チューナー(内蔵テレビ)の電源が入っていないか、接続が正しくされていません。電源を入れるか、正しく接続されているか確認してください。	20、21
カセットを確認してください	● D-VHSカセットが入っていません。D-VHSカセットを入れてください。	36
L3設定を確認してください	●「STD」、「LS3」、「標準」、「3倍」、「標3」で予約録画するには、「モード設定」の「L3設定」を「BS入力」にしてください。 「STD」、「LS3」の場合はD-VHSカセットを、「標準」、「3倍」、「標3」の場合はS-VHS、VHSカセットを入れてください。	84
L3設定とカセットを確認してください	● D-VHSカセットを入れ、「モード設定」の「L3設定」を「BS入力」にしてください。	84
i.LINK		
i.LINKオフ	● 選んでいる機器が存在しません。i.LINKケーブルが接続されているか確認してください。	20、21
i.LINKシヨウチュウデス	● 接続されている機器から本機がリンクされています。他の機器を選びたい場合は、選んでいる機器でリンクを解除してください。	108
i.LINKナシ	● 選んでいる機器が登録されていません。もう一度i.LINKケーブルを正しく接続し直してください。	20、21
i.LINKエラー1	● i.LINKの接続状態に異常があるか、選んでいる機器が異常です。接続がループになっていないか、選んでいる機器が本機に対応しているかお確かめください。	22、23
i.LINKエラー2	● i.LINKを使用している機器が多すぎます(i.LINKのデータ容量オーバー)。 使用しない機器の電源を切ってください。	－
i.LINKサーチ	● 接続されている機器の情報を取得しています。しばらくお待ちください。	－

Q&A

本機の操作で疑問に思われることがあれば、この表を参考にしてください。

Q	A	ページ
電　源		
転居先で使用できるか?	● 日本国内でのみ使用できます。 →受信チャンネルを正しく設定し直してください。	25
接　続		
モノラルテレビと接続するときの映像・音声コードは?	● 映像・音声コードRP-CVP2G10(別売)で接続してください。 (ステレオ音声をモノラル音声に変換するタイプのコードです)	20
映像・音声コードのプラグや接続端子が色分けされているのは?	● プラグと端子の色を合わせて接続するようになっています。 (**黄**=映像、**白**=左音声、**赤**=右音声、**黒**または**白**=モノラル音声)	20、21
本機だけでBSデジタル放送は受信できるか?	● できません。チューナー（内蔵テレビ）との接続が必要です。	20、21
パソコンと接続して録画・再生できるか？	● できません。	―
再　生		
海外で録画したテープを再生できるか?	● 同じNTSC方式の「標準(SP)」または「3倍(EP)」で録画されたものならできます。	―
D-VHS(デジタル)録画したカセットは他のVHSビデオで見られるか?	● 見ることはできません。D-VHSカセットにD-VHS（デジタル）録画した番組は、D-VHSビデオでのみ見ることができます。	―
他のVHSビデオで録画したカセット(レンタルソフトも含む)は見られるか?	● 従来のビデオと同様に見ることができます。	―
録　画		
音声多重放送を録画中に音声を切り換えて聞くことはできるか?	● 地上波放送のアナログ録画時はできます。 →**音声切換**で聞きたい音声を選んでください。	90、91
VHSカセットにD-VHS(デジタル)録画できるか?	● できません。D-VHSカセットをお使いください。	36、37
D-VHSカセットにアナログ録画できるか?	● できます。	―
予約録画		
予約録画は予約した順番に行われるのか?	● 予約内容の日付・時刻順に行われます。	―
予約録画が始まるまでの間、他のカセットを見ることができるか? 予約録画の待機中に、カセットを入れ替えることができるか?	● 予約録画の待機状態を解除しないとできません。 →**タイマー予約 切/入**を押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消してから操作してください。	73
チューナー(内蔵テレビ)の電源は入れなくてもいいのか？	● BSデジタル放送を録画する場合は、「入」にするか、機能待機状態にしてください。	68
BSデジタル放送をGコード予約したい	● できません。BSデジタル放送の番組にはGコードはありません。フリーセット予約してください。	68
ダビング		
デジタルビデオカメラとi.LINK接続してダビングできるか?	● できません。デジタルビデオカメラは本機とはフォーマットが異なるため、再生画像を映すことができません。アナログ接続でダビングしてください。	57、60

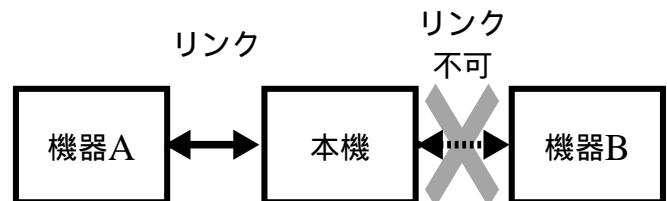
用語解説

BSデジタル放送
デジタル信号の圧縮技術によって従来のBS放送より多くの情報を送ることができるようになり、デジタルハイビジョンや多チャンネル放送、データ放送、マルチビュー放送、マルチステレオ放送、降雨対応放送などが楽しめます。
また、電子番組ガイドを使ってお好きなジャンルの番組を検索したりすることもできます。

データ放送
お客様が見たい情報を選んでテレビ画面に表示させることができます。例えば、お客様の住んでいる地域の天気予報をいつでも好きなときに表示させたりすることができます。
その他に、テレビ放送や音声放送に連動したデータ放送もあります。
将来的には、電話回線を利用した視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどが予定されています。

マルチビュー放送
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像を放送します。
例えば野球中継の場合、主番組は通常の野球中継、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球中継が行われる予定です。

D-VHS(データVHS)方式
家庭用ビデオの世界標準方式といわれるVHS方式を基盤にしたマルチメディア時代の新しいVHSフォーマットで、現行のVHS方式の機能に加え、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録する方式を採用しています。

D-VHS方式は「MPEG2 Transport Packet」規格で、VHS方式は「NTSC」規格です。

i.LINK(アイリンク)
i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。(P22)

リンク(LINC)
i.LINK対応機器の中には、デジタル映像やデジタル音声などのデータをやりとりしたり、他機器をコントロールする際に、i.LINKケーブルで接続された機器の中から「相手機器を1台選ぶ」という操作が必要な機器があります。リンク(LINC)とは、この「相手機器を1台選ぶ」ということを意味し、その相手機器とのみデータのやりとりができるようになります。
下図の例は、本機が機器Aからリンクされている場合で、この場合、本機と機器Bはリンクすることができません。

MPEG2
Moving Picture Experts Group(メディア統合計動画像圧縮の国際基準)Phase2の略で、動画映像と音声のデジタル圧縮方式の代表的なものです。従来の圧縮方法と違い、高画質を維持したまま高圧縮する技術で、むだなデータを省くために1コマ1コマの画像がそれほど変化しないことを前提に、動きの予測をしながら圧縮していきます。

MPEG2-TS(Transport Stream)フォーマット
MPEG2システムに規定される、主に放送などの伝送に使われるフォーマットのことをいいます。

MPEG2にエンコードする
地上波放送等をMPEG2形式に変換することをいいます。

仕様

電源	AC 100 V ± 10 %、50/60 Hz ± 0.5 %
消費電力	40 W 電源「切」時：約6 W

録画方式	D-VHS規格、S-VHS規格
テープ速度	標準： 33.35 mm/秒 3倍： 11.12 mm/秒 HS： 33.35 mm/秒 STD：16.67 mm/秒 LS3： 5.56 mm/秒
使用テープ	D-VHS、S-VHS、VHS規格テープ
録画時間	S-VHS、VHS： 最大9時間 (ST-180使用の場合) 標準：120分、3倍：360分 (T-120使用の場合) D-VHS： 最大21時間 (DF-420使用の場合) HS：150分、STD：300分、LS3：900分 (DF-300使用の場合)
早送り・巻き戻し時間	約1分 (T-120使用の場合)
テレビジョン方式	NTSC方式 525本、60フィールド
映像	
● 入力	ライン(ピンジャック) 1 Vp-p、75 Ω S映像端子 Y：1 Vp-p、75 Ω Cバースト：0.286 Vp-p、75 Ω
● 出力	ライン(ピンジャック) 1 Vp-p、75 Ω S映像端子 Y：1 Vp-p、75 Ω Cバースト：0.286 Vp-p、75 Ω D1映像出力端子 Y：1 Vp-p、75 Ω C_B/C_R：0.7 Vp-p、75 Ω
● アンテナ受信入力	VHF： 1～ 12チャンネル、75 Ω UHF： 13～ 62チャンネル、75 Ω CATV：C13～C63チャンネル、75 Ω
音声	
● 入力	ライン(ピンジャック) 309 mV、47 kΩ
● 出力	ライン(ピンジャック) 309 mV、1 kΩ (負荷インピーダンス10 kΩ)
● トラック数	3トラック (ハイファイ：2トラック、ノーマル：1トラック)
i.LINK入出力	IEEE1394デジタルインターフェース準拠、 4pin type、S200対応、MPEG2-TS信号
ハイファイ音声特性	ダイナミックレンジ： 90 dB以上 ワウフラッター： 0.005 % 周波数特性： 20 Hz～20 kHz
許容温度	5 ℃～40 ℃
許容湿度	35 %～80 %
時計部	クォーツ制御、24時間デジタル表示
外形寸法	約幅430×高さ118×奥行357.5 mm
本体質量	約7.0 kg

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

P100〜105の表に従ってご確認のあと、直らないときは、ビデオ表示部に「サービス番号」(P105)が表示されている場合はその番号を確認し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、D-VHSビデオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
  注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

[技術料] は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
[部品代] は、修理に使用した部品および補助材料代です。
[出張料] は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料） **0120-878-365**（パナは 365日）

365日／受付9時〜20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ／パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ﾉ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ﾉ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

Panasonic　D-VHSビデオカセットレコーダー　NV-DHE10　取扱説明書

索引

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This D-VHS video cassette recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　**長年ご使用のD-VHSビデオカセットレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 時刻表示などに異常がある
- テープをいためた
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	NV-DHE10
	販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	

松下電器産業株式会社

ビデオ事業部
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

放送システム事業部
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号

VQT8854
F0800Am1080 (6000 Ⓑ)